

録
甲
九

大正九年十二月二十九日 内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣

法制局長官

外務大臣

原

大藏大臣

高橋

海軍大臣

東郷

文部大臣

田中

逓信大臣

西

内務大臣

松本

陸軍大臣

寺内

司法大臣

馬場

農商務大臣

上田

林

修

別紙鐵道大臣請議鐵道省官制中改正ノ件ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀ト
思考ス依テ請議ノ通閣議決定セラ
レ可然ト認ム

去

刊

局

勅令案

朕鐵道省官制中改正ノ件ヲ裁可シ
茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

大正九年十二月一日

内閣總理大臣
鐵道大臣

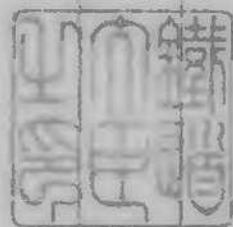
呈案附箋ノ通

鐵道省 一〇号 十月十九

鐵秘第一六九三號

大正九年十月十八日

鐵道大臣元田 肇



内閣總理大臣原 敬殿

鐵道省官制中改正ノ件

鐵道省官制中左ノ通改正相成度勅令案ヲ具シ閣議ヲ請フ

勅令第五百五十七號

鐵甲九

鐵道省

鐵道省官制中左ノ通改正ス

第十二條中「三十一人」ヲ「三十四人」ニ改ム

第十三條中「百五十一人」ヲ「百五十五人」ニ改ム

第十四條中「七百二十六人」ヲ「八百八人」ニ改ム

第十五條中「六百八十五人」ヲ「七百八十四人」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

理 由

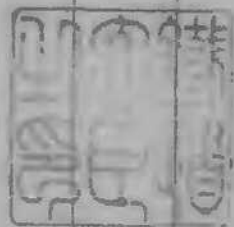
大正九年度ニ於ケル鐵道ノ建設改良及線路延長等ニ伴フ事業擴張ノ爲定員増加ノ必要ヲ認メタルニ依ル

鐵道省
鐵道第一一號
十月十九日

鐵道省
鐵道第一一號
十月十九日

大正九年十月十八日

鐵道大臣元田 肇



內閣總理大臣原 敬殿

鐵道局官制中改正ノ件

鐵道局官制中左ノ通改正相成度勅令案ヲ具シ閣議ヲ請フ

勅令第五百六十八號

鐵道省

鐵道省

鐵道局官制中左ノ通改正ス

第四條中副參事

專任四十九人

副參事

專任百六人

100

「二百五十九」

ラ「二百八十五人

二、六千

四百六十一人」ヲ

「七千八百八十八」

「二千八百五十三人」ヲ「三

千百五十六人」

改天

鼻任四十九人

素任ヲ削ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ鐵道局參事補、官ニ在ル者別ニ辭令書ビテ交付セラルサルトヤハ鐵道局副參事ニ同官俸給ヲ次テ任セラルタルモノトス

理由

大正九年度ニ於ケル鐵道ノ改良及線路延長等ニ伴フ事業擴張竝現
業員中現在判任官又ハ雇員ヲ充當セルモノニシテ其ノ從事スル職
務ノ性質上高等官又ハ判任官配置ノ要アル爲定員増加ノ必要ヲ認
メタルニ依ル

参考

録
一〇
居

録
通
居

九、六、伊、坂、納

高等官關スル説明

鐵道省

號
十一
損
外

鐵道大臣 元田 肇

鐵道大臣 元田 肇

所ヲ置ク

事務

事項

生ノ事務

事項

二關及事項

性ニ關ス

鐵道公報號外 大正九年五月十九日

三 地方鐵道補助ノ許可ニ關スル事項
四 地方鐵道及軌道ノ抵當及登録ニ關スル事項

四	停車場、棧橋及列車内、營業及廣告ニ關スル事項
第十五條	運輸局貨物課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一	貨物ノ取扱上ノ施設計劃ニ關スル事項
二	貨物ノ運賃及料金ニ關スル事項
第十六條	運輸局配車課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一	貨物輸送上ノ施設計劃ニ關スル事項
二	貨車及附屬品ノ配給ニ關スル事項
第十七條	運輸局運輸課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一	列車（電車及汽動車ヲ含ム）ノ運輸、信號及保安ニ關スル事項
二	車輛ノ管理ニ關スル事項
三	運輸成績ノ調査ニ關スル事項
四	運輸事故ノ調査ニ關スル事項
五	電氣通信事務ニ關スル事項
第十八條	運輸局船舶課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一	船舶ノ運輸ニ關スル事項
二	船舶ノ管理ニ關スル事項
三	船舶ノ製作、修繕、檢査、賣買、貸借及傭船ニ關スル事項
四	船舶運航成績ノ調査ニ關スル事項
五	船舶事故ノ調査ニ關スル事項
第十九條	建設局ニ左ノ二課ヲ置ク
一	線路調査課
二	工事課
第二十條	建設局線路調査課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一	新設線路ノ調査ニ關スル事項
二	新設線路ノ計劃ニ關スル事項
三	新設線路ノ設計及施工ニ關スル事項
第二十一條	建設局工事課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一	新設線路ノ設計及施工ニ關スル事項
二	新設線路ノ材料ノ準備ニ關スル事項
三	局内他課ニ屬セタル事項
第二十二條	工務局ニ左ノ三課ヲ置ク
一	保線課
二	改良課
三	建築課
第二十三條	工務局保線課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一	線路及建築物ノ保存工事ノ設計及施行ニ關スル事項
二	線路及建築物ノ保存工事ノ材料ノ準備ニ關スル事項
三	土地、線路及建築物ノ管理ニ關スル事項
四	局内他課ニ屬セタル事項

第三十二條 經理局倉庫課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一 物品ノ準備計劃ニ關スル事項
二 物品ノ購入ノ豫算及決算並用品資金ノ運用ニ關スル事項
三 物品ノ利用、貸借及賣却ニ關スル事項
四 倉庫事務及倉庫設備ニ關スル事項
五 物品ノ亡失毀損ノ處分ニ關スル事項
六 經理局所屬工場ノ管理並所屬物品ノ出納及保管ニ關スル事項
七 廳中用品ノ調辦ニ關スル事項
第三十三條 經理局購買第一課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一 車輛、橋桁、軌條及其ノ用品並附屬品ノ購入及製作ニ關スル事項
二 器具、機械類ノ購入及製作ニ關スル事項
三 鐵、鋼其ノ他ノ金屬及之ヲ主タル材料トスル物品ノ購入及製作ニ關スル事項
第三十四條 經理局購買第二課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一 石炭、油脂、枕木、木材ノ購入及製作ニ關スル事項
二 セメント、煉瓦、彩塗料、護謨製品、機械製品及特殊ノ研究ヲ要スル物品ノ購入及製作ニ關スル事項
三 用品、海運ノ爲ニスル船舶ノ管守、檢査、修繕並傭船及運送契約ニ關スル事項
第三十五條 經理局調査課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一 運輸收入ノ調査ニ關スル事項
二 運輸統計ノ清算ニ關スル事項
三 運輸統計ニ關スル事項
四 乘車船券及諸帳表ノ様式ニ關スル事項
附則
本達ハ鐵道省官制施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
鐵道院事務分掌規程ハ之ヲ廢止ス
●達第六號
鐵道管理局事務分掌規程中左ノ通改正ス
大正九年五月十五日 鐵道大臣 元 田 肇
前文中「鐵道管理局事務分掌規程」ヲ「鐵道局分課規程」ニ改ム
題名ヲ「鐵道局分課規程」ニ改ム
第一條 鐵道局ニ左ノ六課ヲ置ク
一 庶務課
二 運輸課
三 運轉課
四 運轉課
五 運轉課
六 運轉課

五 主管業務ノ豫算ノ下調
六 主管業務ノ成績並統計
七 船舶ノ貸借
八 船舶ノ旅客及荷物輸送上ノ施設計畫
九 船舶ノ貨物及圖表ノ整理及保存
十 船舶ノ事故ノ調査及報告
十一 船舶ノ掛ニ屬セザル事項
十二 船舶ノ配置及修理
十三 船舶ノ製作及修理
十四 船舶ノ浮標及屬具ノ保管及検査
十五 棧橋ノ使用
附則

本達ハ鐵道局官制施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
鐵道管理局分課規程ハ之ヲ廢止ス

●達第七號
鐵道省官制及鐵道局官制並附帶ノ新制度施行ノ爲新舊兩制度ノ關係ニ關スル事務處理方ハ左ノ條規ニ依ル

大正九年五月十五日 鐵道大臣 元田 肇

第一條 從來ノ鐵道院告示並公達、達、通牒、指令其ノ他ノ訓令及經同ノ決議ハ將來ト雖遵由ノ效力ヲ妨ケラルコトナシ當省主管ノ事項ニ關スル從來ノ內閣告示、遞信省告示其ノ他之ニ準スヘキモノニ付亦同シ

第二條 前條ノ場合ニ於テ舊制上ノ官名、職名若ハ廳名又ハ之ニ準スヘキ名稱ヲ用フルモノハ新制上ノ各相當官名、職名若ハ廳名又ハ之ニ準スヘキ名稱トス

第三條 第一條ノ場合ニ於テ院線トアルハ省線、院航路トアルハ省航路トス

第四條 前三條ノ規定ハ別段ノ定アル場合ニ之ヲ適用セス

第五條 前各條ニ掲クルモノノ外別段ノ定ナキモノハ前各條ノ趣旨ニ從フ

第六條 當分ノ內大臣官房文書課長ハ法規類抄加除ノ際第二條乃至第四條ニ依リ現存規定類ノ相當文言ヲ新制上ノ官名、職名及廳名並之ニ準スヘキ名稱其ノ他ノ名稱ニ變更スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ大臣官房文書課長ハ關係局課所長ト豫メ協議スヘシ

附則
本達ハ鐵道省官制及鐵道局官制施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

事務官

鐵道省中央教習所ハ大臣ニ直屬シ職員ニ鐵道業務ニ關シ必要ナル學藝技能ヲ教習スル所ニシテ時代ノ進歩ニ伴フ鐵道業務ノ多岐複雜ト缺員補充難ニ伴フ近時職員素質ノ低下トハ益々之カ擴張改善ノ必要ヲ認メ其撰拔ノ如キ從來ハ職員中ノミヨリセシヲ曩ニ規程ヲ改メテ廣ク省外ヨリモ人材ヲ求ムルコトトシ其結果生徒定員亦増加セラレテ今ヤ二百九十名ヲ算スルニ至リ之カ所長ハ講師及職員ノ統督並生徒ノ訓育上最早他ノ兼務ニ俟ツ能ハス（從來ハ人事課長ヲシテ兼ネシムルノ慣例ナリ）專任者ノ配置ヲ必要トス定員

計	英 語 科	本科			像科	
		電氣科	機械科	業務科	第二部	第一部
二九〇	四〇	四〇	四〇	一〇〇	三〇	四〇

教習所定員比較表

	大正五年改正	大正八年改正	増	
豫科				
第一部		40	40	業務科へ置換え
第二部		30	30	機械科へ置換え
業務科	70	100	30	
本科機械科	30	40	10	
電気科	30	40	10	
英語科	30	40	10	業務科へ置換え
計	160	270	110	
豫算總額	36,544 (七年度)	73,000 (九年度)	48,656	

各省學校職員其他

所長
所員
生徒定員

内務省警察講習所

專任教員兼任

本所二〇〇
附屬一
寄宿八〇

通信官吏練習所

通信局長兼任

事務官一
一八〇
附屬電信修習生
寄宿八〇

鐵道通信教習所

十

事務官一
二九
寄宿八〇

鐵道省教習所規程

鐵道省教習所規程左ノ通改正ス

鐵道省教習所規程

第一條 鐵道省教習所ハ職員ニ鐵道現業員ニ關シ必要ナル學

藝技能ヲ教習スル所トス

第二條 鐵道省教習所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長

幹事

講師

生徒監

書記

第三條 所長ハ大臣ノ命ヲ承ケ一切ノ所務ヲ掌理ス

第四條 幹事ハ所長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌ル

第五條 講師ハ所長ノ命ヲ承ケ生徒ノ教育ヲ掌ル

第六條 生徒監ハ所長ノ命ヲ承ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第七條 書記ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第八條 鐵道省教習所ニ豫科、本科及英語科ヲ置ク

豫科ヲ第一部及第二部ニ分チ本科ヲ左ノ三科ニ分ツ

業務科

機械科

電氣科

各科ノ定員ハ豫科第一部四十名、同第二部三十名、本科業

松永納

務科百名其ノ他ノ各科四十名トス

第九條 教習科目ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 各科ノ教習期間ハ一箇年トス

豫科ノ教習期間ハ之ヲ二期ニ分チ前期ヲ學習期間トシ後期ヲ實習期間トス

第十條ノ二 豫科入所ヲ許可スヘキ者ハ左ノ資格ヲ有シ身體

検査及選抜試験ニ合格シタル者ニ限ル但シ選抜試験ハ中學

校卒業程度ヲ標準トス

一、現ニ鐵道部内ニ奉職セサル者

ニ、年齢十七歳以上二十五歳以下ノ者

三、品行方正、身元確實ナル者

前項ノ選拔試験ニ於テ標準成績ニ達シタル者ノ間ニ在リ
テハ職員又ハ職員タリシ者ノ子弟ヲ先ニス

第十一條 本科入所ヲ許可スヘキ者ハ豫科修業生ヲ除クノ外
左ノ資格ヲ有シ所屬長ノ推薦ヲ受ケ選拔試験ニ合格シタル
者ニ限ル但シ選拔試験ハ中學校卒業程度ヲ標準トス

一、一箇年以上鐵道現業ニ從事シ成績優良ナル者
二、年齢三十歳以下ノ者

豫科第一部修業生ハ本科業務科ニ同第二部修業生ハ本科機
械科又ハ本科電氣科ニ編入ス

第十一條ノ二 英語科入所ヲ許可スヘキ者ハ左ノ資格ヲ有ス
ル者ノ中ヨリ特ニ選拔セラレタル者ニ限ル

松永 納

一、本科業務科卒業生

二、成績優良ニシテ特ニ英語ニ關スル才能アル者

三、年齢三十歳以下ノ者

第十二條 入所ヲ志願スル者ハ願書ニ履歷書ヲ添ヘ所屬長ニ

差出スヘシ但シ鐵道部外ノ者ハ直接大臣ニ差出スモノトス

第十三條 所屬長前條ノ願書ヲ受略理シタルトキハ審査ノ上

推薦書ヲ添付シ之ヲ大臣ニ進達スヘシ

第十三條ノ二 豫科生徒ハ雇員トシ其ノ他ノ生徒ハ入所前ノ

身分ヲ繼承スルモノトス

第十四條 左ノ場合ニハ生徒ニ退學ヲ命スルコトアルヘシ

一、操行不良ナルトキ

三、疾病ノ爲メ成業ノ見込ナキトキ
三、學術ノ成績不良ニシテ成業ノ見込ナキトキ
四、不都合ノ所爲アリタルトキ

第十五條 生徒ニハ教習期間中毎月金九圓ヲ教習手當トシテ支給ス

退學ヲ命セラレタル者ニ對シテハ既ニ支給シタル教習手當ノ一部又ハ全部ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十六條 生徒ハ卒業後其ノ教習期間ノ二倍ニ相當スル期間鐵道部内ニ奉職ヲ繼續スル義務アルモノトス

第十七條 前條ノ奉職義務年限内ニ疾病又ハ自己ノ都合ニ依リ退官、退職若ハ鐵道部外ニ轉官、轉職シ又ハ刑ノ宣告若

松永

ハ懲戒ノ處分ニ因リ免官免職トナリタルトキハ其ノ當月ヨリ義務年限ノ終ニ至ル迄ノ月數ニ實際支給シタル教習手當ノ一箇月平均額ヲ乘シタル金額ヲ一時ニ辨償セシム

但シ疾病ノ場合ハ辨償ヲ免除スルコトアルヘシ

第十七條ノ二 鐵道部外ヨリ入所シタル者在所中又ハ第十六條ノ奉職義務年限内ニ疾病又ハ自己ノ都合ニ依リ退學、退官、退職若ハ鐵道部外ニ轉官、轉職シ又ハ退學ヲ命セラレ若ハ刑ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ因リ免官、免職トナリタルトキハ在所中支給ヲ受ケタル教習手當及給料ノ一部又ハ全部ヲ辨償セシム但シ疾病ノ場合ハ辨償ヲ免除スルコトアルヘシ

第十八條 生徒ハ入所後速ニ保證人連署ノ誓約書ヲ差出スヘシ

第十九條 教習期間ノ終ニ於テ豫科ニ在リテハ修業試験、本科及英語科ニ在リテハ卒業試験ヲ行フ

卒業試験ニ合格シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第二十條 生徒ハ附屬寄宿舎ニ入舎スヘキモノトス

但シ病氣其他已ムヲ得サル事情アルトキハ特ニ外泊ヲ許可スルコトアルヘシ

附 則

第二十一條 本達ハ現在生徒卒業ノ後之ヲ實施ス

松永納

第二十二條 明治四十二年達第五五〇號鐵道院職員中央教習

所規程及明治四十五年達第四七二號鐵道院職員中央教習所

ニ電氣科設置ノ件ハ之ヲ廢止ス

第二十三條 鐵道院職員中央教習所教師ニシテ本達施行ノ際

別ニ辭令書ヲ交付セラレサル者ハ鐵道院職員中央教習所講師ヲ命セラレタルモノトス

一 官房現業調査課長

書記官 一

一同課員

事務官 一

近時労働問題ノ高唱セラルルニ從ヒ職員ノ給與待遇其他保護救済施設ハ益々改善擴張ノ必要アルヲ以テ曩ニ官制改正ト共ニ官房ニ一課ヲ新設シ現業委員會及現業従事員ノ勤務狀態調査並内外労働調査ニ關スル事項ヲ掌理セシムルコトトナレルモノニシテ委員會ニアリテハ委員ノ選舉、會議ノ指導、議決事項ノ處理又勤務狀態調査ニアリテハ勤務時間及方法、給與、氣風振興及訓練、労働團體等處理事項多岐ニ涉リ課長ノ外之カ調査ニ任スル事務官一人ヲ要ス
(現業委員會並之カ選舉規程別表參照)

保健課事務官ヲ現業調査課へ振替難キ理由

勤務時間調査及内外労働調査ハ現業調査課へ引繼ケルヲ以テ此點
ニ於テ幾分減少セシモ一方共済組合ニ關スル事務ハ年金制度、購
買部、貸付部ノ開始ニ依リ最近業務激増シ尙益々改善擴張ノ必
要アルノミナラズ最近ノ計畫ニ係ル住宅、合宿所、休憩所、共同
浴場、食堂等ノ新增設ニ關スル調査計畫竝手袋靴足袋其他被服ノ
給與（事業ノ進捗ニ伴ヒ工場設置ヲ要ス）等職員ノ休養慰安施設
ニ關スル調査計畫事務多望^化ニシテ將來ハ共済組合一、休養慰安施
設一計二人ノ配置ヲ要スヘシ

(大正九年五月一日(土曜日)) (日刊、除日曜及祝日)

鐵道公報

大正九年五月一日(土曜日)
號外(其一二)

鐵道院

◎達

●達第四一八號

國有鐵道現業委員會規程左ノ通定ム

大正九年五月一日

鐵道院總裁 床次竹二郎

國有鐵道現業委員會規程

- 第一條 現業委員會ハ別ニ定ムル區域毎ニ之ヲ設置ス
- 第二條 現業委員會ハ前條ノ區域内ニ在勤スル鐵道手及雇員以下ノ現業員ヨリ選舉シタル委員ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第三條 現業委員會トハ、所、庫、區、場、船舶及ホテルニ勤務スル者並建設事務所、改良事務所及工場所屬員ニシテ現場ニ勤務スル者ヲ謂フ但シ試雇員及臨時雇員中ノ者ヲ除ク
- 第四條 現業委員會ハ委員選舉資格ヲ有ス
- 第五條 現業委員會ハ委員選舉資格ヲ有ス
- 第六條 現業委員會ハ委員選舉資格ヲ有ス
- 第七條 現業委員會ハ委員選舉資格ヲ有ス

- 第八條 委員ノ選舉ハ無記名單記投票ヲ以テ之ヲ行フ
- 第九條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス
- 第十條 前項ノ場合ニ於テ得票同數ナルトキハ年長者ヲ以テ當選者トス
- 第十一條 委員中缺員アルトキハ次點者中得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ス
- 第十二條 委員ノ任期ハ二年トシ選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス
- 第十三條 補缺委員ノ任期ハ其ノ前任者ノ殘任期間トス
- 第十四條 現業委員會ノ選舉事務ニ從事スル爲選舉管理者ヲ置ク
- 第十五條 前項ノ管理者ハ選舉毎ニ管理局長之ヲ指名ス
- 第十六條 選舉ノ場所及日時ハ豫メ公報又ハ局報ヲ以テ之ヲ公示ス
- 第十七條 選舉ニ關スル異議ハ管理局長之ヲ決定ス
- 第十八條 委員ハ被選舉資格ヲ失ヒ又ハ委員ヲ辭シタルトキハ退任ス
- 第十九條 現業委員會ハ區域内ニ於ケル共通ノ利害ニ關スル事項ニ付諮問ニ答申シ又ハ意見ノ開陳ヲ爲スモノトス
- 第二十條 議長ハ現業委員會ニ議長ヲ置ク
- 第二十一條 議長ハ管理局長之ヲ命ス
- 第二十二條 議長ハ總裁又ハ管理局長ハ職員ヲ指名シ現業委員會ニ出席シ其ノ議ニ參與セシムルモノトス
- 第二十三條 管理局長ハ現業委員會ニ出席シ其ノ議ニ參與スルコトヲ得
- 第二十四條 議長及前二項ノ規定ニ依リ現業委員會ノ議ニ參與スル者ハ可否ノ數ニ加ハルコトナシ
- 第二十五條 現業委員會ハ議長之ヲ招集シ六ヶ月ニ一回通常會議ヲ開クモノトス

鐵道公報號外(其一二) 大正九年五月一日

委員定數ノ半數以上ノ請求アルトキ又ハ議長ニ於テ必要アリ
ト認ムルトキハ臨時會議ヲ開クコトヲ得
第二十條 現業委員會ノ招集及會議ノ事項ハ少クモ七日前ニ
通知スルコトヲ要ス但シ急務ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第二十一條 現業委員會ハ委員定數ノ半數以上出席スルニアラ
サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス
第二十二條 現業委員會ノ議事ハ出席委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ
決ス
第二十三條 委員ハ二人以上ノ賛成アル場合ニ於テ現業委員會
ニ議案ヲ提出スルコトヲ得
第二十四條 本院所屬ノ現業委員會ニ關シテハ官房文書課長又
ハ經理局長ニ於テ本規程ニ依ル管理局長ノ職務ヲ行フ
第二十五條 各管理局ニ聯合現業委員會ヲ設置ス
前項ノ委員會ハ現業委員會ヨリ互選シタル委員ヲ以テ之ヲ組
織ス
委員ノ定數ハ各現業委員會ノ委員十人ニ付一人ノ割合トス但
シ十人未滿ノ場合ニハ五人以上ノトキニ限リ之ヲ一人トス
聯合現業委員會ノ議長ハ常該管理局庶務課長ヲ以テ之ニ充ツ
第二十六條 聯合現業委員會委員ノ任期ハ現業委員會委員ノ任
期ニ依ル
第二十七條 第十二條乃至第十六條第十八條第十九條第一項第
二十條乃至第二十三條ノ規定ハ聯合現業委員會ニ之ヲ準用ス

(大正九年六月二十九日) (日刊、除日曜及祝祭日)

(終)

鐵道公報

大正九年六月二十九日(火曜日)

第參拾八號

鐵道省

◎告示

●正誤
六月十五日公報本欄告示第二十八號稻枝驛所在地中「大字稻
部」ハ「大字彦富」ノ誤

◎達

●達第一四九號
汽船櫻島丸ヲ青函航路用トシテ札幌鐵道局ニ配屬ス
大正九年六月二十六日 鐵道大臣 元田 肇
●達第一五〇號
國有鐵道現業委員會規程第一條ニ依ル區域及第五條ニ依ル委員
數別表ノ通定ム
大正九年六月二十九日 鐵道大臣 元田 肇

(別表)

本 省	委員 會 區 域	委員數
第一區	印刷場、被服工場及木材防磨工場	五人
東京鐵道局		
第一區	印刷所及倉庫	六人
第二區	新橋運輸事務所甲部	二十五人
第三區	新橋運輸事務所乙部	二十五人
第四區	上野運輸事務所甲部	二十五人
第五區	上野運輸事務所乙部	二十五人
第六區	兩國運輸事務所甲部	十四人

名古屋鐵道局

第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	第六區	第七區	第八區	第九區	第十區	第十一區	第十二區	第十三區	第十四區	第十五區
名古屋運輸事務所甲部	名古屋運輸事務所乙部	靜岡運輸事務所甲部	靜岡運輸事務所乙部	甲府運輸事務所甲部	甲府運輸事務所乙部	長野運輸事務所甲部	長野運輸事務所乙部	金澤運輸事務所甲部	金澤運輸事務所乙部	名古屋運輸事務所甲部	名古屋運輸事務所乙部	靜岡運輸事務所甲部	靜岡運輸事務所乙部	長野運輸事務所甲部
二十五人	二十五人	十五人	十五人	十五人	十五人	十五人	十五人	十五人	十五人	十五人	十五人	十五人	十五人	十五人

[illegible]

高松出張所
廣島保線事務所
青森保線事務所
德島出張所
新津保線事務所
名古屋保線事務所
大阪保線事務所

大正九年六月二十九日

鐵道大臣 元田 肇

性

官房交書課長又ハ經理局

所長及工場長ヲ謂フ

一日ノ現在ニ依リ其ノ所

イ部ヲ七月二十日迄ニ
付スヘシ

職及氏名ヲ記載スヘシ

後五日間ヲ限リ該名簿ヲ

ロヲ以テ確定ス

月一日以後選舉資格異動

日ノ現在ニ依ル

投票所ニ到リ投票スヘシ
レコト能ハサル者ハ書

自一

於テハ選舉人ハ投票ヲ

山スヘシ

衆所ニ於テ之ヲ選舉人ニ

三七

National Archives of Japan

技 師 二 二

官房臨時水力電氣課		技 師	二
水路實地測量			
水路設計竝材料準備調查			
送電線路及變電所實地調查	土 木	一	
發電所設計竝材料準備調查	電 氣	一	
發電所及開閉所設計竝材料準備調查			
送電線路設計竝材料準備調查			

一 運賃及料金ノ認可其他ニ關スル事項(監督局業務課)事務官一

監督局業務課ニ於ケル運賃及料金ノ認可其他、營業、運轉、會計ニ關スル事項ノ監督及實地監査竝輕便鐵道補助金ニ關スル事務ニ對シテハ從來事務官一人ノ配置ヲ受ケ居レルモ地方鐵道ノ開業哩數ハ方ニ二千哩ニ達セントシ其多クハ既ニ五六年乃至八九年ノ歲月ヲ經貨客輸送設備ノ如キ日ニ月ニ荒廢ノ度ヲ加ヘテ更改ノ時期ニ達シ營業成績又極メテ不振ニシテ監督指導ヲ要スルモノ多ク從來豫定セル一鐵道一日乃至三日ノ營業監査ヲ以テシテハ到底充分ナル成績ヲ舉ケ難ク鐵道ニヨリテハ時ニ十數日間滞在スルノ必要ナルモノアルノミナラス其發達ヲ助成スヘキ補助金計算ノ如キ鐵

道及哩程ノ増加ト共ニ事務ノ繁忙ヲ來シ到底一人ヲ以テシテハ處
理シ難ク一人ノ増員ヲ要ス業務増加内譯別表ノ如シ

實地監査予定回数及び取扱件数

實地監査予定回数

本重	別	鐵道數	豫定監査回数	監査証數	高層電出件所要回数	母平相數	出件回数	備考
營業	地方鐵道(明業)	146	一年一回	140	226	3	138	
	軌道(")	141	四年一回	35	11	3	33	
	計	287		175	57		171	
會計	補助鐵道	76	一年二回	152	30	4	122	
	其他地方鐵道(同業材料業)	151	三年一回	50	10	4	40	
	軌道(")	172	十年一回	17	3	4	12	
	計	399		219	43		172	

書類審查 (最近一年間取扱高)

貸金改正	補助金下付	營業報告	其他
營業	700		
會計	152	800	1,000

地方鐵道及軌道

年 度	地 方 鐵 道				軌 道			
	開 業		未 開 業		開 業		未 開 業	
	鐵道 數	哩 程	工事施行額(円) 鐵道數	哩 程	軌道 數	哩 程	工事施行額(円) 軌道數	哩 程
大正四年度	117	1,678.41	77	861.26	77	1,022.57	136	1,255.05
五年度	125	1,764.25	73	918.02	50	724.68	140	1,292.20
六年度	126	1,799.44	76	935.67	42	585.01	141	1,296.55
七年度	137	1,941.69	59	731.14	44	627.68	140	1,271.03
八年度	140	1,994.48	62	740.71	80	1,065.49	141	1,288.22
							235.53	499.55

地方鐵道軌道運輸數量

年 度	地 方 鐵 道				軌 道			
	旅 客		貨 物		乘 車 人 員		貨 物 噸 數	
	取扱人 數	延 人 哩	取扱噸數	延 噸 哩				
大正三年度	472,762	331,824	4,943.29	63,700.43	702,130	499	13,654	86
四年度	513,902	361,913	5,790.47	76,263.09	638,483	1,67	13,115	34
五年度	587,792	443,422	7,536.86	99,237.72	695,462	383	1,756	23
六年度	742,561	517,757	9,231.84	123,271.20	848,118	687	22,857	57
七年度	869,877	595,906	10,474.52	134,481.53	983,068	275	24,358	47

補助鐵道

年 度	地 方 鐵 道				軌 道			
	開 業		未 開 業		開 業		未 開 業	
	鐵道 數	哩 程	工事施行額(円) 鐵道數	哩 程	軌道 數	哩 程	工事施行額(円) 軌道數	哩 程
大正四年度	56	713.0	65.4	778.4	822.56	19		
五年度	68	791.6	55.7	847.3	947.05	0		
六年度	73	824.6	40.7	865.3	731.17	5		
七年度	79	843.6	39.0	882.6	652.46	8		
八年度	79	851.8	28.4	880.2	743.52	3		

一車輛事務（監督局技術課） 技師 一

監督局技術課ニ於ケル車輛ニ關スル事務ニ對シテハ從來技師一人ノ配置ヲ受ケ居レルモ地方鐵道ノ増加ニ伴ヒ審査、營業竝竣工監査等ニ關スル事務激増セルノミナラス近時運輸數量ノ増加ト共ニ使用車輛漸次老齡ニ達セルニモ拘ラズ車輛唐使ノ傾向アリ監督指導ヲ要スル所多大ナルノミナラス一方聯結器ノ改造、貨車ノ増噸仕立検査、工作用材料ノ選擇統一等調査事項多ク到底一人ヲ以テシテハ完全ヲ期シ難ク一人ノ増配ヲ要ス業務増加内譯別表ノ如シ

監督局車輛關係新規増加事務

(一) 地方鐵道並所有ノ貨車ニシテ省線ニ直通輸送スルモノハ左記

各項ニ關シ設計變更其他取調ヲ要スルモノニシテ將來益々事務ヲ増加セシムルモノナリ、

(1) 六噸又ハ六噸積以下ノ車輛ハ七噸積以上ニ大正十年以前ニ改造ノ事

(2) 十噸積未滿ノ貨車ハ十噸積以上ニ大正十五年以前ニ改造ノ事

(3) 貨車ニ空氣制動機ノ裝置ヲ近ク取付ヲナス事

(4) 車側制動機取付ナキモノニ新規取付ヲナス事

(5) 直通全部ノ車輛ニ對シ聯結器ノ改造ヲナスコト

(二) メートル法實施ニ伴フ諸法規ノ改正並諸表、諸圖訂正及整理
ニ關スル事務ノ増加

(三) 滿鐵（滿洲鐵道）車輛及船舶事務

(四) 新設線免許認可ノ審査ニ對スル車輛關係事務

監督局車輛事務分擔

一、車輛事務一般監督

二、地方鐵道、專用鐵道、軌道ノ改良發達ニ對スル指導

三、車輛關係ノ法規、內規等ノ制定、改廢ニ關スル調査

四、竣工、營業監査分擔

五、諸出願届等ノ調査分擔

六、車輛事故ノ調査

以上ニ對シ一人

一、諸出願届等ノ調査並其ノ整理

二、地方鐵道、其他諸鐵道ノ竣功、營業監査分擔

三、運轉上ニ關スル事故其他諸事項調査

四、車輛ニ關スル諸統計

以上ニ對シ一人

車 輛 數

年 度	地 方 鐵 道			軌 道	
	機關車	客 車	貨 車	機關車	客 車 貨 車
大正三年度	351	1,355	3,953	217	4,538
， 四年度	428	1,511	4,743	231	4,684
， 五年度	467	1,581	4,989	236	4,684
， 六年度	464	1,595	5,340	250	4,676
， 七年度	486	1,721	5,864	244	4,746
					1,755

車 輛 事 故

年 度	機 關 車	客 貨 車	電 車 汽 動 車	計
大正六年	55	8	17	80
大正七年	62	4	18	84
大正八年	120	10	18	148

運 轉 成 績

年 度	地 方 鐵 道			軌 道	
	機關車走行哩	客 車 走 行 哩	貨 車 走 行 哩	客 車 走 行 哩	貨 車 走 行 哩
大正三年度	706,494	35,802.121	21,615.628	110,336.889	2,900.513
， 四年度	843,840	39,698.959	26,161.822	113,140.310	2,701.981
， 五年度	952,756	42,078.590	31,922.664	115,178.039	3,609.042
， 六年度	1,013,989	43,525.974	55,132.453	122,544.053	4,758.327
， 七年度	1,041,089	43,919.602	36,893.639	118,391.002	4,706.692

運輸局配車課長

書記官 一

「同課員（貨物課ヨリ振替）事務官 一」

一、從來配車事務ハ主トシテ運用ノミニ集中セルモ本課設置以來
特ニ新規計畫ヲ遂行スルニ至レルヲ以テ別ニ相當主任者ヲ要
ス
一、同課員（貨物課ヨリ振替）事務官 一

二、之カ爲鐵道局ニ對シテハ本省ニ於テ積極的指示ヲ爲ス必要生
シ其ノ結果鐵道局間ノ輸送ヲ圓滑ナラシムルト共ニ鐵道局ノ
集配事務ハ從來ヨリモ著シク増加シタリ

三、鐵道ノ貨車集配事務ハ詳細ナル數字ノ報告ヲ基礎トスルモノニ
シテ其ノ正否ハ輸送ノ根底ヲ動カスモノナリ從ツテ本省ニ於

テハ今回新ニ集配ニ關スル監査ノ制ヲ設ケ定期的ニ實際作業ヲ監査セシメムトス故ニ之カ指導者ヲ要ス

四貨車ノ集配事務ハ刻々變動シ止ム時ナシ從ツテ全國ノ在貨、
 結貨、荷動、港灣船舶其他各般關係ヲ取モ明ニスルヲ要シ地
 方實況視察ハ輸送事務ノ中心ナリトス然モ相手ハ鐵道局又ハ
 外部ナルヲ以テ相當地位アル者常ニ課長ト交替シ入りテ内ヲ
 守リ出テテ經濟界荷動ノ狀況ヲ視察スルヲ要ス

貨物課高等官ヲ配車課へ振替難キ理由

一、貨物等級ニ高等官常置ノ必要理由

貨物等級ノ査定ハ比較的專問ノ事務ニ^{（現）}大藏技師ノ兼
 任ヲ乞ヘル次第^{（ニシテ）}且之カ審査ハ常ニ忽ニセス向後不適當ト
 認ムルモノ又ハ不足ノ分アラハ直ニ改訂ヲ加フル方針ニシテ
 差當リ現行重量貨物トシテ認定セル品目ニ付テモ調査考究ノ
 要アリ特ニ容積扱ヲ廢止スル爲ニハ徹底的ノ調査ヲ要ス

二、運送取扱人ニ關スル事務ヲ高等官ヲシテ掌理セシムルノ必要
 アル理由

運送取扱人ニ關スル事務ハ外部ト折衝スルコト多ク且比較的

政策ヲ要スル點アリ向後取扱人組合中央會ノ發展スルト共ニ
事務益々繁多トナルヘシ三分ノ一位ノ事務アリ

重新數量其他年度別比較

明四十年度	貨			物			旅			客		
	噸數	噸	哩	噸	噸	哩	噸	噸	哩	噸	噸	哩
一	18313223	1441125011	26085579	32222	10111579	2263279765	55113766	4983				
二	23544557	18294239	15830422023	32222	123227543	2743203558	39087962	5263				
三	23544557	19117744031523	70443366428306	960486329	108	99370522	5428					
四	26481868	2126834473	3497869534742	128629	2033038	7696442144964	5658					
五	29337064	2347874475	3897038409952	161077779	33822	58641146866	3215887					
六	3253734526	1461174467	64701465	2162711737	3663	49949993596	6144					
七	36448262	30538532658	53033716	4705167773	4336909	6461951363	668					
八	36272875	2982798481	51399000	437002	1660944136223	44942047	6693					
九	35302644	3309518677	5666636943692	1722220	0463866	53094150744409	6029					
十	3610234417	13166069331	60844391	1970633204265	37477	56953229	6267					
十一	3830215033	344442587	7222	4627	4602452344805	515544330	74157	6267				
十二	43313720	560851056	1997444	43111858	288061582	65694424521198996	107118					
十三	59939525	6293798261	131809103	57067	357881957	7942632896	161546479	7288				
十四	184	234	288	126	223	219	323	119				

一 工務局建築課長	技師 一
一 建物ノ基本設計	技師 一
一 鐵道局提出建物工事同審查	技師 一
一 建物大改良工事計劃設計	技師 一
停車場及廳官舍ノ設計施行等建物ニ關スル事務ハ從來鐵道省ニ在 リテハ統一スヘキ機關ナク隨テ形体内容共ニ各局所區々ニ涉リ建 築及修理ノ施行並諸材料ノ準備等之カ事務執行上不便尠少ナラサ リシ爲之カ統一改善ヲ期センカ爲曩ニ官制改革ニ際シ工務局ニ建 築ノ一課ヲ新設シタルモノニシテ基本設計並大改良工事計劃事務 ニアリテハ全然新規増加ニ係リ課長ノ外前記三人ノ技師配置ヲ要	

ス

九、六、伊藤

一 工務局工場課長

技師 一

工場ノ新設擴張ニ關スル設備上ノ計畫設計竝之ニ伴フ諸般ノ調査準備、機械及諸準備ノ改善統一其他安全裝置ノ調査計畫等所謂工場ノ施設計畫ニ關スル事務竝工場ノ管理經營ニ關スル事務ハ從來車輛課ニ於テ之ヲ掌理セシモ近時ニ於ケル運輸作業ノ膨張ハ又工作作業ノ複雑増加ヲ來シ之ヲ施設計畫ニ關スル事務ニ就テ見ルモ既設ノ二十工場五派出所何レモ狹隘ヲ告ケ目下擴張計畫中ニ屬スル外現在新築中ニ屬スルモノ郡山、名古屋、吹田、濱島、武ノ五工場アリ車輛其他製作品ノ種類増加ニ伴ヒ尙今後益々増設擴張ノ必要アルノミナラス近時勞働問題ノ高唱セララル

工場調

	職工大規正員	職工使用正員	工事費額	
六七年	12861	3886645	16734771	
年	14950	4011.121	22803736	
年	13858	4252986	36084392	
六七年 対比 割合	116	109	216	

車 輛 数

	機関車	電氣機関車	客 車	貨 車	電 車
四十二年度	2174		5428	33665	422
四十三年度	2231		5655	34750	46
四十四年度	2295	10	5897	37952	66
九一年度	2369	12	6144	40507	72
二 年 度	2488	12	6449	42705	86
三 年 度	2599	12	6693	43902	124
四 年 度	2668	12	6829	43592	130
五 年 度	2715	12	6867	44391	125
六 年 度	2815	12	6905	46600	152
七 年 度	2933	12	7115	48568	190
八 年 度	3101	19	7285	51067	240
三年=對比 八年度合	119	158	109	117	194

工作局米國駐在

技 師 一

米國駐在製作監督員トシテハ現在機械技師三人ノ配置ヲ受ケ居
レルモ電氣機關車及電車運轉區間ノ増加、蒸氣列車運轉區間ニ
於ケル保安設備ノ電化等近時電氣設備ノ範圍擴大ト共ニ車輛及
部分品其他一切ノ電氣器具用品ニシテ之ヲ海外ニ仰クモノ多ク
是等製作監督及購入等ニ關スル事務ニ從事セシムル爲電氣技師
一人ノ配置ヲ要ス

部：添付
線路圖判任官

一建設事務所長（岐阜）

技師 一

一同 所員（岐阜二、高知一）技師 三

岐阜建設事務所ハ八年十一月五日ヨリ開設セルモノニシテ所長
ノ外所員トシテ岐阜ヨリ富山ニ達スル高山線並美濃町ヨリ福井
ニ達スル越美線ノ設計及監督ニ任スルモノ一、相可ヨリ和歌山
ニ達スル紀勢線ノ設計及監督ニ任スルモノ一計二人ノ技師ヲ要
ス

高知ハ開設日尙淺ク前年度迄ハ未タ多クノ工事ヲ開始スルニ至
ラス現在ハ所長一人ノミノ配置ヲ受ケアルモ本年度ハ須崎山田
間三十四哩ノ工事ニ著手スル豫定ニシテ之カ設計及工事監督ト

シテ所長ノ外一人ノ配置ヲ要ス

鐵道省

改良事務所ニ事務官ヲ要スル理由書

改良事務所掌理事項ハ山間僻所ニ鐵道ヲ敷設スルト異ナリ東京、大阪、神戸ノ如キ大都市及其附近ニ於ケル線路及建造物ノ改良ナルヲ以テ之カ遂行上先ツ用地ノ買収ニハ收用審査會ノ裁決ヲ受クル程度ニ調査ヲ要シ進テ裁決ヲ受クル場合會ニ出テ、應答辯明ヲ要シ又線路ノ配置其他交通ニ關シテハ都市計畫委員會トノ折衝ヲ要シ又要塞地帯ニ關スル折衝ハ陸軍ハ高等官ニ非ラサレハ責任アル應答ヲ爲ササル例トナリ居リ其他各般ニ付渉外事務ノ處理、工事費ノ支拂、人事其他一般ニ亘リ庶務ヲ掌ラシムルモノナルヲ以テ高等官ヲ配置スルニ非サレハ右等ノ諸務ヲ圓滑ニ處理シ難シ

金町小岩間及越中島線新設

技師 一

哩 數 金町小岩間四哩二分 越中島線三哩五分

線 路 數 複線

新設停車場 新小岩、小名木川、越中島(貨物大停車場)

九年度工費 百二十九萬圓

竣工豫定 十七年度

所要員内譯

越中島線設計及工事監督
金町小岩間測量設計

一一

鐵道省

東京市街線

技師 一

哩數 二哩二分

線路數 東京神田間 四線增設
神田上野間 五線新設

九年度工費 百五十三萬圓

竣工豫定 十五年度

所要員內譯 東京上野間工事監督 一一
神田上野間測量設計 一一

鐵道省

改定事務所人負及費額

	八年度		九年度		増 費額	竣工 豫定
	人 負	費 額	人 負	費 額		
河川改修工事(常磐線武蔵野線) 越中島線及金町線(越中島線は越中島線 小笠原線各線(金町小笠原間、則量改定) 新橋千足、谷間改定、横濱大船泊間 線路増設、横濱線復旧 東京市街線(東京上野間工事監督) 上野四端間線路各主幹線改定 品川四端間及中央線	2	130	1	271	141	10
	1	102	2	109	27	17
	1	81	1	94	1	12
	1	121	2	306	185	15
	1	0	1	0	0	16
	2	195	2	251	56	15
計		635		1051		
大・東京市間及京都市・山形 京都市・豊前・二線市・市内高床線 梅川・路・小野・浜・停車場改定 吹田・停車場・新・改定 大阪・停車場改定 鷹取・停車場及神戸・海岸線 大阪・臨港線・新設及大阪・北方・直通線	1	112	1	123	11	10
	3	153	3	196	43	18
	1	70	1	101	31	13
		52	1	65	13	15
	1	0		0	0	18
	1	109	1	75	34	15
計		494		558		
合 計	16	1129	17	1609	180	

一 庶務課掛長

△ 副參事 四
參事補 二

從來仙臺、札幌ノ兩局ハ人事、保健、文書、賠償ノ四掛ニ對シ
一人ノ高等官配置アルノミナルモ近時勞働問題ノ高唱セララル
ニ從ヒ給與待遇關係事務著シク膨張セルノミナラス病院及治療
所ノ普及及其他一般衛生ニ關スル施設等頗ル複雑トナリ到底一人
ヲ以テシテハ完全ヲ期シ難ク他局同様二人ヲ配置スル必要アリ
即チ二人ノ増配ヲ要ス新規施設概要次ノ如シ

庶務關係新規施設

一 共済組合年金制度ノ實施

鐵道省
鐵道總局
鐵道部

一 共濟組合購買部ノ新設

一 共濟組合貸付部ノ新設

一 住宅、合宿所、休憩所、共同浴場、食堂ノ新增設等休養

慰安施設ニ關スル調査並施行

一 手袋、跣足袋其他被服ノ給與ニ關スル調査

九六 伊賀納

大正九年六月

鐵道現業員待遇施設概要

鐵道大臣官房保健課

鐵道現業員待遇施設概要

目次

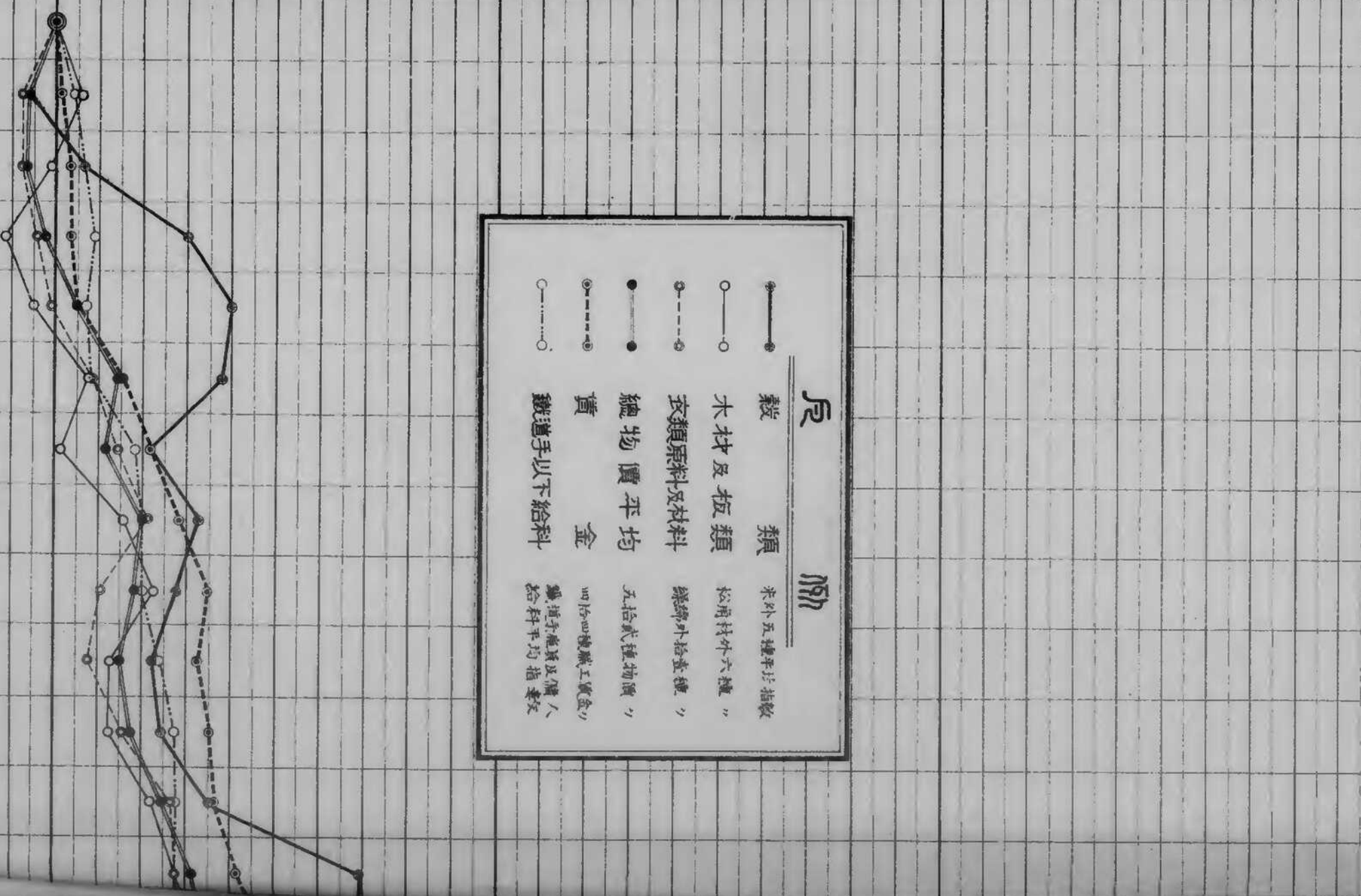
一 給料及諸給	一
二 被服	五
三 住宅	八
四 共済組合	一一
五 治療設備	一五
六 教育	二六
七 休養	二九
八 修養及慰安	三一
九 現業委員會制度	三五

十	生活必需品ノ供給.....	三六
十一	貯蓄ノ奨励.....	四一
十二	救済事業ニ對スル補助.....	四二

物價、賃銀、鐵道從業員給料指數

年 度 昭和三十三年 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 大元

390
380
370
360
350
340
330
320
310
300
290
280
270
260
250
240
230
220
210
200
190
180
170
160
150
140
130
120
110
100
90

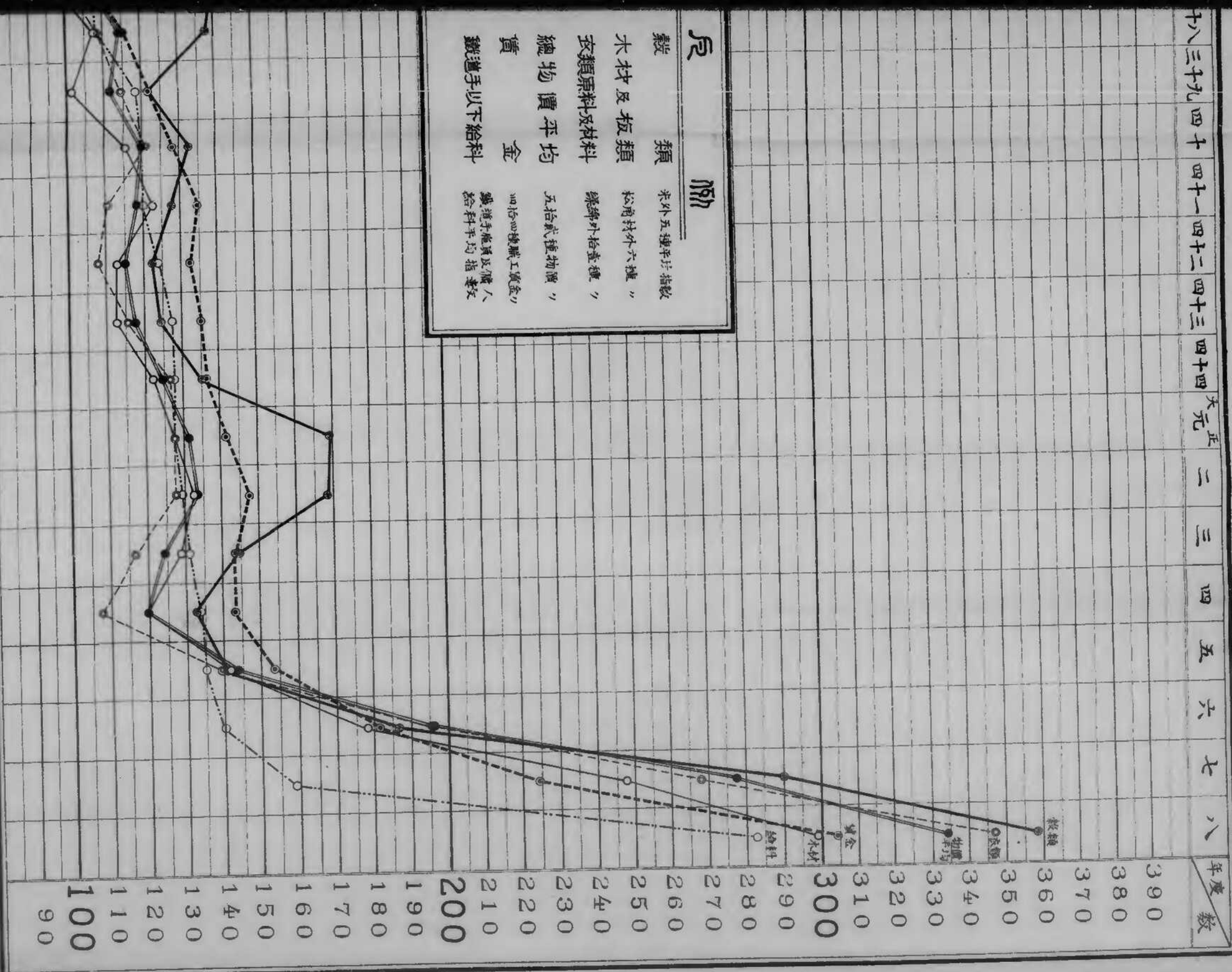


尺 勇

- 穀類 米外五種平均指數
- 木材及板類 松用材外六種
- 衣類原料及材料 絲綿外拾壹種
- 總物價平均 五拾貳種物價
- 賃銀 四拾四種職工賃金
- 鐵道手以下給料 鐵道手能員及傭人拾科平均指數

賃銀、鐵道從業員給料指数比較表

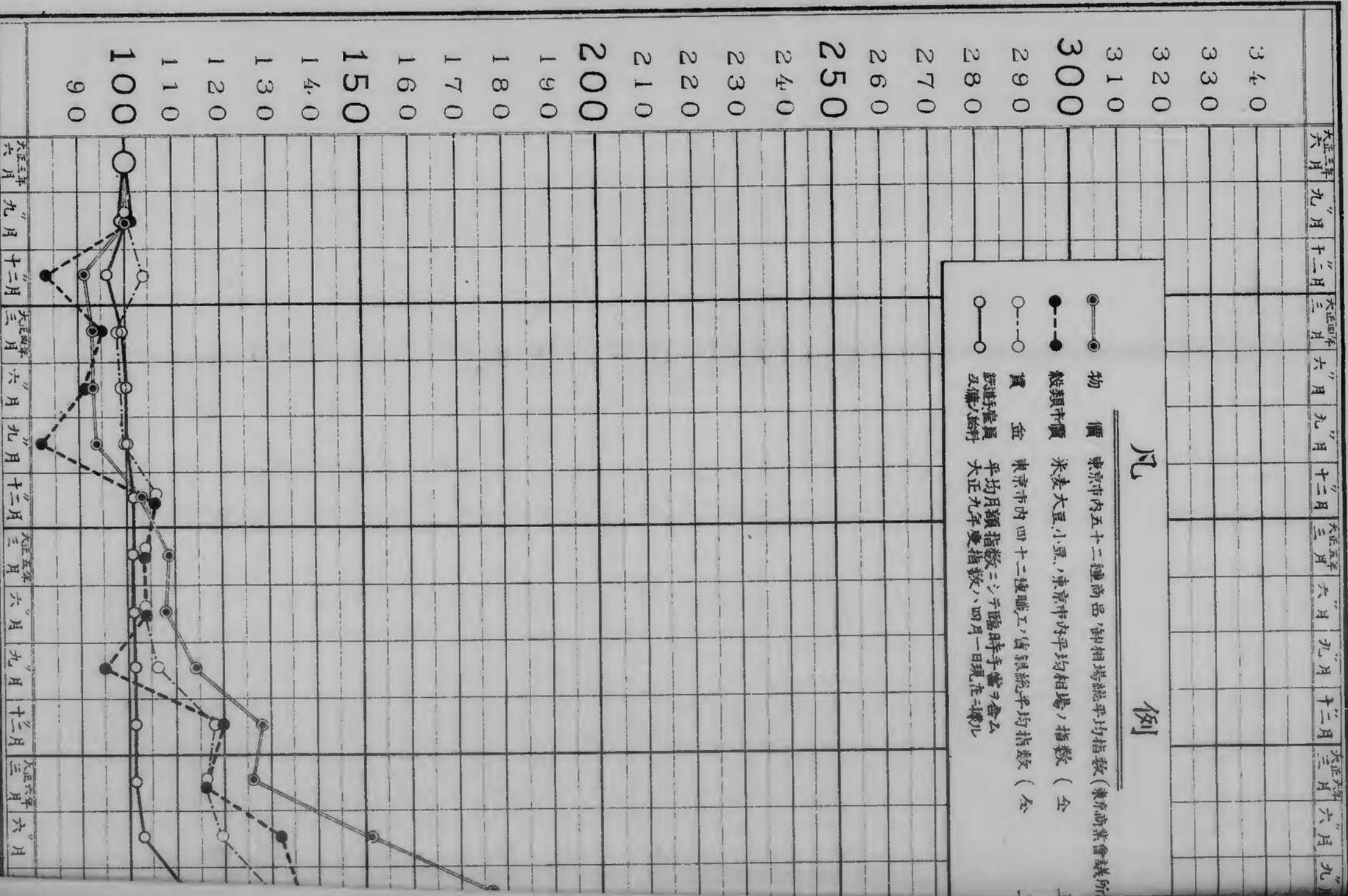
自明治三十三年最近廿年間
至大正八年



戦前戦後ニ於ケル物價 賃金

凡 例

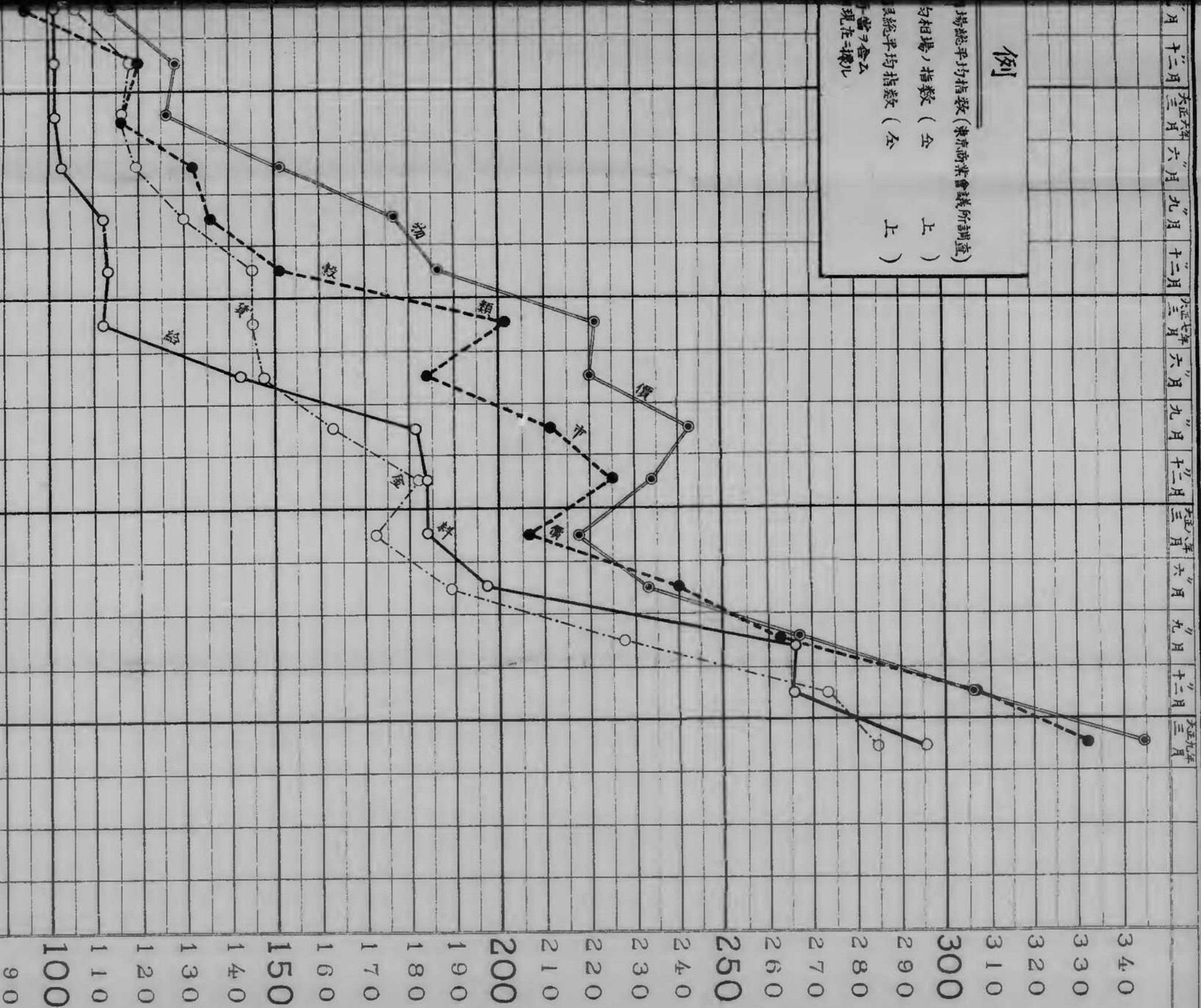
- 物 價 東京市内五十二種商品、卸相場場総平均指数 (東京商業會議所)
- 穀類市價 米麦大豆、小豆、東京市内平均相場ノ指数 (全)
- 賃 金 東京市内四十二種職工ノ賃銀總平均指数 (全)
- 賃 金 平均月額指数ニシテ臨時手當ヲ含ム
- 賃 金 大正九年度指数ハ、四月一日現在ニ據ル



ケル物價 賃金ト鐵道從業員給料トノ比較

官房保健課調

例
場總平均指數 (東京商業會議所調査)
均相場ノ指數 (全 上)
銀總平均指數 (公 上)
手當ヲ含ム
現在ニ據ル



鐵道現業員待遇施設概要

一 給料及諸給

(イ) 本給及臨時手當

本給ハ職務ノ種類ニ從ヒ一様ナラス、雇員二十五圓以上ハ月給トシ得ルモ夫レ以下ハ日給トス傭人ハ職務ノ性質ニ依リ甲種乙種ニ分チ更ニ甲種傭人ヲ第一種第二種ニ分チ各給料ノ支給方法ヲ異ニセリ則チ甲種傭人ハ日給トシ其第二種ニ屬スルモノヲシテ定時間外ニ勤務セシメタル場合ハ二時間(隧道坑内工事ハ一時間)ヲ超過シタル勤務ニ對シ一時間ニ付日給額百分ノ十ノ割合ヲ以テ増務給ヲ加給シ又午前五時前午後八時後ニ勤務セシメタル場合定時間内勤務ニ對シテハ一時間ニ付日給額百分ノ三ノ割合ヲ以テ歩増給ヲ加給シ定時間外勤務ニ對シテハ一時間ニ付日給額ノ百分ノ十三ノ割合ヲ以テ増務給ヲ加給ス而シテ一日ノ勤務定時間ハ第一種ニ屬スル者ハ一日十時間第二種ニ屬スル者ハ季節ニ依リ九時間、十時間、十一時間(隧道坑内工事ハ八時間)トセリ乙種傭人ハ勤務定時間ヲ以テ一人トシ勤務時間數ニ應シ人員ニ換算シテ日給ヲ支給ス而シテ勤務定時間ハ電氣工夫長及電氣工夫ハ甲種第二種ニ等シク其他ハ一日十時間(隧道坑内工事ハ八時間)トセリ定時間ヲ超エテ勤務セシメ

二

タル場合ニ於テハ一時間ヲ一步(隧道坑内工事ハ一步三厘)ノ割合トシ又定時間ニ滿タサル端數ニ對シテハ定時間ニ比例シテ支給ス右ノ外乙種傭人ノ定時間勤務カ午前五時前午後七時後ナル場合及瓦斯工カ繼續勤務十三時間以上ニ亘リタル場合ハ更ニ三割ノ加給ヲナス制アリ尙雇員ト傭人トヲ問ハス休暇日(乙種傭人ヲ除ク)非番日公傷休業日等ハ日給者ト雖モ勤務日數ニ算入シ給料ヲ支給セラレ從來演習ノ爲メ陸海軍ニ應召中ノ鐵道手雇以下ニ對シテハ其間給料ノ支給ヲ停止セシモ大正八年十一月以降應召中陸海軍ニ於テ受クル給料ト省ノ本給トヲ比較シ其差減額ヲ支給スルコトナレリ歐洲戰爭以來物價空前ノ昂騰ヲ來シ從事員ノ生計ヲ脅カスコト頗ル急ナルヲ見毎年六月及十二月ノ定期昇給ノ外更ニ臨機ノ措置トシテ(1)大正六年五月各職工ニ對シ日給額平均九分一厘ノ増給ヲ行ヒ(2)同年九月給料月額四十圓以下ノ者ニ對シ月給者ニハ二圓日給者ニハ六錢ノ増給ヲ行ヒ且ツ初任給及現在者ノ最高給額ヲ高メ(3)大正七年九月主トシテ給料月額四十圓以下ノ者ニ對シテ勤務地ト物價ノ關係ヲ斟酌シ等差ヲ設ケテ昇給ヲ行ヒ(4)大正八年八月給料月額四十圓以下ノ者ニ對シ二割ノ増給ヲ行ヒ(5)同年十月給料月額四十圓以上ノ者ニ對シ判任官ハ俸給令ノ範圍内ニ於テ増給シ鐵道手及雇員モ亦之ニ準シ且ツ最高給額ヲ高メタリ

大正九年三月末日調査ニ係ル鐵道手及雇以下ノ給料年額並平均給料次ノ如シ

鐵道手	年 月	人 員	給 料 年 額	一 人 平 均 月 額
雇 員	大正九年三月末日	一四八〇	八五四七三四	四八・二七
傭 人	大正九年三月末日	四六九五九	一五二二一九二九	二七・〇一
計	大正九年三月末日	一〇〇四五一	二九七四七二一〇	二四・六七
	大正九年三月末日	一四八八九〇	四五八二二七八三	二五・六四

時局ノ影響ニ應スルノ策トシテ本給ノ外又臨時手當ヲ支給スルノ制ヲモ採リ(1)大正六年五月以降日給一圓以下ノ雇傭人ニ月額三圓以内ノ手當ヲ給シ(2)同年十二月前段ニ記述セル九月ノ臨時昇給者其他ニ對シ二割五分以下ノ臨時賞與金ヲ給シ(3)大正七年四月以降勅令ニ基キ一般臨時手當二割五分ヲ給シ(4)同年九月以降一般臨時手當ヲ四割ニ改メ(5)大正八年四月以降臨時手當ヲ五割ニ改メ(6)同年七月判任官以下ニ對シ給料月額二分ノ一以内ノ臨時賞與金ヲ給シ(7)十月更ニ月額五十五圓以下ノ者ニ對シ二割ノ特別臨時手當(臨時手當ト共ニ七割)ヲ支給シ(8)大正九年四月臨時手當(特別臨時手當ヲ含ム)ノ支給方ヲ改メ給料月額百圓以上二百五十圓迄ノ者ハ月額十六圓六十六錢六厘ト給料ノ三十分ノ十三トヲ合シタル額、給料月額二十五圓以上百圓迄ノ者ハ月額十圓ト給料ノ二分ノ一トヲ合シタル額、給料月額二十五圓以下ノ者ハ給料ト同額ノ臨時手當ヲ給スルコトナレリ

三

以上ノ結果トシテ現在ニ於ケル本給、臨時手當ヲ合算スルトキハ鐵道手以下ノ平均支給ハ月額四十

九圓三十錢トナル

(ロ) 特別手当

特別ノ勞務ニ對スル報酬トシテハ種々ノ場合ニ應ジ特別ノ手当ヲ給スルノ制度ヲ取リ居レリ(1)出札
從業員ニ對スル勤務手當ハ混雜裡ニ在リテ複雑ナル賃金ヲ計算シ之ヲ收納スルモノナルヲ以テ特ニ
賃金收入額ニ依リ驛ニ區分ヲ設ケ一日十五錢以下ノ勤務手當ヲ支給シツツアリ年額約二萬圓ナリ(2)
宿直又ハ徹夜勤務者ニ對スル夜勤手當ハ宿直ノ場合ニハ判任官及雇十八錢僱人十三錢徹夜ノ場合ハ
判任官及雇二十七錢僱人二十錢ナリ而シテ支出年額約百四十二萬圓(一人平均年額九圓)ニ達ス醫
員及藥劑員ニ對シテハ特ニ一夜五十錢ヲ給ス(3)教習手當ノコトハ教育ノ章ニ記述セリ(4)車掌ニ對ス
ル乗務手當ハ旅費トシテ支給シ其他機關車乗務員ニ對スル手當アリ(5)工場ニ於ケル職工指導員ニ
對シテハ特別勉勵手當ヲ給ス(6)其他作業ノ困難又ハ危險ヲ伴フ業務ニ從事スル僱人ニ對シテハ相當
ノ手當ヲ與フ例モハ連結手又ハ其代務者ニ對スル給料割増ノ如キ是レナリ而シテ隧道工事坑内作業
從業員ニ對シテハ寧ロ消極的ニ勤務時間ヲ二時間短縮スルノ方法ヲ採レルコト既記(イ項)ノ如シ

(ハ) 年功加給

年功加給ハ鐵道手以下ノ從事員ニ對シテ滿五箇年以上勤務シ成績良好ノ者ニ給與スルモノニシテ其
月額ハ勤続五年以上一圓、十年以上二圓、十五年以上三圓トシ尙ホ年功ニ依リ功績章ヲ授與セラレタ

ル者ハ月額四圓ヲ給與スルモノトシ大正八年九月ヨリ之ヲ實施セリ此給與年額約百萬圓ナリ

(ニ) 賞 與 金

毎年六月及十二月ノ兩期ニ於テ一般從業員ニ賞與金ヲ給與ス尙ホ特別慰勞金ノ制アリサレト其標準
等茲ニ特ニ記載セス

一 被 服

被服類ノ貸與ハ旅客公衆ニ接スル職員、特別ニ被服ヲ汚損スル作業ニ從事スル職員及取締上一定ノ服
裝ヲ爲サシムル必要アル職員ヲ主トシテ尙ホ優遇上必要アリト認メタル職員ニモ之ヲ及ホスノ途ヲ講
シツツアリ現在職員中貸與ヲ受クルモノヲ服種別ニセハ

羅紗服ヲ貸與セラルル者	約四萬二千人
小倉服ヲ貸與セラルル者	約三萬五千人
法被ヲ貸與セラルル者	約三萬人
作業服ノミヲ貸與セラルル者	約七千人
外套ヲ貸與セラルル者	約六萬四千人

外套ハ主トシテ近寒地在勤者ニ貸與スル方針ナルモ職務ノ關係上之ニ據リ難キモノハ勤務地ニ拘ハラ

ス貸與スルコトセルカ驛員、乗務員ノ外新ニ保線從事員ニモ及ホスノ方針ヲ採リ昨年冬期ハ差當リ
陸軍舊式外套一萬五千着ノ拂下ヲ受ケテ之ヲ貸與セリ
被服類ハ作業ノ狀態ト使用地質ノ關係トニ依リ毎年及隔年貸與等ニ區分シ羅紗服及制帽ハ主トシテ每
隔年小倉服作業服ハ毎年貸與シ外套ノ多數ハ毎三年ナルモ船舶乘組員及列車乘務車掌ノ如キハ毎隔年
機關手火夫等ハ毎四年ニ貸與シ居レリ

從來被服類ハ他ノ物品ト同様競争入札又ハ隨意契約ニ依リ購入シタリシモ外部ヨリ購入スル制度ハ種
種ノ缺點ヲ免レサルヲ以テ調査研究ノ結果遂ニ明治四十四年七月被服工場ヲ設置シ直營トセリ但シ雨
衣ノ如キ特殊ノモノハ依然民間ヨリ購入シ其額約八萬圓ナリ現在ノ被服工場ハ初メ芝公園元海軍水路
部ノ建物敷地ヲ讓リ受ケタルモノニシテ其後數棟建増シタルカ配給數ノ増加ト共ニ漸次狹隘ヲ告クル
ニ至リ本年一月總額約十萬圓ノ工費ヲ以テ新工場ノ増築落成ヲ見タルモ最近現業從事員ノ増加ニ伴ヒ
更ニ第二次擴張ノ止ムナキニ至リ約三十萬圓ノ工費ヲ以テ増築ノ計畫中ナリ
本工場ノ職工數並年々ノ配給高及所要經費ヲ舉クレハ左ノ如シ

職工員數

直營當初 約三〇〇人
現在 約六五〇人

新工場落成ノ曉ハ約七〇〇人ニ増員ノ見込ナリ

各年配給高

大正元年度	六八五、〇〇〇 _円
同 二年度	六二〇、〇〇〇
同 三年度	八九五、〇〇〇
同 四年度	七二〇、〇〇〇
同 五年度	八四五、〇〇〇
同 六年度	一、一六〇、〇〇〇
同 七年度	二、〇九五、〇〇〇
同 八年度	二、九〇〇、〇〇〇

各年所要經費

年次種別	職員給	職工給	諸費	物品代	合計
大正元年度	六八八五 _円	八三、八九三 _円	八、〇〇九 _円	一〇、九五七 _円	一〇九、七四四 _円
同 二年度	五六八三	七九、二八八	一〇、二〇三	一〇、〇五九	一〇五、二三三
同 三年度	三、〇三八	七三、八一二	九、九五九	四、三三八	九三、一四七

大正四年度	五二二二	七一五三二	九五一五	四〇七九	九〇三四八
同五年度	五二六七	六六六九七	九九二九	四二二七	八六〇二〇
同六年度	五四八〇	九八七五七	一二三四四	二二二七八	一三九八五九
同七年度	七八三三	一七一〇三三	一八二〇〇	三〇二一九	二二七二八五
同八年度	一七五五二	二五〇二六七	二四、五七三	三七四七一	三二九八六三

工場職工ノ保健衛生並能率増進ノ必要上工場内ニ相當ノ設備ヲ爲シ作業ニ因リ汚損シタル作業服ヲ省費ヲ以テ洗濯シ且ツ輕微ナル小修理ヲモ施シ得ルノ設備計劃中ニシテ之カ豫算ハ洗濯機其他設備費十三萬一千圓洗濯費經常年額六萬五千圓被服修理費年額二萬五千圓ヲ要スルノ見込ナリ而シテ本計劃完成ノ上ハ更ニ機關庫所屬ノ従事員ノ被服ニ對シ同様ノ計劃ヲ立テント欲ス

三 住 宅

(イ) 官 舎

職員ノ官營住宅施設トシテ官舎及合宿所アリ官舎ハ主トシテ職務上必要トスル者ニ義務居住ヲ命スルモノナルモ餘裕アル場合ハ之ヲ貸付スルコトアリ義務居住者ヨリハ官舎料ヲ徴收セサルモ然ラサル者ヨリハ之ヲ徴收ス而シテ從來ハ少數ノ工場附屬長屋ヲ除キ大體ニ於テ高級者ニ對スル施設トモ見ルヘカリシカ特ニ下級者ノ爲メ最近工ヲ竣リタル職員官舎大井工場二百七十二戸田端百五十二戸市川十六戸船橋十六戸東神奈川三十二戸金澤二十四戸飯田町八戸津田沼八戸合計五百二十八戸ニ達シ主トシテ職工其他傭人ノ住宅ニ供セリ

官舎ノ大正八年十二月末現在總戸數ハ一萬三千三百三十七戸ニシテ尙ホ未竣工ニ屬スルモノ千八百五十七戸アリ

官 舎	局	現 在 數	本年度増設ニ 屬スルモノ	計
東 名 神 門 仙 札	鐵 鐵 鐵 鐵 鐵	二、〇三九 一、四四五 一、四〇二 一、二八七 一、五三四 五、四三〇 一、三、一三七	五四三 〇 三六〇 八 二六七 六七九 一、八五七	二、五八二 一、四四五 一、七六二 一、二九五 一、八〇一 六、一〇九 一、四、九九四
計				

(大正八年十二月末現在)

(ロ) 合 宿 所

合宿所ハ甲號及乙號ニ分テ甲號合宿所ハ汽車乗務員及列車従事員ノ定宿及一時ノ休泊ニ充テ乙號合宿所ハ従業員ノ居住及定宿ニ充ツルモノニシテ何レモ宿代ヲ徴收セス

11

(大正八年十一月一日現在)

東 名 神 門 仙 札		乙 號 合 宿 所 住 職 員 數	
局	計	現 在 數	本 年 度 増 設 局 ス ル モ ノ
鐵	鐵	一、六六三	
鐵	鐵	六二三	
鐵	鐵	一、六九二	
鐵	鐵	三、八六五	
鐵	鐵	八八〇	
鐵	鐵	一、三三八	
計	計	一〇〇五一	

(大正八年十二月末現在)

乙 號 合 宿 所	甲 號 合 宿 所
東 名 神 門 仙 札	東 名 神 門 仙 札
計	計
鐵 鐵 鐵 鐵 鐵 鐵	鐵 鐵 鐵 鐵 鐵 鐵
一、 四 七 九	四 五
三 三 七	一 九
一 四 三	〇
三 九 五	七
一 〇 八	二
二 四 二	三
二 五 四	四
九 三	一
二 三	一
二 三	〇
二 三	〇
九	〇
〇	〇
七	〇
一 五 七 二	四 六
三 六 〇	二 〇
一 六 六	〇
四 二 六	七
一 一 七	二
二 四 二	三
二 六 一	四

スルコト、ナレリ

組合ハ前記給料ノ百分ノ十一ヲ以テ左ノ給付ヲナスモノニシテ本年度ヨリ退職及廢疾年金ヲ設定シタリ

一 公傷給付

職務上ノ傷病ニ罹リ不具廢疾ニ陥リタルトキ重傷者ハ終身年金ヲ輕傷者ハ一時金ヲ給ス其標準ハ一等傷年金七箇月分乃至九箇月分、二等傷年金三箇月分乃至五箇月分、三等傷一時金八箇月分乃至一年六箇月分、四等傷一時金一箇月分乃至六箇月分トス

二 廢疾給付

廢疾給付ハ之ヲ廢疾年金及特症金ニ分テ何レモ公務以外ノ傷病ニ對シテ給スルモノニシテ廢疾年金ハ加入後十年ヲ經過シ一肢以上ノ用ヲ失ヒ若ハ之ニ準スル程度ノ不具ニ陥リ又ハ特定ノ疾病ノ爲恒久的廢疾ニ陥リタル退官又ハ退職者ニ對シ給料三箇月分以上六箇月分ノ終身年金ヲ給シ特症金ハ肺結核又ハ職業的疾患ニ罹リ業務ニ堪ヘス退官退職シタル場合ニ加入年數ニ應シ給料三箇月分以上一年分ニ相當スル一時金ヲ給ス

三 疾病給付

疾病給付ハ三種ニ分ツ醫療金ハ公務以外ノ傷病ニ對シ其醫療費用ノ五割若ハ七割ヲ補給ス休養金ハ休業治療ニ依ル所得不能ノ日ニ對シ日給ノ半額ヲ給ス產婦金ハ女子ノ分娩前後六週間ヲ限リ休業ニ因ル所得不能ノ日ニ對シ日給ノ半額ヲ給ス

四 退職給付

退職給付ハ之ヲ退職年金、退職定期年金、退職一時金ニ分テ退職年金ハ加入後二十

年ヲ經過シ年齡四十歳ヲ超ニ脱退シタル場合ニ給料四箇月分ノ終身年金ヲ給ス加入一年ヲ増ス毎ニ給料年額ノ百分ノ一ヲ加給ス退職定期年金ハ加入十五年ヲ經過シテ年齡四十歳ヲ超ニ脱退シタル場合ニ給料三箇月分乃至十五箇年間給シ加入一年ヲ増ス毎ニ給料年額ノ百分ノ一ヲ加給ス、退職一時金ハ年金ヲ受クルニ至ラスシテ脱退シタルトキ平均掛金ノ元利合計ニ該當スル額ヲ給ス

五 遺族給付

遺族給付ハ之ヲ遺族年金、遺族一時金、葬祭金ニ分テ遺族年金ハ組合員公務上死亡シタル場合ニ於テ其加入年數ニ應シ給料三箇月分乃至四箇月分ノ年金ヲ其配偶者、遺子、父母、祖父母ノ順位ニ依リ轉給ス遺族一時金ハ公務ニ因ラスシテ死亡シタル場合其遺族ニ加入年數ニ應シ給料六箇月分以上一年六箇月分ノ一時金ヲ給ス葬祭金ハ組合員死亡シタルトキ其葬祭ヲ營ミタル者ニ公務上ノ死亡ノ場合ハ給料二箇月分公務ニ因ラサル死亡ノ場合ハ給料一箇月分ヲ給ス

六 災厄給付

災厄給付ハ災厄見舞金、家族見舞金、家族弔慰金ニ分テ組合員ニシテ水火震災等ノ災害ニ遭遇シタルトキハ給料二箇月分以内ノ見舞金ヲ其家族疾病ニ罹リタルトキハ給料十日分以内ノ家族見舞金ヲ家族死亡シタルトキハ給料十日分以内ノ家族弔慰金ヲ給スルモノナリ

共済組合ハ創立以來十有四年ヲ經今日ニ在リテハ組合員數八年度末現在ニ於テ十四萬二千六百二人ニシテ收入支出ノ狀勢左ノ如シ

大正八年度

収入

政府給與金	六八〇、六四四・〇七
組合員掛金	一、一九三、七二三・二九
預金利子	四六、七九五・八六
證券利子	二二二、九三六・一一
寄附金	八二〇・五五
雑収入	二〇、八四二・八三

計

前年度繰越金

合計

二、一五五、七六二・七一
六、二九四、七三四・五二
八、四五〇、四九七・二三

此内百二十六萬有餘圓ノ剩餘金ヲ除クノ外悉ク年金其他各給付金ノ基金タル責任準備金トシテ管理スルコトヲ要スルノミナラス救済金中ニハ豫定利率年五分ヲ積算セルモノナルヲ以テ相當利殖ノ必要アルモノトス故ニ特ニ財産管理委員ヲ置キ之ヲ管理ノ任ニ當ラシム而シテ今日ハ大部分内外債ノ證券トシテ管理サレツツナリ

支出

公傷救済金	九〇九・八	三六九、四五五・〇三	四〇六・四四
疾病救済金	一二、七七八	一五〇、〇〇〇・二三	一一・七四
死亡救済金	二、八九〇	三九四、七五九・九二	一三六・六〇
退職救済金	一二、一八四	三一八、四九二・七六	二六・一四
養老救済金	一四八	一六、三九七・三三	一一〇・七九
雜費其他		四、六〇一・三九	
計		一、二五三、七〇六・六六	

(一人平均)

五 治療設備

(イ) 職員ノ療養

職員ノ職務執行上傷病ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル場合従前之カ療養方一切共済組合ノ負擔トナシ來リタルカ鐵道業務ノ格段ナル危險率ハ左表ノ如ク高キヲ以テ組合ノ負擔ニ委スル能ハス大正三年六月ヨリ組合ニハ單ニ不具療養者ノ扶助ノミヲ執行セシメ療養ハ之ヲ政府ニ移シ醫療ハ勿論義手足及溫泉療養マテ之ヲ官費ヲ以テ支辨シ職務上ノ疾病ノ範圍モ多少之ヲ擴張シタリ而シテ休業治療中ハ期間ノ制限ナク給料ノ全額ヲ給ス又療養ハ四箇所ノ鐵道病院ト四十二箇所ノ治療所及一箇所ノ療養所ト五百四十四名ノ鐵道賜託醫ニ就カシムルモノトス

最近七箇年ノ負傷者數

年 度	負 傷 人 員		現在人員一千人ニ對スル負傷歩合	
	工場ノ分	工場以外ノ分	工場ノ分	工場以外ノ分
大正二年度	一五九三八	四八七四	九三三三	五七九
同 三年度	一七三二〇	五四二二	一〇六〇一	六〇八
同 四年度	一六三三九	四八七二	一〇六七〇	五四七
同 五年度	一五九三八	六〇二二	一〇六一三	六六四
同 六年度	一九三三二	八五七五	一三七八三	八五八
同 七年度	二一八七七	一〇四四九	一四〇七二	九五四
同 八年度	二二、九〇〇	一二、六三九	一四七九六	九九四
計	二〇、八一二	二二、七二二	二〇、五五六	二、一五七

(ロ) 鐵道病院

公傷病ノ療養及職員家族ノ疾病ヲ診療スル爲既ニ四個ノ鐵道病院ト一個ノ療養所及四十二個ノ治療所ヲ經營ス之等直營治療機關ノ經常費ハ大正八年度ニ於テ七十四萬六千圓ヲ要シ本年度ニ於テハ百十七萬圓ノ豫算ナリ而シテ八年度ニ於テハ患者延數百五萬一千有餘人ニ達シ尙ホ本年度ニ於テハ百二十五萬人ニ上ル見込ナリ之等ノ患者ハ公傷者ニ在リテハ官費ニシテ普通患者ハ相當ノ料金を徴收ス八年度ニ在リテハ支出ニ對スル收入ハ五割四分ニシテ患者一人當リ收入三十八錢四厘支出七十錢七厘ニシテ同年度ノ收支ノ差減三十四萬一千五百有餘圓ハ全ク省ノ負擔ニ屬スルモノトス

鐵道病院ハ東京、神戸、札幌及門司ノ四箇所ニ在リ東京鐵道病院ハ元常盤病院ト稱シ明治四十四年五月ノ創設ニ係リ救済組合ノ所屬ナリシカ大正三年六月療養令發布ト共ニ官立病院トナリ神戸鐵道病院ハ大正四年三月札幌鐵道病院ハ同年十月門司鐵道病院ハ大正六年四月ノ創設ナリ、東京鐵道病院ハ内科、外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚泌尿科及齒科ノ六分科ヨリ成リ他ノ三病院ハ内科、外科、眼科、耳鼻咽喉科、齒科ノ五分科ヨリ成ル

患者ハ三種トス第一種患者ハ公傷者ニシテ料金を徴收セス第二種患者ハ旅客ノ傷病者ニシテ傷病原因ニ依リ料金を負擔者自ラ異ル場合アリ第三種患者ハ職員及家族ノ普通ノ傷病者ニシテ料金を徴收ス料金ハ入院料一等東京二圓五十錢其他二圓二十錢二等東京一圓五十錢其他一圓三十錢三等東京一

圓其他九十錢ニシテ内服藥一種一日分高等官十錢判任官以下八錢トシ手術料處置料ニハ各差等アリ

大正九年度ノ收支豫算

病院名	收	入 (公傷料 金ヲ除ク)	支	出
東京鐵道病院		六三、一一二、〇〇〇		三三、二九八、九〇〇
神戸鐵道病院		四〇、二〇三、〇〇〇		一三、三二五、三〇〇
札幌鐵道病院		五七、〇九五、〇〇〇		一三五、二五四、〇〇〇
門司鐵道病院		五二、七二六、〇〇〇		一三九、三四五、〇〇〇
計		二一三、一三六、〇〇〇		六四〇、八四一、〇〇〇

大正八年度ノ患者數(自大正八年四月至同九年三月)

入院患者

病院名	第一種患者 延入人員	第二種患者 延入人員	第三種患者 延入人員	計	第一種一日 平均人員	第二種一日 平均人員	第三種一日 平均人員	計
東京鐵道病院	一六、四八九	一、六五三	一六、七五七	三四、九〇〇	四五一	四五一	四五八	九五四

神戸鐵道病院	一二、三六三	五七四	六、二九七	一九、二三四	三三八	一六	一七三	五二六
札幌鐵道病院	一一、〇四四	〇	三、五八五	一四、六二九	三三九	〇	三七一	七〇〇
門司鐵道病院	一一、四三七	一七	八、八六四	二〇、三二八	三二二	〇	二四三	五五四

外來患者

病院名	第一種患者 延入人員	第二種患者 延入人員	第三種患者 延入人員	計	第一種一日 平均人員	第二種一日 平均人員	第三種一日 平均人員	計
東京鐵道病院	二、三三五	五三三	一〇、五九八	一二、四六六	六四〇	一五	二八八	九四三
神戸鐵道病院	九、〇一六	一一三	六、六五七	一五、七八八	二四七	〇三	一八二	四三二
札幌鐵道病院	五、七〇二	九	八、四五四	一四、一六五	一五六	〇〇	二二七	三八三
門司鐵道病院	七、五八七	四	八、三一七	一五、九〇八	二〇八	〇〇	二二九	四三七

備考 入院患者ニ對スル治療日數ハ三百六十六日外來患者ニ對スル治療日數ハ三百六十五日

(ハ) 治療所

治療所モ當初ハ救濟組合ノ經營ニシテ明治四十年大宮工場及元神戶工場ニ醫師ヲ聘シ應急手當所ヲ開始シタルニ端ヲ發シ應取工場之ニ次キ爾來其數ヲ増加シ大正三年六月療養令發布ト共ニ官立トナレリ今日ハ二十九ノ鐵道治療所ト十三ノ工場治療所ヲ有ス其他開設準備中ノ鐵道治療所四箇所アリ患者ノ種類ハ鐵道病院ト同一ナルモ入院設備ヲ有セス料金ハ鐵道病院ニ比シ遙ニ低廉ニシテ内服藥

一種一日分高等官七錢判任官以下五錢トス治療所ノ大正九年度豫算四十七萬四千八百四圓ニシテ其
内譯及患者表左ノ如シ

治 療 所	收入豫算 (公傷患者ニ對スル ル料金ヲ除ク)	支 出 豫 算	患者一日平均人員 (大正九年 四月至九月 平均)
鐵道治療所	一、七五一・〇〇	八、一七四・〇〇	三四・六
横 川	一、七二三・〇〇	九、六九〇・〇〇	四〇・五
鳥 下	三、八四九・〇〇	一二、九〇三・〇〇	九二・〇
函 館	二、八〇八・〇〇	一一、五〇六・〇〇	五八・一
上 野	三、八六三・〇〇	一六、八二九・〇〇	七四・〇
松 本	九、二二三・〇〇	七八〇・九〇〇	二四・二
大 阪	二、八九九・〇〇	一四、四八五・〇〇	九三・〇
熊 本	一、〇六一・〇〇	八、〇二四・〇〇	三六・九
青 森	三、五四八・〇〇	一二、一一九・〇〇	五二・四
兩 方	一、六二五・〇〇	九、五七九・〇〇	三七・二
直 野	一、四一五・〇〇	七、九八三・〇〇	三二・三
追 分	一、六四一・〇〇	七、三八〇・〇〇	三三・六
野 付	一、五〇七・〇〇	七、四三六・〇〇	一九・八
名 古 屋	五、七七六・〇〇	三八、七六八・〇〇	七三・四

京 都	三、二一五・〇〇	一一、六四一・〇〇	五四・二
米 津	一、三五八・〇〇	九、六五六・〇〇	三一・〇
直 津	一、五六八・〇〇	九、八六一・〇〇	二四・四
湊 仙	一、五四四・〇〇	九、三七九・〇〇	三三・八
福 山	一、三〇二・〇〇	二、三九〇・〇〇	四〇・六
姫 路	三、五二七・〇〇	七、四〇四・〇〇	三三・一
甲 府	一、三六七・〇〇	七、〇八九・〇〇	二八・七
水 戸	七、七一〇・〇〇	七、五〇二・〇〇	
新 津	四、七〇七・〇〇	八、七九六・〇〇	
名 寄	四、七六〇・〇〇	七、四〇六・〇〇	
福 島	三、四四〇・〇〇	六、四四六・〇〇	
廣 島	三、〇七九・〇〇	八、三一〇・〇〇	
米 子	一、五七八・〇〇	六、五二二・〇〇	
敦 賀	九、〇三〇・〇〇	六、六五五・〇〇	
岡 山	一、〇一九・〇〇	七、五二一・〇〇	
鹿 島	四、〇八〇・〇〇	六、九九三・〇〇	
池 田	一、二九九・〇〇	三、六七二・〇〇	
秋 兒	六、七五〇・〇〇	五、七七三・〇〇	
	三、九〇三・〇〇	六、〇六三・〇〇	

工場治療所		大正八年度ノ患者數	
日	計	入	出
大宮	一、四七七・〇〇	二、一三七六・〇〇	九三・八
土崎	一、三七一・〇〇	五、〇五四・〇〇	六三・二
盛岡	九八九・〇〇	四、一〇六・〇〇	三三・八
大田	三、五六一・〇〇	一、七四九・三〇〇	一〇九・一
濱田	三、八〇八・〇〇	一、二一一・六〇〇	七〇・一
四日市	一、四〇七・〇〇	六、六一三・〇〇	一四・八
長澤	三、五〇四・〇〇	八、一四八・〇〇	四〇・八
金沢	一、九五八・〇〇	一〇、七〇一・〇〇	四九・二
小倉	一、五一一・〇〇	一、二六二・〇〇	七一・三
旭川	一、七三五・〇〇	二、四二二・〇〇	八〇・九
苗穂	二、八五九・〇〇	七、五八九・〇〇	六三・九
計	一、四〇七・〇〇	一三、八六八・〇〇	八八・八
	一〇、九五八・〇〇	八、七八二・〇〇	四四・五
		四七、四八〇・四〇〇	一、七七二・〇

備考 熊本、青森、兩國、直方、名古屋、京都ハ大正八年四月追分、野付半ハ同年五月米原ハ同年六月直江津、漆町ハ同年七月、福知山ハ同年十一月仙臺ハ同年十二月姫路ハ大正九年二月水戸ハ同年四月新津、廣島ハ同年五月甲府、名寄、米子ハ同年六月ヨリ診療ヲ開始シタルモノニシテ岡山、鹿兒島、池田、秋田ハ目下開設準備中ナリ

治療所ノ成績良好ナルニ鑑ミ七年度ヨリ三年計劃ヲ以テ三十五箇所ヲ増設スルコトニ決定シ九年度ニ於テ今後創設スヘキ分ハ宇都宮、横濱、静岡、高松、徳島、長崎、大分、瀧川、室蘭ノ九箇所トス

(二) 療養所

公傷ニ因ル貽後症者ニ對シ醫學的療養ヲ爲サシムル目的ヲ以テ各鐵道局ニ一箇所宛ノ温泉地ヲ選ビ三年計劃ヲ以テ療養所ヲ設置スルコトニ決定シタルカ有馬鐵道療養所ハ大正八年九月一日ヨリ開始シ職員及家族ノ普通患者ヲモ實費ヲ以テ收容シ居レリ登別鐵道療養所ハ大正九年五月十二日設置セラレ目下診療開始準備中、飯坂ハ既ニ用地ノ買収ヲ了シ目下建築ノ設計中ナリ

大正九年度ノ收支豫算

療養所名	收	入	支	出
有馬	一、〇二四・〇〇	一、三三〇・〇〇		
登別	一、七五九・〇〇	六、三三三・〇〇		
計	二、七八三・〇〇	一、九四二・六〇〇		

大正八年度ノ患者數 (自大正八年九月至同九年三月)

入所患者

外來患者

所名	第一種患者	第二種患者	第三種患者	計	第一種一日	第二種一日	第三種一日	計
有馬療養所	一六三	—	二〇七	三七〇	〇・八	—	九・七	一〇・五

所名	第一種患者	第二種患者	第三種患者	計	第一種一日	第二種一日	第三種一日	計
有馬療養所	—	—	四九	四九	—	—	〇・三	〇・三

以上概観スルニ大正八年度ニ於テ鐵道病院四治療所三十五及療養所一箇所ニシテ患者延數ハ入院ニ在リテハ十萬二千三百十五人外來ニ在リテハ九十四萬九千四百九十人計百五萬一千八百五人トス

(ホ) 巡回診療

診療機關ハ年ト共ニ増加發展スト雖モ在動地等ノ關係上之カ惠澤ニ漏ルル者尠カラサルヲ遺憾トシ本年一月以降各鐵道病院及鐵道局所在地タル名古屋・仙臺ノ兩治療所ヲシテ巡回診療ヲ爲スノ途ヲ開キタリ鐵道病院及治療所ハ從事員ノ比較的密集セル都邑地ニ於テ利用セラレ出張診療ハ主トシテ其中間ニ散在セル從事員及家族ニ便益ヲ與フルモノナルカ故ニ兩者相扶ケテ將來益々診療機關ノ用宜ニ適シヘキヲ信スサレハ差向之ニ要スル專任職員ハ各局ヲ通シ醫員九名助手九名トセリ

(ハ) 「トラホーム」豫防

鐵道從事員ノ「トラホーム」豫防ニ關シテハ從來種々ノ施設ヲナシ來リタル處大正八年九月一日ヨリ「トラホーム」豫防法實施セラレタル結果同法ノ趣旨ヲ體シ兼テ集團衛生ノ保持並作業能率増進ヲ期スルタメ本年三月職員ニ對スル「トラホーム」官費治療ノ制度ヲ創設スルト共ニ家族ニ對シテモ亦治療費輕減ノ方法ヲ講シタリ

(ト) 鐵道囑託醫

鐵道囑託醫ハ地方公私立病院又ハ開業醫ニ囑託シタルモノニシテ全線ニ亘リ一定ノ擔當區間ヲ受持タシメ從事員及其家族ノ診療ハ勿論一般鐵道衛生ニモ參與セシム而シテ從事員及其家族ノ負擔ニ屬スル診療料金ニ對シテハ昨年六月以降現在ノ契約料金ヨリ更ニ二割以内ノ割引(普通料金ヨリ約四割引)ヲナサシメ毎年此差額ニ相當スル金額ヲ手當トシテ夫々各囑託醫ニ支給スルコトシタルカ之ト一般鐵道衛生ニ參與セシムル報酬トヲ合スレハ手當年額約七萬七千五百圓ヲ要スル見込ナリ右手當金ノ外各囑託醫及其醫員ノ一部ニ對シ大體擔當區間ニ等シキ定期乘車證ト年數同擔當區間外ニ至ルヘキ一往復乘車證トヲ交付ス

建設事務所々屬ノ鐵道囑託醫中ニハ月手當ヲ給スルモノアリ

大正九年四月末日現在ニ於ケル鐵道囑託醫ノ分布左ノ如シ

東 鐵

八六名

名 神 門 仙 札 建
鐵 鐵 鐵 鐵 鐵 鐵
六八名 七九名 一一六名 六七名 七九名 四九名
合 計 五四四名

日本鐵道醫協會ハ大正三年七月ノ創設ニ係リ災害醫學及鐵道衛生ノ發達ヲ目的トスルモノニシテ全ク私設團ナリトス而シテ現會頭ハ當省ノ醫務顧問タル醫學博士佐藤三吉ニシテ毎年一回總會ヲ開キ毎月一回機關雜誌ヲ發行ス

六 教 育

(イ) 中央教習所

中央教習所ハ東京ニ在リ豫科本科及英語科ヲ置キ更ニ豫科ヲ第一部及第二部ニ分チ本科ヲ業務科機械科及電氣科ノ三科ニ分ツ豫科ハ現ニ鐵道部内ニ奉職セサル者、本科ハ豫科修業生ヲ除クノ外一箇年以上鐵道現業ニ從事シ成績優良ナル者又英語科ハ本科業務科卒業生ノ志望者中ヨリ選拔入所セシ

ムルモノニシテ豫科及本科ノ入所試験ハ中學校卒業程度ヲ標準トシ教習期間ハ各科共一箇年トス生徒ハ教習期間中本給ヲ受クルノ外毎月九圓ノ教習手當ヲ支給セラル

生徒ノ定員及現在人員並大正八年度末マテノ卒業人員左ノ如シ

科 別	人 員	定 員	現 在 人 員	卒 業 人 員
豫 科	七〇		二六	五八六
本 科 業 務 科	一〇〇		五九	二二九
本 科 機 械 科	四〇		二七	八〇
本 科 電 氣 科	四〇		一五	一五二
英 語 科	四〇		一五	一〇五七
計	二九〇		一四二	

現存教育機關ノ改善及増設ニ依リ實際ノ需用ニ適切ナラシムルト共ニ收容力ヲ増大シ職員ノ補充及養成ニ遺憾ナカラシムルノミナラス新ニ下級現業員ノ教育機關ヲ設ケ素質ノ向上ヲ計ル方針ヲ以テ大正九年度ニ於テ教育費約十萬六千圓ヲ要求シ以テ之等教育機關ノ改善、擴張並新規計劃ノ資ニ充テント欲ス

(ロ) 鐵道局教習所

鐵道局教習所ハ各鐵道局所在地ニ在リ豫科、本科及別科ヲ置キ更ニ本科ヲ業務科機械科ニ分チ（札鐵ニハ別ニ土木科ヲ置ク）別科ヲ車掌科、電信科、機關手科、機械助手科、檢車科等ニ分ツ入所資格ハ豫科ハ現ニ鐵道部内ニ奉職セサル者本科ハ豫科修業生ヲ除クノ外六箇月以上鐵道現業ニ從事シタル者別科ハ鐵道局ニ依リテ多少相違セルモ電信科ヲ除ク外現業ニ從事シタル者トシ入所試験ハ豫科ハ高等小學校卒業本科ハ中學校二年修業程度ニ據ル教習期間ハ豫科及本科六箇月（神鐵、仙鐵、札鐵ハ豫科一箇年、本科一箇年但シ札鐵本科乙部ハ六箇月）別科ハ鐵道局ニ依リ相違セルモ三箇月乃至八箇月トス

教習中ハ本給ノ外教習手當ヲ支給セシ生徒ノ定員及大正八年度末マテノ卒業人員左ノ如シ

鐵道局	人	員	定	員	本	卒	業	人	別	科	員
東	鐵	六七〇									六、〇〇七
名	鐵	五二〇									一、三三〇
神	鐵	七六五									三、二八六
門	鐵	三四〇									二、六七五
仙	鐵	六三〇									一、三二一
札	鐵	七〇〇									二、〇五二
計	鐵	三六二五									一四、三八一

(ハ) 職工教育

職工見習ノ養成期間ハ一箇年以上三箇年以内ニシテ職員指導ノ下ニ工場作業ヲ實習セシメ且ツ必要ナル學術ヲ教授スルモノトス職工手傳ニ對シテモ亦特定指導者ノ下ニ各種作業ヲ練習セシム斯ノ如キ直接教育ノ外講演講習會ヲ催シ職工ノ知識啓發ニ勉ム

七 休 養

(イ) 休養時間

現業員ノ勤務時間ハ列車運轉並作業狀態ニ依リテ一定セシ驛員ハ二十四時間徹夜交替勤務ヲ原則トシ日勤ノモノアリ徹夜日勤交互ニ勤務スルモノモアリ列車及機關車乗務員ハ一定ノ乗務割ニ基キテ勤務シ保線従事員（各種番人ヲ除ク）ハ季節ニ依リ九時間乃至十一時間ニシテ職工ハ十時間日勤勤務ヲ原則トス現業員ノ公休日ハ勤務時間ノ長短及事務ノ性質繁閑等ニ依リテ異ナリ一定セシ即チ日勤者ニ對シテハ一箇月二日乃至四日ヲ與フルヲ通例トセルモ徹夜勤務又ハ乗務ヲ爲ス者ニ對シテハ非番日ノ外特ニ一定ノ公休日ヲ與ヘスサレハ非番日ハ現業員ニ取リ唯一ノ休養時間ナリト云フヘシ從來ノ徹夜勤務者ニ對シ一晝夜交替制ヲ試験的ニ採用セル結果良好ニシテ更ニ範圍ノ擴張ヲ劃ラント欲ス

工場職工ハ一般ニ午前七時ニ出勤午後五時退出即チ十時間勤務ヲ本則トセルカ食事ノ爲メ三十分間ノ休憩時間ヲ與ヘ又繁劇ナル勞働及危險作業等ニ對シテハ夫々例外ヲ設ク

(ロ) 慰勞休暇

前項記述ノ通り非番日ヲ以テ休養ノ時間トナス制度ノ外大正六年六月ヨリ新ニ休暇規程ヲ設ケ毎半期ニ雇員ハ四日儲人ハ三日ノ慰勞休暇ヲ與ヘ以テ毎期ノ皆勤者ヲ獎勵優遇スルノ途ヲ開キタリ二期以上ノ皆勤者ニ對シテハ別ニ休暇數ヲ加フ

(ハ) 休憩所

驛員及機關庫ノ従事員ニシテ徹夜勤務又ハ之ニ準スヘキ勤務ヲ爲シタル場合ハ七年十一月ヨリ相當取締ノ下ニ若干時ノ休憩ヲ與ヘ其間假睡ヲモ認メ心神勞逸ノ調節ヲ行ハシムルコトトセリ之カ爲メ從前ノ湯吞所其他休憩所ハ安息ニ不適當ナルヲ認メ豫算五十四萬圓ヲ以テ休憩者一人當リ約半坪ノ休憩所ヲ建築スルニ決シ工事ヲ進メツツアリ

(ニ) 共同浴場

従業員ノ衛生ト慰安トヲ兼ネタル共同浴場ハ各工場及機關庫ニハ全ク普及セシモ驛其他ニ在リテハ從來不備甚タシカリシカ故ニ大正六年來十五萬圓ノ豫算ヲ以テ百八十有餘箇所ノ浴場ヲ設ケ七年十一月ヨリ職員家族ニモ差支ナキ限リ入浴ヲ許スコトトセリ然レトモ現在ノ浴場ハ全線ヲ通シテ工場

(ホ) 食堂

ヲ除キ五百十四箇所ニ過キササルヲ以テ更ニ進シテ一般ニ普及セシムヘキ目的ヲ以テ調査計畫中ナリ
各工場ニハ殆ント普及セルモ驛、機關庫等ニハ一般ニ設備ヲ有セス其職場又ハ湯吞所其他控所ニ於テ食事ヲ爲サシメ毎年七、八、九ノ三箇月ニ限リ煎麥湯ヲ給シ居レルカ(虎列刺其他ノ傳染病流行ノ場合ニ於テハ右期間ヲ前後各一箇月間擴張スルコトヲ)得昨年七月以來共濟組合剩餘金ヲ以テ簡易食堂ノ普及ノ計リ従業員ノ爲メニ安價ニテ保健食料ヲ供給シ以テ其生活狀態ノ緩和ニ努ム既ニ設置セラレタルモノ左ノ如シ

本省一、東鐵四、名鐵四、神鐵三、門鐵四、仙鐵二、札鐵二、計二〇

八 修養及慰安

(イ) 精神講話

現業従事員ニ對シテハ物心兩面ヨリ救済指導スルノ方針ヲ採リ各宗各派ノ諸家ニ精神講話ヲ委託シ非番者ヲ召集シテ聴講セシム、講話ハ大點ニ別テ特別講話ハ高德知名ノ士ニ委託シ稍大規模ニ開催スルモノト從來ヨリノ慣行ニヨリ其土地ニ限リ臨時ニ開催スルモノアリ普通講話ハ從來本省ヨリ一年ヲ四期ニ分チ各期ニ各事務所管内ヲ一回宛交互ニ巡回講演セシメ來リタルカ昨年ハ之ヲ三期

ニ分チタリ

巡回講話ノ回数左ノ如シ

鐵道々友會(佛教)

四四回

鐵道青年會(基督教)

二一回

鐵道ミツシヨシ(同)

二〇回

鐵道保養院(同)

一四回

精神講話ノ要旨ハ日常ノ實踐道德ノ鼓吹ヲ主トシ積極的傳道ノ態度ニ出ツルコトヲ避ケシム尙ホ鐵道々友會及鐵道青年會ノ開催シタル講話中特ニ選擇編纂セル講話集及其他ノ精神修養ニ必要ナル圖書雜誌ヲ買上ケ之ヲ從事員ニ頒チテ講話ノ補助タラシム

(ロ) 互助團及俱樂部

現業從事員ヲシテ慶弔ヲ俱ニシ精神のニ協力一致ノ美風ヲ養成セシメン目的ヲ以テ互助團ナル自治團體ヲ組織スルコトヲ獎勵セリ而シテ其事業ハ救濟慰安及修養ヲ主眼トシ本團間接ノ效果トシテハ諸會合ノ統一及各種負擔ノ輕減ヲ期スルコトヲ得、又各主要地ニ職員集會所ヲ設ケ其建物ノ一部ヲ利用シ俱樂部ヲ置キ俱樂部ニハ講演、圖書室、玉突、園井、謠曲、弓術、端艇、浴場等ノ修養慰安的設備ヲ爲シ互助團ノ一種トシテ相當效果ヲ舉ケ居レリ而シテ互助團ニ對シテハ從來別ニ物質的ノ

補助ヲナシタルコトナシ

互助團ノ現在數 (大正九年六月調)

本省	二
東鐵	三三
名鐵	四四
神鐵	八四
門鐵	五五
仙鐵	一二
札鐵	一二
建設事務所	一
計	二四三

(ハ) 慰安會

現業從事員ニ對シ一人一圓二十錢以内ノ補助ノ下ニ其家族ヲモ招集シ慰安會ヲ開催ス其方法ハ主トシテ探勝觀劇等努メテ集團的ニ享樂セシムルモノトシ近年殆ント恒例的ニ開催セラル

(ニ) 殉職者ノ祭典

従前職員ノ共同主催ニ係ル職務上ノ死亡者ノ祭典ニ對シ一鐵道局ニ付年二百圓ヲ補助シ居リシカ札幌鐵道局ノ如キハ既ニ六回執行セリ然ルニ一昨年十二月四日省ノ主催ヲ以テ各鐵道局一様ニ遺族ヲ招待シ刻ヲ期シテ全國從事員一齊ニ執務ノ位置ニ於テ敬意ヲ表セシメ祭典ヲ謹修シタルヲ始メトシ昨年モ亦十一月四日（札幌鐵道局ニ在リテハ氣候ノ關係上十月五日）第二回ノ祭典ヲ舉ケタルカ其經費ハ約一萬二千圓ヲ要シタリ

（ホ）無賃乗車證

職員ハ職務乗車證、通勤乗車證、表彰者ノ待遇定期乗車證ノ交付ヲ受クルノ外家族ハ（一）一年一回三人ヲ限リ三十日以内ノ乗車證（二）公務死亡者ノ遺族ハ弔魂祭參列用ノ乗車證（三）子弟ノ通學乗車證（四）直營病院、治療所及鐵道囑託醫受診用乗車證（五）僻陋地在勤者家事辨用乗車證ノ交付ヲ受ク尙ホ職員カ公傷ノ爲メ退職シタル場合ニ於テハ亦一年ニ數回乗車證ヲ受クルコトヲ得

（ヘ）鐵道歌ノ設定

從事員ノ品性ヲ高潔ニシ德性ヲ涵養シ職務ニ對スル自覺ト興趣トヲ誘致シ協力一致ノ氣風ヲ養成スルノ目的ヲ以テ本年一般ヨリ鐵道歌ヲ懸賞募集シ審査シタル上當選シタル一等及二等ノ首席二歌ニ修正ヲ加ヘ之ヲ我國有鐵道ノ歌トナシ東京音樂學校ニ委嘱シテ曲譜ヲ附シ諸種ノ集會及日常從事員ニ之ヲ歌誦セシムルコトトセリ

九 現業委員會制度

現業委員會ハ鐵道手雇員及傭人ノ現業員ヨリ選出シタル委員ヲ以テ組織セシメ之ニ指名サレタル議長參加シ現業從事員ノ代表者ヲシテ共通利害ニ關スル事項ニツキ意見ノ開陳ヲナシ又ハ當局ノ諮問ニ答申セシムルモノトス委員ハ各區域内ノ業務又ハ勤務箇所ヨリ公選セラレ其任期ハ二年トス而シテ委員會ニハ所屬長ヨリ指名サレタル職員出席シ種々ノ説明應答ノ任ニ當ル

委員會ハ運輸、運轉、保線、工場、船舶其他業務ノ種別ニ依リ組織サルルモノニシテ其數百十九ナリ而シテ委員ハ當該區域内ノ現業員數ヲ標準トシ算出サレタル定數ヨリ成ルモノニシテ一委員會ノ定數ハ五人以上二十五人以内トス全委員ノ數ハ千二百六十四人ニ達ス是等委員ノ第一回選舉ハ來ル八月執行セラル

現業委員會ノ聯合會タル鐵道局委員會アリ即チ各委員會ヨリ委員十人ニ付一人ノ割ヲ以テ互選シタル委員ヲ以テ組織スルモノニシテ各鐵道局ノ庶務課長議長トナリ其他ハ現業委員會ニ準シ開カルルモノトス斯クシテ現業委員會及鐵道局聯合委員會ニ依リ現業從事員ノ代表者ヲシテ直接上長ニ意見ノ開陳ヲ爲サシムルノ途ヲ開キ之ニ當局モ參加シテ充分ニ意思ノ疏通ヲナサンコトヲ期スルモノナリ

十 生活必需品ノ供給

(イ) 購買部

大正七年夏期米價ノ異常ナル暴騰ヲ來スヤ一般従事員ノ生計上ノ不安ヲ憂慮シ糶糴ノ窮ヲ救フ臨機ノ處置トシテ共済組合ノ剩餘金ヲ以テ外國米並各府縣ノ廉賣米ノ購入配給ヲ爲シタルニ端ヲ發シ同年九月一日ヨリ共済組合ニ購買部ヲ設ケ本省ニ中央部各鐵道局ニ地方部各事務所、工場其他必要ノ地ニ支部ヲ置キ資金トシテ組合ノ剩餘金百二十萬圓ヲ無利息融通シ從來ノ職員消費組合ノ制度ト相俟ツテ米、雜穀薪炭等ノ生活必需品ノ購買配給ヲ實行スルコトトシ極力資金ノ運用ト物品購入方法ノ改善トニ盡シタルニ頗ル急劇ナル發展ヲ見創設日尙ホ淺キニ拘ラス既ニ資金ノ不足ヲ告グルニ至リ客年八月以降前記資金ノ外更ニ組合ノ剩餘金十七萬二千圓ノ無利息融通ト責任準備金中ヨリ百五十萬圓ノ五分利付融通トヲ受クルノ途ヲ開キ總額二百八十七萬二千圓ヲ以テ各局所配付豫定額ヲ定メ爾來一層事業ノ促進ニ努力セリ、購買部取扱品ノ消費ヲ消費組合同様八割減トセルハ勿論トス大正八年度ニ於ケル配給物品總價額ハ一千二百六十九萬餘圓ニシテ六月現在支部數六十六ニ對スル資金融通總額ハ二百七十三萬五千九圓ナリ内譯左ノ如シ

購買部資金融通額表 (大正九年六月現在)

局 所	支 部 數	無 利 息 資 金	利 息 附 資 金	計
東京鐵道局	五	二二四、二〇〇	二九二、〇〇五	五一六、二〇五
名古屋鐵道局	八	一八六、〇〇〇	一三七、四〇〇	二二三、四〇〇
神戸鐵道局	一五	三二一、〇〇〇	三三一、四四〇	六三二、四四〇
門司鐵道局	九	二二〇、九〇〇	二二〇、〇〇〇	四四〇、九〇〇
仙臺鐵道局	七	一四二、三〇〇	一一〇、〇〇〇	二六二、三〇〇
札幌鐵道局	七	一九〇、〇〇〇	二二〇、〇〇〇	四一〇、〇〇〇
本省及建設事務所	一五	七一七、六四	五八〇、〇〇〇	一二九、七六四
合 計	六六	一、三六六、一六四	一、三六八、八四五	二、七三五、〇〇九

購買部配給物品價額表 (大正八年度)

東京鐵道局	二、五三四、五二四	仙臺鐵道局	一、一三九、七一
名古屋鐵道局	一、九四三、八三四	札幌鐵道局	二、四三八、三四二
神戸鐵道局	二、五二〇、五六七	本省及建設事務所	一、八四五、二二六
門司鐵道局	一、九五五、一七〇	合 計	一、二六九、〇九三

大正七年九月購買部設置以來九年三月ニ至ル名月ノ一人平均配給高左ノ如シ

購買物品一人平均配給高異月表

月次	一人平均配給高	月次	一人平均配給高
大正七年九月	〇・六五	大正八年七月	六・九八
同十月	一・九二	同八月	七・二二
同十一月	一九〇	同九月	七・六七
同十二月	三・六九	同十月	八・八四
大正八年一月	二・六七	同十一月	九・三七
同二月	三・二六	同十二月	一二・六二
同三月	三・二五	大正九年一月	八・八八
同四月	三・四七	同二月	九・〇九
同五月	四・九四	同三月	九・七〇
同六月	五・四四	同四月	

備考 人員ハ各月末ニ於ケル共済組合員數ニ依ル

最近作業用必需品ニ對スル從事員ノ負擔日ニ重キヲ加フルヲ憂ヒ緩和策ノ一端トシテ昨年末ヨリ購買部ニ於テ日本製靴株式會社ノ製靴ヲ直接購入シ安價ニ之ヲ配給シ尙ホ鐵道省被服工場ニ於テ製造セル跣足袋ヲモ實費配給スルコトナリ既ニ各局所配給濟數左ノ如シ

靴及跣足袋配給數 (大正九年六月十八日調)

局所	靴配給數	跣足袋配給數
東京鐵道局	一九〇〇	六〇〇

局所	靴配給數	跣足袋配給數
名古屋鐵道局	一八九五	六〇〇
神戸鐵道局	一九〇〇	六〇〇
門司鐵道局	二二六五	六〇〇
仙臺鐵道局	二二六五	六〇〇
札幌鐵道局	二二六五	六〇〇
本省及建設事務所	二一〇	三〇〇
合計	一三、〇〇〇	三、九〇〇

(ロ) 職員消費組合

職員ニ對スル消費組合ハ既ニ明治四十四年七月規程ヲ制定シ運賃八割減ノ援助ヲ與ヘ其普及ヲ獎勵スルト共ニ事業經營上ニ付キ指導助力ノ方針ヲ採リタル爲メ逐年相當ノ成績ヲ擧ケ來リシカ大正七年度ノ成績ヲ見ルニ左ノ如シ

職員消費組合配給額表 (大正七年度)

局所	組合員數	配給額
東管	一六	七二八・六八一
中管	一八	三〇一・七九九
西管	一八	五〇七・六七六
合計		三九

九	管	四六〇、一〇七
北	管	一三九、八九一
本院及建設事務所		一一三、九七四
計		三五、一二二八
		七三

然ルニ大正七年九月購買部設置以來右組合ノ解散シタルモノ多ク本年五月末ニ於テ其數四十五ニ減
少セリ

(ハ) 共同購入

従前ヨリ従業員ノ生活必需品ヲ共同購入スル場合ニハ貸切扱ニ限リ其運賃ヲ五割減トナスノ特典ヲ
附與シ來リシカ四五年前ヨリ是亦消費組合同様八割減ニ改メ生計上ノ便宜ヲ計ルコトトセリ、其實
蹟ニ就テハ具體的ニ數字ヲ以テ説明スルノ統計ナシ

(ニ) 貸付部

大正八年八月共済組合貸付部ノ制度ヲ設ケ從事員若クハ其家族カ疾病、死亡其他不慮ノ災害ニ罹リ
生計上ノ急迫ヲ受ケタル場合ニ之カ金融機關タラシメ元金一圓ニ付一箇月四厘ノ低利ヲ以テ一定額
ノ貸付ヲナシ一箇年以内ニ月賦辨済ヲ爲サシムルコトトシ同年九月一日ヨリ之ヲ實施シタリ而シテ
資金ハ組合ノ剩餘金又ハ準備金ノ一部ヲ以テ充ツルモノニシテ現在各鐵道局ニ配付セル額ハ五萬圓

ナルカ將來必要ニ應ジ六十五萬圓マテ増資シ得ル見込ナリ

大正九年四月末日現在貸付部融通調

局名	融 通 資 金	大正八年 資金融入利息 度末	合 計	貸付金額	貸付人員
本 省	三〇〇、〇〇〇	四一、七二	三〇四、一七二	二八、一七〇	一一
東 京 鐵 道 局	九〇〇、〇〇〇	一二五、八六	九一二、五八六	七三、二二九	二七三
名 古 屋 鐵 道 局	八〇〇、〇〇〇	一〇〇、八一	九〇〇、八一	一七、二二五	七八
神 戸 鐵 道 局	九〇〇、〇〇〇	二〇六、八七	九二六、八七	一〇〇、一五七	三六
門 司 鐵 道 局	九〇〇、〇〇〇	七〇、三〇	九七〇、三〇	一六、一七九	五六
仙 臺 鐵 道 局	五〇〇、〇〇〇	四二、三〇	五四二、三〇	二七、九四九	九一
札 幌 鐵 道 局	七〇〇、〇〇〇	七四、三五	七七四、三五	一一、一九八	三四
合 計	五〇〇、〇〇〇	六六二、二〇	五〇六、六二二	一五八、五〇八	五七九

十一 貯蓄ノ獎勵

一般従業員ニ恒産ヲ作ラシメ生活狀態ヲ安定ナラシメンカ爲ニ貯金ヲ獎勵シ當初ハ毎月給料二十五圓
以下ハ百分ノ一以上其他累進ノ割合ヲ以テ規約貯金ヲ爲サシメシヲ大正七年四月臨時手當ノ増額ヲ機
トシ一般ニ百分ノ五ニ改メシメタルモ同年八月ニ至リ米價暴騰ノ爲メ當分ニ之ヲ斟酌スルコトトシタル

カ昨年來又臨時手當ノ増額ト同時ニ給料月額五十圓未満ハ百分ノ一以上同五十圓以上ハ百分ノ三ノ標準ヲ以テ貯金ヲ爲サシムルコトセリ

大正八年十二月末日現在ノ貯金高左ノ如シ

四二

局 所	貯 金	人 員	一 人 平 均
東 鐵	一、四一九三・〇一一二	三四、八一六	四〇・七六四
名 鐵	一、二八二七・七六・五九八	二一、一四五	六〇・六六六
神 鐵	一、三六七四・〇七・〇〇一	二五、四〇五	五三・八二四
門 鐵	一、三一一・九五四・四六五	二二、七六〇	五七・六四三
仙 鐵	七、八六〇・〇六・三二七	一七、三〇四	四五・四二三
札 鐵	五三〇・一五五・二〇九	一七、五八五	三〇・一四八
本省及建設事務所	二四三・一九一・二二六	五、〇五〇	四八・一五七
計	六、九四〇・七二〇・九三八	一四四、〇六五	四八・一七八

十二 救濟事業ニ對スル補助

公傷退職者ニ對シ夫々扶助救濟ヲ爲スコトハ屢々説明シタルトコロナルカ退職後ノ救濟制度トシテハ或ル期間ノ公傷再發ニ對スル扶助ヲ爲シ尙ホ構内販賣人其他鐵道ノ直接間接ニ關係ヲ有スル事業ニ可

成使用スルノ便宜ヲ與ヘ其遺族又ハ孤兒ニ對シテハ採用上特別優先ヲ爲スノ方法ヲ講シ是ト共ニ從來鐵道青年會ヘハ年額三千圓鐵道保養院ヘハ年額二千圓ノ補助ヲ爲シ專ラ公傷退職者及遺族孤兒ニ對スル授産及收容保護ノ實行ニ當ラシムルノ方法ヲ執リ且ツ收容者ノ一定數ニ對シテ特別定期無賃乗車證ヲ交付シ居レリ鐵道々友會ニ於テモ最近這種ノ企劃ト共ニ既ニ従事員ノ子弟ニ對シ寄宿舎ヲ設ケ教育上ノ便益ヲ與ヘツツアルモ未タ補助金ヲ交付スルニ至ラス

四三

一、衛生事務

技師 六

一、鐵道病院長

技師 二

鐵道局ニ於ケル衛生事務ハ職員ノ身体検査、健康診斷ヲ初メトシ
救護、防疫、食物検査、清潔方法等處理事項多岐ニ亘ルノミナ
ラス病院及治療所ノ普及發達ニ伴ヒ之等治療機關ニ關スル事務亦
複雑シ相當待遇ヲ以テ技術優秀ナル人材ヲ求ムルノ必要アルノミ
ナラス前記治療機關ニ關スル職員ハ鐵道醫トシテ現在官吏ノ待
遇ヲ受ケツツアリ監督上ヨリ見ルモ技師ノ配置ヲ必要トス
名古屋仙臺ノ兩病院ハ本年度内ニ開設ノ豫定ニシテ之カ院長ハ既
設ノ東京、神戸、札幌、同様技師配置ノ必要アリ

運轉課長

技師 六

鐵道局運轉課列車掛長ハ晝夜間斷ナク列車運轉ニ關スル手配等ヲ掌リ機關車掛長及客貨車掛長ハ機關車及客貨車ノ検査等各主管事務ヲ掌ル外一方實際運轉上ノ成績ヨリ見タル各種車輛機械ノ調査研究ニ當ル必要アリ斯ノ如ク掛長ノ職ヲ有セシムル一方之等調査研究ヲ強ユルハ其負擔餘リニ重ニ失スルノ嫌アルニ尙且運轉關係ニ於テハ近時鐵道經營上重要ノ地歩ヲ占ムルニ至レル燃料問題ニ關スル調査研究事項アリ之レ今回技師一ヲ増加シ專任運轉課長ヲ置キ之カ調査研究竝各掛事務ノ統一監督ニ任セシムルコトトナレル所以ナリ

列車哩其他

四十二年度	四十三年度	四十四年度	九年度	二年度	三年度	四年度	五年度	六年度	七年度	八年度	元=對x100 八年度割合
列車哩	機関車哩	客車哩	電車	自動車	貨車						
424435.028	502344.518	253575.995	1442347	320057	51510247						
447707.718	529491.05	266909.854	3256659	33011	561936521						
487307.84	579721.93	287914.200	3818820	147667	607949146						
539939.32	640444.653	320287.931	46886914	288790	662992.352						
574022.803	687441.36	339847.087	4951090	425688	736984.397						
573788.67	692629.01	349072.891	5372122	656489	769244526						
593330.482	714304.17	363738.354	14158915	7283582	776932616						
645443.374	77926.999	377781.637	13384436	717540	917937539						
69795.113	852042.17	420354.967	138308250	675771	9882091133						
723333.532	88878.121	474418.1763	156200.571	690756	10286441534						
772222.058	94929.567	535796.6462	208445.995	660171	1162865915						
1.43	1.46	1.67	44.55	22.29	1.67						

旅客及貨物數量其他

	旅 客			貨 物		
	人 員	人 員	水 入	噸 數	噸 里	水 入
四十二年度	120,306,960	2,012,329,100	39,370,532	23,655,600	1,911,197,440	31,523,304
四十三年度	130,609,706	3,038,736,966	42,144,996	25,460,186	2,126,834,432	34,978,695
四十四年度	151,077,779	3,382,586,411	46,866,214	29,337,054	2,334,787,145	38,970,584
九 年 度	160,117,377	3,626,316,499	49,993,595	32,337,345	2,691,464,114	44,754,301
二 年 度	167,773,143	3,690,964,619	51,323,660	36,346,326	2,985,532,300	50,322,716
三 年 度	166,090,401	3,620,943,336	49,942,049	35,700,000	2,984,000,000	50,000,000
四 年 度	170,090,045	3,855,336,966	50,744,409	35,100,000	3,000,000,000	50,000,000
五 年 度	197,043,320	4,255,324,117	54,953,029	42,100,000	3,444,444,444	54,444,444
六 年 度	204,523,460	4,515,546,330	57,415,956	44,100,000	3,555,555,555	57,555,555
七 年 度	208,615,040	4,569,442,452	60,413,507	45,331,327	3,600,000,000	58,000,000
八 年 度	357,061,957	7,942,632,076	111,546,479	79,339,555	6,666,666,666	131,509,103
九 年 二 對 八 年 一 割 合	2.25	2.19	2.25	1.04	2.34	2.08

吉永岡山間複線
全區間三上哩中
七哩ハ工事中心
測量設計中

何レモ本年度着手スルモノニシテ工費及竣工年度定次ノ如シ

工費	竣工年度	哩程
岡山糸崎間複線	一〇	一四
奈良柏原間複線	五	一一
八本松海田市間複線	一二	一一
岩見澤瀧川間複線	八	一四

畿道省

船舶課ノ新設ニ關スル説明

船舶數、噸數及運輸數量

隻數	門司		札
	總噸數	旅客員數	
二四	一、三三一六	三、八一〇〇四	一、九六一
一八	一、三三七一	七、一六七八三	四、二五三四〇

前記ノ如ク門司ハ札ニ比シ運輸數量其ノ便ニ於テ遙ニ多キ
ノミナラス關釜航路ハ歐亞交通ノ衝ニ當リ國際航線モアリ青
函航路ニ比シ重要ナルヲ以テ船舶課ヲ新設スルト甚ニ技師一
ヲ増置スルコトトナレルモノニシテ船舶課ハ運輸及修繕

務其船体部機部各専門ノ素養アルモノヲ必要トスル係上
内一八ハ船体部技師一人ハ機部技師ヲ配置スルモノトス

松永納

一 驛 長

参事補 五シ

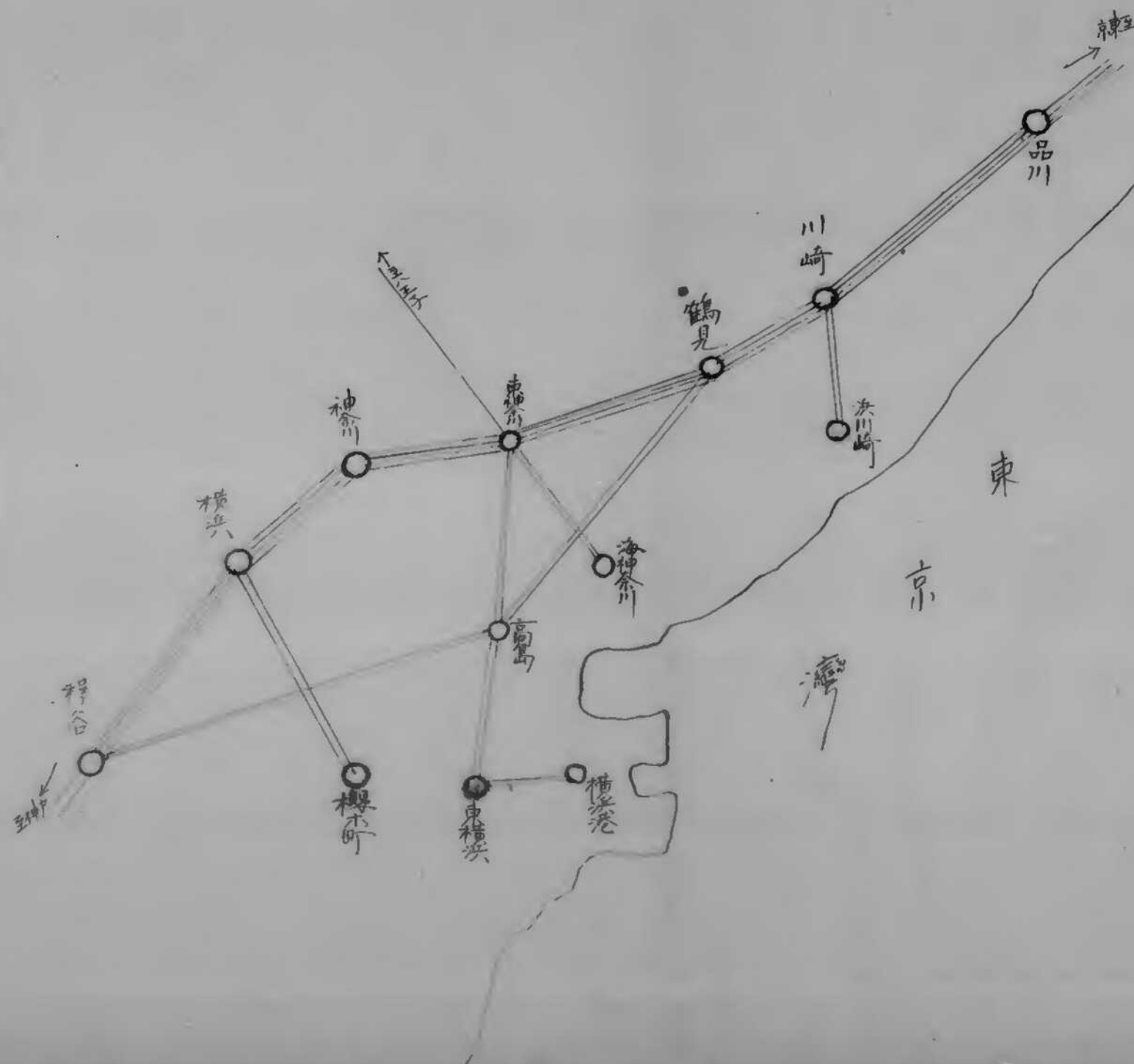
高島驛ハ東横濱、横濱港ノ兩驛ヲ管理シ横濱市ノ貨物停車場タル
ト共ニ又重要ナル操車停車場ニシテ設着噸數百二十萬噸ヲ算シ湊
町ハ大阪市南方ノ關門ニシテ乗降人員百七十萬人發着貨物八十二
萬噸ニ達シ函館ハ北海道ノ關門ニシテ青森ト相對シ重要ナル連
事務ヲ掌リ又高島ハ乗降人員百七十九萬人發着貨物十八萬噸ヲ算
シ且東廣島ノ操車驛ヲ管理シ札幌ハ道廳ノ所在地ニシテ乗降客二
百萬人發着貨物四十萬噸ヲ超エ何レモ重要ナル停車場ニシテ参事
補ノ配置ヲ必要トス

青〇 現在配置
赤〇 新規追加

一等驛 = 月別又ハ調査

所管	驛名	驛員数	附屬延長	乗降人員	發着噸数	収入	記事
東京	〇 品川	682	7.08	7,983,948	10,704	5,777,602	
	〇 品川	429	9.10		12,53,659	2,350,538	
	〇 品川	688	3,502	6,055,190	22,007	1,110,881	
	〇 品川	212	1.34	5,247,155		1,167,570	
	〇 品川	453	2,840		1,297,100	2,053,805	本横濱横濱港子15M
	〇 品川	803	5,223	1,058,353	52,437	4,964,172	
名古屋	〇 品川	382	2,441		1,066,286	2,124,590	
	〇 品川	301	14,700	1,060,628	2,175,773	1,264,335	
	〇 品川	560	21,666		64,353	78,573	
	〇 品川						
神戸	〇 品川	686	20,609	4,491,639	819,241	3,546,474	
	〇 品川	285	6,52	1,737,583	252,455	858,066	
	〇 品川	385	9,03	5,728,492		3,218,631	
	〇 品川	448	28,55		5,772,349	723,051	
門司	〇 品川	1,284	17,32	12,300,430	1,401,599	10,908,825	大阪高松所子15M
	〇 品川	462	13,22	4,029,888	697,769	3,105,579	
	〇 品川	327	9,69	2,109,707	366,129	1,162,986	
	〇 品川	295	8,01	1,730,439	825,509	1,877,002	
仙臺	〇 品川	336	6,31	1,795,928	182,222	1,134,496	
	〇 品川	292	8,64	1,593,404	346,523	2,562,378	
	〇 品川	482	17,66	1,701,118	1,661,795	1,840,211	門司所子15M
	〇 品川	168	3,18	2,806,398	249,682	1,323,922	
札幌	〇 品川	233	17,04	605,449	5,136,066	2,800,613	
	〇 品川	367	6,47	1,932,501	204,898	770,000	
	〇 品川	307	13,02	741,887	431,949	1,852,603	
	〇 品川						
札幌	〇 品川	280	9,35	1,028,742	407,885	2,003,468	
	〇 品川	274	6,39	2,114,487	435,586	1,447,098	
	〇 品川	139	1,618	1,90,094	710,227	564,492	札幌所子15M
	〇 品川						
札幌	〇 品川	384	7,05	624,0274	332,873	622,639	
	〇 品川	409	28,62	922,650	162,541	291,179	
	〇 品川	279	8,71	839,808	116,642	446,114	
	〇 品川						
札幌	〇 品川	226	6,52	2,012,394	223,377	777,838	
	〇 品川	238	8,34	1,596,593	308,906	746,780	
	〇 品川	345	10,35	2,65,606	2,926	1,02,010	
	〇 品川	223	13,21	1,683,372	116,100	702,384	
札幌	〇 品川	302	8,20	1,950,700	170,483	578,301	
	〇 品川	157	6,46	2,414,233	38,462	374,725	
	〇 品川						
	〇 品川						
札幌	〇 品川	273	11,73	1,860,386	395,673	468,648	
	〇 品川	88	5,08	967,603	387,313	1,347,723	
	〇 品川						
	〇 品川						
札幌	〇 品川	239	13,04	612,029	71,163	245,204	
	〇 品川	227	20,57	546,847	2,138,263	486,915	
	〇 品川						
	〇 品川						

横濱附近



車掌監督

參事補 三

車掌監督ハ列車管掌ノ重要任務ニ服スル車掌其他列車乗務員ノ指揮監督及教養訓練ニ任スルモノニシテ東京、上野、名古屋ノ如キハ主要列車ヲ管掌スルノミナラス従事員總數五百人ヲ超エ人員中七割ハ雇員即チ車掌以上ニシテ其ノ職責現在高等官配置ヲ承認セラレ居ル主要驛長、其他長主任等輕重ナク參事補ノ配置ヲ必要トス

一、機關庫主任

技師

太三

二、列車電燈所主任

技師

一

鐵道ハ最新學理ノ應用ニ成リ時勢ノ進歩ト共ニ其業務漸次多岐複雑
ニシテ直接現業ニ従事スルモノト雖モ最早單ニ經驗ノミヲ以テ完全
ニ職務ヲ遂行スルハ難ク學歷經驗兼備フル技術官ヲ相當個所ニ配置
シ一般従事員ニ對シ技術並法規令達ノ徹底ヲ期スルト共ニ一方經濟
的列車運轉管理ノ方法ヲ講スルハ極メテ喫緊ノ事ニ屬ス之レ主要庫
所主任ニ技師配置ヲ要望スル所以ナリ機關車輛數其他比較別表ノ如
シ

○現在配置
○新規追加

機関庫周

品名	機庫車種	客車数			機関車重量		傳熱面積		最大馬力	機関庫容積
		ホキ一	四輪	計	總重量	一輛平均	總面積	一輛平均		
品高	川島				316513	6594	51650	1076	22264	241
○沿田	津島				185936	5557	22182	947	167	320
○大田	瑞島				462251	8041	81904	1409	51582	610
○高崎	宮崎				301982	6545	62031	1353	35039	431
○横濱	川崎				260555	6355	44751	1091	21147	598
○宇都宮	川崎				191015	5618	34495	1015	17475	335
○水戸	川崎				212796	4949	22098	533	29566	472
○平	川崎				226334	6943	58806	1251	29566	472
○水戸	川崎				273012	7514	52523	1459	30591	543
○水戸	川崎				357456	1447	68893	1435	43495	543
○水戸	川崎				260827	7671	49101	1444	30061	449
○水戸	川崎				350054	1119	63050	1401	39956	477
○水戸	川崎				554553	6524	96609	1157	19401	779
○水戸	川崎				220255	5953	44390	1200	23557	568
○水戸	川崎				186714	5651	58240	1159	19741	269
○水戸	川崎				254650	6606	48409	1274	27320	306
○水戸	川崎				316366	6456	63768	1301	36078	527
○水戸	川崎				177224	5371	30766	932	14514	344
○水戸	川崎				317470	7937	54667	1411	37097	549
○水戸	川崎				462389	7458	55182	1374	55084	501
○水戸	川崎				150870	4437	27350	815	14563	302
○水戸	川崎				287786	6256	52259	1136	19707	420
○水戸	川崎				290200	7255	55616	1315	22222	364
○水戸	川崎				2222916	6966	37919	1105	22306	371
○水戸	川崎				170363	5011	51301	921	16185	277
○水戸	川崎				230054	6054	42981	1151	24388	321
○水戸	川崎				190915	5683	34221	974	19025	209
○水戸	川崎				253099	7367	69544	1557	49070	465
○水戸	川崎				226304	7072	41156	1308	27556	287
○水戸	川崎				191550	5035	45276	875	22498	440
○水戸	川崎				266944	5036	55807	962	22806	305
○水戸	川崎				266944	7489	67960	1317	54192	481
○水戸	川崎				282760	7222	69085	1319	54505	514
○水戸	川崎				203644	6370	55418	1201	18826	370
○水戸	川崎				191301	6646	56517	1217	22431	301
○水戸	川崎				190507	5572	55557	1149	17971	257
○水戸	川崎				175389	5658	55153	940	13767	212
○水戸	川崎				252080	6374	40662	1175	22963	437

機関庫調

車重量	傳熱面積		費馬力	機関庫費	機関車費	決算客額	
	一車平均	總面積				汽車費	車廂修繕費
量	一車平均	總面積	一車平均	費馬力	機関車費	汽車費	車廂修繕費
13	6594	51658	1076	24	171.00	17095	70000
36	5557	22182	947	30	595.90	14516	61041
51	8041	11904	1489	610	157.61	1133	160106
86	6545	62231	1353	431	66.41	757	693168
55	6355	44751	1091	98	55.81	5871	654300
15	5618	34495	1015	335	25.80	555	654300
96	4949	22898	733	44	14.41	555	654300
34	6943	52806	1551	47	17.11	555	654300
12	7514	52523	1551	47	17.11	555	654300
56	7447	68893	1551	47	17.11	555	654300
27	7471	49101	1551	47	17.11	555	654300
54	1179	63050	1551	47	17.11	555	654300
58	6524	66609	1551	47	17.11	555	654300
55	5953	44390	1551	47	17.11	555	654300
14	5618	34495	1551	47	17.11	555	654300
50	6666	49495	1551	47	17.11	555	654300
66	6456	63768	1551	47	17.11	555	654300
41	5371	37666	1551	47	17.11	555	654300
70	7797	76666	1551	47	17.11	555	654300
99	7458	22182	1551	47	17.11	555	654300
70	4437	27350	1551	47	17.11	555	654300
66	6456	49495	1551	47	17.11	555	654300
200	7458	22182	1551	47	17.11	555	654300
63	5011	31301	1551	47	17.11	555	654300
54	6054	49495	1551	47	17.11	555	654300
15	5618	34495	1551	47	17.11	555	654300
99	7797	76666	1551	47	17.11	555	654300
304	7072	22182	1551	47	17.11	555	654300
24	5355	37666	1551	47	17.11	555	654300
44	7458	22182	1551	47	17.11	555	654300
66	6456	49495	1551	47	17.11	555	654300
150	6302	44495	1551	47	17.11	555	654300
201	6446	49495	1551	47	17.11	555	654300
207	5575	37666	1551	47	17.11	555	654300
209	5618	34495	1551	47	17.11	555	654300
280	6374	49495	1551	47	17.11	555	654300

一、棧橋長

技師 一

棧橋長ハ棧橋ノ保安整理、船舶繫留位置ノ指定、棧橋附近ニ於ケル水深、潮流及錨地ノ調査、貨客連絡作業ノ監視、氣象ニ關スル調査及報告等棧橋ニ關スル一切ノ事務ヲ掌ルモノニシテ下關函館兩棧橋ハ發着船長中高等官多數アル關係上之ト同等ノ資格アルモノヲ要シ技師ノ配置ヲ必要トスルモ豫算定員ノ關係上今回ハ下關ノミニ止メ函館ハ他日ニ譲ルコトトセリ

(發送為寫書信)

荷物損害報告件數

札		愧		増		他		西	
七年三月		九年三月				告		部	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
102	338472	232	983154	130	644682	521	206		
8	2553	9	62480	1	59927	56	5		
37	44996	100	181659	63	138663	188	53		
211	106243	165	793888	141	687445	7	30		
7	16767	16	81193	9	64468	32	23		
6	25717	7	19893	1	58221	10	20		
1	34020			1	44626	3	2		
計	536168	529	2120267	344	158699	777	339		
不着損量損敗		破減需汚腐		延		重物業死		計	

着損量損敗
不破減需汚腐
重損壞延
計

鐵道局人員増加調

	札		帳		合	
	終人	員	以	雇人	終人	員
六年度末	14178	13151				
七年度末	16232	15144				
八年度末	18769	17492				
七年度対八年度	1.16	1.16			1.15	1.15
六年度対七年度	1.32	1.33				

高等官（保健掛長）配置理由

一、共済組合購買部中鐵道局ノ管理ニ屬スルモノハ全國ヲ通シ五十一支部ニシテ之ニ對スル本年十月末現在ノ資金ハ約二百六十四萬圓ノ巨額ニ達ス各局別ニ擧クレバ次ノ如シ

東京鐵道局

支部數

五、

資金

五一六、二〇六

圓

名古屋鐵道局

支部數

八、

資金

三一八、〇〇〇

圓

神戸鐵道局
支部數 一五
資金 六三、四〇〇円

門司鐵道局	支部數	九、
	資金	四六〇、九〇〇 圓
仙臺鐵道局	支部數	七、
	資金	二六二、三〇〇 圓
札幌鐵道局	支部數	七、
	資金	四六〇、〇〇〇 圓
一鐵道局ニ於ケル購買部ノ資金ハ最低仙臺局ノ二十六萬圓ヨ		

九、六、八、〇、〇〇〇

東京鐵道局	現在數	治療所六、	未開始二、
二、鐵道局主管ノ治療機關ニシテ直接經營ニ係ルモノ（囑託病院及醫師ヲ除ク）全國ヲ通シテ五十一（内病院三）アリ而シテ之ニ要スル一箇年ノ經費九萬十萬二千餘圓ヲ算シ更ニ業務未開始ノモノ九ヲ計フ今之ヲ各局別ニ舉クレバ次ノ如シ			
掛長ノ負擔スル所トス			
ニ供給セシムル直接ノ指導及監督上ノ責任ハ主トシテ局保健			
ツアリ如斯大資金ヲ運用シテ多數現業員ノ生活必需品ヲ安價			
リ最高神戸局ノ六十二萬圓ニシテ尙且ツ資金ノ不足ヲ訴ヘツ			

經費

八三、二四七圓

名古屋鐵道局（治療所一ハ病院トナスヘキ豫定）

現在數

治療所九、

未開始一、

經費

一一一、八八六圓

神戸鐵道局

現在數

病院 金、

治療所九、

未開始二、

本表は、明治三十四年（一九〇一年）の調査結果を示す。この調査は、各鉄道局の管内に所在する病院、診療所、及び未開始の施設を調査したものである。

經費

二二一、二六三圓

門司鐵道局

現在數

病院 一、

治療所八、

未開始二、

經費

二〇八、三六九圓

仙臺鐵道局（治療所一ハ病院トナスヘキ豫定）

現在數

治療所七、

經費

六六、九六〇圓

札幌鐵道局

現在數

病院 一、

治療所九、

未開始二、

經費

二一〇、三五七円

上記病院及治療所ニ對シ患者ノ診療即技術ノ供給ニ關スル管理事務ハ衛生擔當技師ニ於テ大體執行シ得ヘキモ之ヲ需用者側ニ立チテ畫策スル利用方法及豫算ノ編成實行等ニ關シテハ特ニ有能ナル高等事務官ノ技術ニ俟ツヘキハ勿論ナリ

三、共済組合ノ給付中公傷年金及同一時金ヲ除クノ外ハ總テ鐵道局長ノ專行スル所ニシテ一ヶ月ノ平均件數三千四百四十餘、給付金額十萬二千二百圓弱ニ達ス之ヲ局別ニ舉クレバ次ノ如シ

東京鐵道局

九、六、伊、鐵、道、局

件數

一、〇六七

金額

二九、〇〇一圓

神戸鐵道局

件數

五四九

金額

一九、六〇九圓

名古屋鐵道局

件數

七三〇

金額

一九、五七〇圓

門司鐵道局

件數

六一四

金額	一八、八八九圓
仙臺鐵道局	
件數	三五四
金額	八、九四三圓
札幌鐵道局	
件數	一二七
金額	六、一四二圓
給付金ニ關スル事務ハ給付理由ノ認可ヲ件フ故ニ鐵道局長ノ	
專行スル保健事務中重大ナル責任ヲ分ツモノタルハ言ヲ待タ	
サル處ナリ	

四、其他

本省ニ於ケル現業従事員ノ増福慰安等社會政策的施設ニ關スル諸般ノ計畫ニ資スヘキ調査材料ノ如キ直接現業ト交渉ノ衝ニ當レル鐵道局ノ提供ニ俟ツモノ少カラス而モ是皆事實ニ於テハ保健掛長ノ調査研究ニ爲基ツクモノナリ

以上三項ハ局保健掛長ノ事務上ニ於ケル負擔ノ大ナルモノニシテ假ニ其一ヲ處理セントスルモ尙高等官ノ配置ヲ必要トス加之衛生及診療等ノ技術方面ニ於テモ政行の手腕ヲ要スル事柄多ク隨テ保健掛長ヲシテ衛生技術官ノ及ハサル所ヲ補ヒ之ヲ指導セシメサルヘカラサルカ故ニ各鐵道局ニ一名ノ高等官

ヲ配置シテ之ニ當ラシメントスルモノナリ

(鉄道局事務長)

醫事及衛生事務

技師 六

鐵道局ニ於ケル衛生技術者ハ事務ノ性質上衛生行政上ノ經驗集團及勞働衛生ニ對スル造詣鑑定醫學上ノ智識等ヲ要スルカ故ニ單ニ專門學校又ハ大學卒業シタルモノヲ直ニ之ニ當ラシムルコトヲ得ス隨テ現在ニ於ケル衛生囑託ノ人選方ニ就キテモ内務者又ハ地方廳等ニ在リテ多年此方面ノ經驗ヲ積ミタルコトヲ標準トセリサレバ其ノ初任給力既ニ月手當百六十圓内外タルヲ常トスルカ故ニ判任官ヲ以テ遇セントセバ一級俸ニ相當シ將來昇進ノ見込ナク有能ノ人材ハ忽チ去テ顧ミル者ナキニ至ルヘク且病院及治療所ノ診療上ノ監督上ニ就テモ被監督ノ地位ニ在ル鐵

道醫ハ大半高等官ノ待遇ヲ受クルカ故ニ權衡上判任官ヲシテ之ニ當ラシムルコトハ殆ト不可能ナリ

鐵道ニ於ケル衛生行政ハ頗ル多岐ニ亘ルト雖モ就中虎疫、鼠疫若ハ最近ニ於ケル流行性感冒ノ如キ會々一地方ニ發覺生シタル病毒ガ疾風ノ勢ヲ以テ全國ニ蔓延スルカ如キ是皆鐵道輸送ノ致ス處ト謂フモ過言ニハ非ラサルヘシ斯カル重大ナル責任ノ衝ニ當ラシムルニ實地ノ經驗ニ乏シキ者ヲ以テセンスルハ甚シキ危險アリト謂可^ク此ノ一點ニ於テモ相當ノ待遇ヲ以テ有能ノ人材ヲ招致シ社會ニ對スル脅威ヲ未然ニ防止スヘキ必要アリ今鐵道局ニ於ケル衛生技術員ノ執行事務ノ大要ヲ舉クレバ次ノ如シ

一、從事員ノ健康診斷

一、廳舍、官舍、合宿所、休憩所、食堂及浴場等ノ衛生

一、列車、電車等ノ衛生施設

一、工場衛生

一、構内販賣飲食物ノ鑑査並營業人ノ健康及暖房等ノ衛生

一、旅客及職員ノ傳染病豫防救治

一、傷病救護及鑑定

一、衛生試驗

一、營養、疲勞其他集團的保健衛生

東京市街線

東京上野間二哩二分ヲ秋葉原停車場ヲ通過シ高架式ニ施行ス
ルモノニシテ蒸汽列車線ニ電車線ニ及秋葉原上野間ニ貨物線
一ヲ敷設スルモノトス其外現在秋葉原停車場ハ其儘營業ヲ繼
續シツ、全部之ヲ高架式ニ改築シ竣成後ハ現地盤タル下層ヨ
リ高架線タル上層ノ間ニ貨物又ハ貨車ノ昇降ヲ爲サシムコト
ノ方法ニ依ル又上野停車場ハ東京ニ聯絡スル線路ヲ高架トス
ル外地方列車ノ發着線ヲ地平式ニ敷設セントスル至難ノ工事
ニシテ現在ノ通營業ヲ持續シ其間ニ施行スルモノトス其他橋
梁工事ハ頗ル多ク之ヲ人家稠密交通頻繁ナル市街地ニ施行ス

ルモノナルヲ以テ技師二名ヲ置クニ非サレハ圓滿ニ之カ任務ヲ遂クル能ハス内一名ハ現在東京萬世橋間ニ從事スルモノヲ振向クルモノナリ

金町小岩間及越中島線

越中島線ハ龜戸越中島間三哩五分ニシテ中間ニ小名木川停車場ヲ置キ終端ニ越中島停車場ヲ置ク之カ工事ハ全線土地卑濕ナルヲ以テ盛土ノ多數ヲ要シ小名木川迄ニ於テ八萬坪又越中島ハ海面二十五萬坪ヲ埋立之カ所要土坪六十萬立坪ヲ要ス而シテ越中島停車場設備ハ東京市内ノ一部及東北常磐關係ノ貨

物ノ全部ヲ越中島ニ集中セントスルモノニシテ停車場中ニ運河又陸上ニハ廣大ナル操車場ヲ設備スル等其規模ノ雄大ナルコト全國ニ其比ナシ又小岩金町間四哩ハ越中島線敷設ニ件フ總武常磐兩線ヲ連絡スルモノニシテ之カ工事トシテ小岩ニ東北常磐及總武各線ニ於ケル操車場ヲ設置シ又金町停車場ニ於テモ配線ノ變更其他多大ノ工事ヲ要ス乃チ彼是ニ於テ技師二名ヲシテ之ヲ掌ラシメサルニ於テハ功程ヲ舉クル能ハス

建築課長

各部事務ノ審査其他課務ヲ掌理スル外教習所治療所病院等特種建物ノ設計ヲ掌ル

大正九年十月廿七

高等官配置表 (改定)

五

本省高等官配置表 改定

●大臣官房

▲人事課

一 課長

書記官

一

一 職員ノ待遇（官舎ヲ含ム）教育及定

員ニ關スル調査計畫

事務官

一

一 中央教習所長

事務官

一

一 中央教習所幹事兼生徒監

事務官

一

▲文書課

一 法規、統計及報告、圖書、乘車證、廳中取締
及省内他局課所ニ屬セサル事務

事務官

一

一 訴訟事務

事務官 二

▲保健課

一 課長

書記官 一

一 共済組合ノ一般的計畫調査及現業員

ノ保護救済施設計畫

事務官 一

一 醫事及衛生ニ關スル事務

技師 一

一 東京鐵道病院長

技師 一

▲現業調査課

一 課長

書記官 一

一 現業委員會並現業従事員ノ勤務狀態

技師 2

15

調査

7 事務官 一

▲研究所

一 鐵道用品ノ化學的試験並研究調査

技師 三

一 鐵道用品ノ理學的試験並研究調査

技師 二

一 電氣用品ノ試験並研究調査

技師 二

一 運轉（大井試験所ヲ含ム）及土木

技師 二

一 ニ關スル研究調査

技師 二

一 橋梁及鐵橋ニ關スル設計調査

技師 二

一 製作監督及橋梁監査

技師 一

一 轉轍器及軌道ニ關スル設計調査

技師 一

一 信號及聯動機ニ關スル設計調査

技師 一

一 特種設計調査並石工其他

技師

二

▲臨時水力電氣課

一 水力電氣ノ調査計畫並水力電氣ノ
利用調査ニ關スル事項

技師

二

▲官房勤務

一 支那派遣

書記官
技師

一 一

●監督局

▲總務課

一 課長

書記官

一

一 免許、特許、抵當、補助及局内他課

事務官

一

ニ屬セサル事務

一 交通網調査、免許ニ關スル實地審査、

未開業線實地審査並關係法規ノ統一

事務官

一

整理及改正ニ關スル事務

▲業務課

一 課長

書記官

一

一 運賃及料金ノ認可其他、營業、運轉

並會計ニ關スル事項ノ監督及實地監

査、輕便鐵道補助金計算

事務官

二

▲技術課

- | | | | |
|---|-------------------|----|---|
| 一 | 課長 | 技師 | 一 |
| 一 | 土木ニ關スル事項 | 技師 | 五 |
| 一 | 交通網調査法規ノ統一整理、特種設計 | 技師 | 一 |
| 一 | 車輛ニ關スル事項 | 技師 | 二 |
| 一 | 電氣ニ關スル事項 | 技師 | 一 |

●運輸局

▲總務課

- | | | | |
|---|------------------|-----|---|
| 一 | 課長 | 書記官 | 一 |
| 一 | 國際連絡ニ關スル契約其他ノ事務 | 事務官 | 一 |
| 一 | 内地連帶運輸ニ關スル事務、運輸收 | | |

入、運輸費等ノ調査其他局内他課ニ屬セサル事務

事務官

一

▲旅客課

- | | | | |
|---|----------------------|-----|---|
| 一 | 課長 | 書記官 | 一 |
| 一 | 海外連絡實施ニ關スル事務、乗車券委託販賣 | 事務官 | 一 |
| 一 | 運賃、料金、客車運用並旅館營業其他 | 事務官 | 一 |

▲貨物課

課長	書記官
貨物運賃、料金、特定、特約割引	事務官
貨物等級	事務官
貨物ノ生産其他各種經濟關係調査、	
主要貨物統計	事務官

▲配車課

課長	書記官
輸送計劃及車輛配給	事務官

6

▲運轉課

課長	技師
軍事輸送關係列車運轉計畫	書記官
軍事輸送關係車輛事務	技師
列車運轉計畫、運轉成績ノ調査及電氣	
通信	技師
機關車ノ管理並汽車費豫算ノ調査	技師
客貨車及電車ノ管理	技師
運轉事故ノ調査統計並信號保安	技師

▲船舶課

一	課長	技師	一
一	船体部	技師	一
一	機関部	技師	一

●建設局

▲線路調査課

一	課長	技師	一
一	新設線路ノ調査	技師	二
一	新設線路ノ計畫	技師	一

7

▲工事課

一	課長	技師	一
一	一般事務	事務官	一
一	線路撰定工事何等ノ審査並工事監督	技師	三
一	線路實測	技師	四

10

●工務局

▲保線課

一	課長	技師	一
一	一般事務	事務官	一
一	作業費支辨工事計畫調査及材料準備	技師	一

課長ハ他ノ技師ヲ
四ノ三ニ充テ

課長
一 建物ノ基本設計

技師
技師
一

▲建築課

課長
一 鐵道局提出改良工事何ノ審査
一 大改良工事計劃設計

技師
技師
技師
一
三
四

▲改良課

一 電氣ニ關スル施設及計畫

技師
一

10

課長ハ他ノ技師ヲ
四ノ三ニ充テ

一 鐵道局建物工事何審査
一 建物大改良工事計劃設計

技師
技師
二

●工作局

▲工場課

課長
一 工場設備ニ關スル計畫及調査
一 工場作業ニ關スル計畫及調査
作中ノ身中ノ身中ノ身中

技師
技師
技師
一
二
一

▲車輛課

課長
一 一般事務

技師
事務官
一

8

一	機關車ニ關スル製作改良及規格事務	技師	二
一	客貨車ニ關スル同上	技師	二
一	車輛及部分品ノ製作監督（東京方面）	技師	一
一	車輛及部分品ノ製作監督（名古屋方面）	技師	一
一	同上	技師	二
一	同上 （神戸方面）	技師	二
一	同上 （米國駐在）	技師	三
一	工作材料ノ準備、代用、融通及材料	技師	二
一	製作監督	技師	二
一	課長	技師	一

▲電氣課

一	電車設備ノ計畫、改良並監督事務	技師	一
一	電力及電燈設備ノ計畫、改良並監督事務	技師	一
一	電氣設計並電氣用品ノ規格	技師	一
一	鐵道電化ニ關スル調査並計畫	技師	二
一	電氣用品ノ紹介並 （本國駐在）	技師	一

●經理局

▲會計課

一	課長	書記官	一
一	檢査	事務官	一
一	主計又ハ出納	事務官	一

課長
倉庫

▲倉庫課

書記官
事務官

課長

▲購買第一課

書記官

電氣用品

事務官

工事用品

事務官

車輛用品

技師

課長

▲購買第二課

書記官

雜品及被服

事務官

石炭

事務官

木材及枕木防腐事務

技師

課長

▲調査課

書記官

統計

事務官

一 連帶 事務官 一
東京、名古屋、仙臺鐵道局調査事務 事務官 二

一 所長 技師 一五
▲建設事務所
所員（北海道、新庄、米子、熱海線、
東京、多度津、大分、宮崎、山口、
盛岡、秋田、長岡、岐阜各二、敦賀、
高知各一）

技師 三〇

45

▲改良事務所

一 一般事務（東、神各一） 事務官 二

一 河川改修附帶工事（常磐、總武線）（東） 技師 一

一 越中島線並金町小岩間連絡線（東） 技師 二

一 新橋程ヶ谷間改良、横濱大船間二線
増設、並横須賀線複線（東） 技師 一

一 東京市街線（東） 技師 二

一 品川田端間二線並中央線増設（東） 技師 二

一 上野田端間一線増設（東） 技師 一

一 京都大津間並京都桃山間線路變更（神） 技師 一

一 京都鷹取間二線増設、神戸市内高架
線並梅小路小野濱停車場改良（神） 技師 三

13

吹田操車場新設(神)	技師	一
大阪停車場改良(神)	技師	一
鷹取操車場新設(神)	技師	一
大阪臨港船線新設並大阪北方直通線	技師	一
増設(神)	技師	一

計		
書記官	事務官	技師
一六	三	二〇六
五	五	

鐵道局高等官配置表

▲庶務課

課長	參事	六
文書掛長	副參事	一
人事掛長	參事補	二
保健掛長	參事補	一
賠償掛長	參事補	一
現業委員會及現業從事員ノ勤務狀態	參事補	一
其他ニ關スル調査(東、神、門)	參事補	一
醫事及衛生ニ關スル事務	技師	一

▲鐵道局出張所

一所 長（徳島、高松）

副参事補 二

一 院 長（名古屋、神戸、門司、
仙臺、札幌）

技師 五

▲鐵道病院

▲運輸課

課 長

参事 六

庶務掛長

副参事 十
参事補 〇

旅客掛長

参事補 五

5

27

一 貨物掛長（東、名、神、門）

一 配車掛長

技師 二

一 船舶掛長（札）

技師 一

▲運輸課

課 長

技師 六

一 列車掛長

技師 六

一 機關車掛長

技師 六

一 客貨車掛長

技師 六

本年より深く改定し、
課長に就任し、
事務配分を改定し、
一、客貨車掛長
二、機関車掛長
三、列車掛長
四、課長
五、船舶掛長（札）
六、配車掛長
七、貨物掛長（東、名、神、門）

▲工務課

課長	技師	六
庶務掛長 (副、東、神)	技師	六
保線掛長 (補、名、門、仙、札)	技師	六
保存及補充工事設計審査並營業線	技師	八
巡閱 (東名神札各一、門仙各二)	技師	六
保安設備	技師	六
改良掛長	技師	六
改良工事設計審査 (東、神、門、札各三名、仙各四)	技師	二〇
特種改良工事	技師	一
宇都宮白河間改良工事 (東)	技師	一

53

我孫子友部間複線	技師	一
水戸湯本間改良工事	技師	一
名古屋停車場改良	技師	一
吉永岡山間複線	技師	一
岡山糸崎間複線	技師	一
八本松海田市間複線	技師	一
奈良柏原間複線	技師	一
小倉鳥栖間二線増設	技師	一
折尾直方間二線増設	技師	一
岩沼小牛田間改良工事 (仙)	技師	一
岩見澤瀧川間複線 (札)	技師	一
建物掛 (東、名、神、門)	技師	四

15

一 通信掛長（名、神、門、仙、札） 技師 五

▲工作課

一 課長 技師 六
 一 庶務掛長（東、名、神、門） 副參事 四
 一 車輛掛長 技師 六
 一 車輛掛員（東、神、門） 技師 三
 一 電力掛長（名、神、門、内二） 技師 二

▲經理課

一 課長 參事 六

一 會計掛長 副參事 十二

一 倉庫掛長 參事補 十

一 購買掛長 參事補 十

一 調度掛長（東、名、神、門） 副參事 三

一 調査掛長（神、門、札） 副參事 三

▲電氣課

一 課長 技師 一

一 庶務掛長 副參事 一

一 電力掛長 技師 一

電力掛員
通信掛長

技師
技師
一 二

課長
運輸掛長

技師
技師
一 一

▲船舶課

▲運輸事務所

上野、新橋、大阪ヲ通シテ

技師
技師
一 二

所長

長野外廿一事務所ヲ通シテ

技師
技師
一 五

秋田外五事務所ヲ通シテ

技師
技師
二 四

所員

上野、新橋、大阪ヲ通シテ

技師
技師
四 三

長野外廿一事務所ヲ通シテ

技師
技師
一 七

課長 (東京、京都、大阪)

副参事

一九

(上野、秋葉原、田端、隅田川、青森、汐留、品川、横濱、高島、名古屋、梅小路、神戸、湊町、廣島、下關、門司、函館、札幌)

副参事補 十

▲列車従事員

車掌監督(東京、上野、名古屋)

参事補 三

▲荷扱所

一 荷扱所主任(大阪)

副参事補 二

▲機關庫

一 機關庫主任(田端、水戸、福島、横

川、品川、沼津、名古屋、敦賀、廣島

大阪、梅小路、神戸、鳥栖、仙臺

直方、岩見澤

技師 一五

▲檢車所

一 檢車所主任(東京、上野)

技師 二

▲船舶

一	船長 (新羅、高麗、對馬、壹岐、比羅夫、田村、第一快運、第二快運、多喜丸)	技師	九
一	豫備船長 (門二札一)	技師	三
一	機關長 (新羅、高麗、對馬、壹岐、比羅夫、田村)	技師	六
一	豫備機關長 (門)	技師	一
一	棧橋長 (下關、室蘭)	技師	二

21

▲保線事務所

一	所長	技師	三一
一	所員 (新橋、上野、名古屋、大阪、門司、札幌 (以上土木) 新橋 (電氣通信信號))	技師	七

38

▲工場

一	工場長 (大宮、大井、濱松、鷹取、小倉、苗穂、長野、土崎、盛岡、四日市、金澤、下關、若松、函館、湊町、後藤、旭川、釧路、郡山、
---	---

名古屋、吹田

技師 二一

- 一 工事施工計畫及命令、製修工事工程及統計、工事費豫算調査、工場設備及材料準備、製修品検査（大宮、鷹取各二小倉、濱松、大井、苗穂各一）技師 八
- 一 機關車及客貨車修繕（大宮、鷹取、小倉、苗穂各二、濱松、大井各一）技師 一〇
- 一 下受（鍛冶、鑄物、工具）作業（大宮、鷹取、小倉、大井各一）技師 四
- 一 電氣部分品製作兼發電所主任（大宮、鷹取、大井各一）技師 三

46

▲電力事務所

- 一 所長（新橋）技師 一
- 一 所員（ ）技師 一

3

▲發電所

- 一 發電所主任（矢口）技師 一

計

技 師	參 事 補	副 參 事	參 事
--------	-------------	-------------	--------

四 三 八	二 九 一	五 七	一 八
-------------	-------------	--------	--------

一
二
一

高等官配置表(現在)

正

高等官配置表

● 總裁官房

▲ 人事課

課長

書記官

一

職員ノ待遇（官舎ヲ含ム）教育及

定員ニ關スル調査計畫

事務官
事務官
事務官

一

中央教習所幹事兼生徒監

事務官
事務官
事務官

一

▲ 文書課

課長

事務官
事務官
事務官

一

官房及監督局ノ立案文書審査

事務官
事務官
事務官

一

運輸局及工作局ノ立案文書審査

事務官
事務官
事務官

一

建設局、工務局及經理局ノ立案文

事務官
事務官
事務官

一

現行調査課
局長事務
局長事務

鐵道院

書審査
訴訟事務

書記
事務
二

課長

▲保健課

書記
事務
一

共済組合ノ一般の計画調査及現

業員ノ保護救済施設計画

事務
事務
一

醫事及衛生ニ關スル事務

技師
一

東京鐵道病院長

技師
一

▲研究所

鐵道用品ノ化學的試験並研究調査技師

技師
三

鐵道用品ノ理學的試験並研究調査技師

技師
二

電氣用品ノ試験並研究調査技師

技師
二

八、六製本納

運轉（大井試験所ヲ含ム）及土木

ニ關スル研究調査

技師
二

木材ノ腐朽菌、樹木ノ疾病及防腐

ニ關スル試験並研究

技師
一

橋梁及鐵構ニ關スル設計調査

技師
二

製作監督及橋梁監査

技師
一

轉轍器及軌道ニ關スル設計調査

技師
一

信號及聯動機ニ關スル設計調査

技師
一

特種設計調査並石工其他

技師
二

▲官房勤務

支那派遣

技師
一

●監督局

一 局長

理事

一

▲總務課

一 課長

書記

一

一 免許、特許、抵當、補助及局内他

課ニ屬セサル事務

事務官

一

一 交通網調査、免許ニ關スル實地番

査未開業線實地番査、關係法規ノ

統一整理及改正ニ關スル事務

事務官

一

▲業務課

一 課長

書記

一

一 運賃及料金ノ認可其他營業、運輸

並ニ會計ニ關スル事項ノ監督及實

地監査、輕便鐵道補助金計算

副參事

一

▲技術課

一 課長

技師

一

一 土木ニ關スル事項

技師

五

一 交通網調査及法規ノ統一整理並特

種設計

技師

一

一 車輛ニ關スル事項

技師

一

一 電氣ニ關スル事項

技師

一

●運輸局

一 局長

理事

一

一 軍事輸送關係列車運轉計畫
技師 一

▲庶務課

一 課長
書記 一

一 國際連絡ニ關スル契約其他ノ事務
書記 一

一 内地連帶運輸ニ關スル事務、運輸
書記 一

一 收入、運輸費等ノ調査、其他局内
書記 一

一 他課ニ屬セサル事務
書記 一

▲旅客課

一 課長
書記 一

一 海外連絡實施ニ關スル事務、乗車
書記 一

券委託販賣

一 運賃、料金、客車運用、旅館營業
書記 一

▲貨物課

一 課長
書記 一

一 輸送計畫及車輛配給
書記 一

一 貨物運賃、料金、特定、特約割引
書記 一

一 貨物等級
書記 一

一 貨物ノ生産、其他各種經濟關係調
書記 一

一 査、主要貨物統計
書記 一

▲運輸課

一 課長
技師 一

一 列車運轉計畫、運轉成績ノ調査及

鐵道院

電氣通信

一 機關車ノ管理、汽車費核算ノ調査 技師 一

一 客貨車及電車ノ管理 技師 一

一 運轉事故ノ調査統計並信號保安 技師 一

▲船舶課

一 課長 技師 一

一 船体部 技師 一

一 機關部 技師 一

●建設局

一 局長 理事 技師 一

八、六製本納

▲線路調査課

一 課長 技師 一

一 新設線路ノ調査 技師 二

一 新設線路ノ計畫 技師 一

▲工事課

一 課長 技師 一

一 一般事務 副參事 一

一 線路撰定工事伺等ノ審査並工事監督 技師 三

一 線路實測 技師 四

●工務局

鐵道院

局長

又ハ技師

一

課長

技師

一

一般事務

副参事

一

作業費支辨工事計畫調査及材料準備技師

技師

一

電気ニ關スル施設及計劃

技師

一

建物ニ關スル設計（本院新築及直轄工事）

技師

一

課長

技師

一

▲改良課

課長

技師

一

管理局提出改良工事伺ノ審査

技師

三

八、六製本納

大改良工事計畫、設計

技師

四

●工作局

局長

又ハ技師

一

▲車輛課

課長

技師

一

一般事務

副参事

一

機關車ニ關スル製作改良及規格事務技師

技師

二

客貨車ニ關スル同上

技師

二

車輛及部分品ノ製作監督（東京方面）技師

一

車輛及部分品ノ製作監督（名古屋方面）	技師	一
同上	技師	二
同上 （神戸方面） （米國駐在）	技師	三
工作材料ノ準備、代用、融通及材		
料製作監督	技師	二
工場設備ニ關スル計畫及調査	技師	二
工場作業ニ關スル計畫及調査	技師	一
▲電氣課		
課長	技師	一
電車設備ノ計畫、改良並監督事務	技師	一
電力及電燈設備ノ計畫、改良並監督事務	技師	一

八、六製本納

電氣設計、電氣用品ノ規格	技師	一
鐵道電化ニ關スル調査及計畫	技師	二
●經理局		
局長	技師	十
▲會計課		
課長	技師	一
檢査	技師	一
主計又ハ出納	技師	一
▲倉庫課		
課長	技師	一
倉庫	技師	一

鐵道院

▲購買第一課

課長

電氣用品

工事用品

車輛用品

▲購買第二課

課長

雜品及被服

石炭

木材及枕木
防腐事務

▲調查課

技師

技師

技師

技師

技師

技師

技師

技師

一 一 一 一 一 一 一 一

八、六製本納

課長

統計

連帶

東京、名戸屋、仙臺管理局調査掛

事務

▲建設事務所

所長

所員（北海道四、新庄、米子、

熱海線、東京、多度津、大

分、宮崎、山口、盛岡、秋

田、長岡各二教員一

技師

技師

技師

技師

技師

技師

技師

技師

技師

一 一 一 一 一 一 一 一

鐵道院

▲改良事務所

- 一 河川改修附帶工事（常磐、總武線）
技師 二
- （東）
- 一 越中島線、金町、小岩間連絡線（東）技師 一
- 一 新橋、程ヶ谷間改良橫濱大船間二
- 線增設並橫須賀線複線（東）技師 一
- 一 東京市街線（東）技師 一
- 一 品川田端間二線並中央線增設（東）技師 二
- 一 上野、田端間一線增設（東）技師 一
- 一 京都、大津間並京都山間線路變更（神）技師 一

八、六製本納

- 一 京都、鷹取間二線增設、神戸市内高架線並梅小路、小野濱停車場改良（神）技師 三
- 一 吹田操車場新設（神）技師 一
- 一 大阪停車場改良（神）技師 一
- 一 鷹取操車場新設（神）技師 一
- 一 大阪臨港線新設並大阪北方直通線增設（神）技師 一

計
書記官 一四
事務官 三一
技師 一四四
計 一八九

●管理局

一局 長

又、技師 六

▲庶務課

一 課 長

參事 六

一 文書掛長

一 人事掛長

東、名、神、門各二

副參事 六

保健掛長

(副一、補一)
仙、札各一(副)

參事補

四

賠償掛長

▲管理局出張所

所長

(德島、高松)

參事補

二

▲鐵道病院

院

長(神戸、門司、札幌)

技師

三

▲運輸課

課

長

參事

六

庶務掛長

副參事

一二

旅客掛長

參事補

八

貨物掛長(東、名、神、門)

配車掛長

技師

二

列車掛長

技師

六

機關車掛長

技師

六

客貨車掛長

技師

六

船舶掛長(門、札)

技師

二

▲工務課

課長

技師

六

庶務掛長

副參事

二

保線掛長

技師

六

保存及補充工事設計審查並營業線

巡閱(東名神札各一門仙各二)

技師

八

保安設備	技師	六
改良掛長	技師	六
改良工事 設計審査東、神、門、		
札各三、名、仙各四一	技師	二〇
特種改良工事		
黒磯、白河間改良工事（東）	技師	一
水戸、磯原間改良工事（東）	技師	一
吉永岡山間複線（神）	技師	一
小倉島栖間二線増設（門）	技師	一
折尾直方間二線増設（門）	技師	一
名古屋停車場改良（名）	技師	一
岩沼小牛田間改良工事（仙）	技師	一

八、六製本請

我孫子土浦間復線（東）	技師	一
建物掛（東、名、神、門）	技師	四
通信掛長（名、神、門、仙、札）	技師	五
▲工作課		
課長	技師	六
庶務掛長（東、名、神、門）	參事補	四
車輛掛長	技師	六
車輛掛員（東、神、門）	技師	三
電力掛長（名、神、門ノ内二）	技師	二
▲電氣課		
課長	技師	一
庶務掛長	參事補	一

鐵道院

電力掛長

技師 一

電力掛員

技師 二

通信掛長

技師 一

▲經理課

課長

參事 六

會計掛長

倉庫掛長

購買掛長

調度掛長

調查掛長

副參事 一二〇

參事補 三

▲運輸事務所

(東、名、神、門)

(神、門、札)

所長

上野、新橋、大阪ヲ通シテ

技師 一二

長野外廿一事務所ヲ通シテ

技師 一五七

秋田外五事務所ヲ通シテ

技師 二四

所員

上野、新橋、大阪ヲ通シテ

技師 三

長野外廿一事務所ヲ通シテ

技師 一八七

▲驛

驛長 (東京、大阪、京都)

副參事 三

鐵道院

鐵道院

(上野、秋葉原、田端、隅田川、青

森、汐留、品川、横濱、名古屋、

梅小路、神戸、下關、門司 一 零事補 一三

▲荷扱所

一 荷扱所主任 (大阪) 零事補 一

▲機關庫

一 機關庫主任 (田端、水戸、福島、横濱

川、沼津、名古屋、大阪、

梅小路、神戸、鳥栖、

仙臺、直方) 技師 一二

▲檢車所

一 檢車所主任 (東京、上野) 技師 二

八、六製本局

▲船舶

一 船長 (新羅、高麗、對馬、壹岐、

比羅夫、田村、第一快運、

第二快運、多喜丸) 技師 九

一 豫備船長 (門二、札一、一

機關長 (新羅、高麗、對馬、壹

岐、比羅夫、田村) 技師 六

一 豫備機關長 (門一)

一 棧橋長 (室蘭) 技師 一

▲保線事務所

一 所長 技師 三一

一 所員 (上野、新橋、名古屋、大阪

鐵道院

門司、札幌、(以上土木)
新橋、(電氣通信、信號) 技師 七

▲工場

一 工場長(大宮、大井、濱松、鷹取、
小倉、苗穂、長野、土崎、盛
岡、四日市、金澤、下關、若
松、函館、湊町、後藤、旭川
釧路、郡山、名古屋、吹田) 技師 二一
一 工事施工計畫、及命令、製修工事工
程及統計、工事費豫算、調査、工場設
備及材料準備、製品検査(大宮、鷹
取各二小倉、濱松、大井、苗穂各一) 技師 八

八、六製本納

一 機關車及客貨車修繕(大宮、鷹取
小倉、苗穂各二、濱松、大井各一) 技師 一〇
一 下(受鍛治、鑄物、工具)作業(大
宮、鷹取、小倉、大井各一) 技師 四
一 電氣部分品製作兼發電所主任
(大宮、鷹取、大井各一) 技師 三
▲電力事務所
一 所長(新橋) 技師 一
▲發電所
一 發電所主任(矢口) 技師 一

鐵道省

計

計	板	寺	別	大
	師	佛	寺	寺
四〇二	二六八	六〇	五六	一八

錢

道

院

高等官増員調

五

録

道

院

179
187

鐵道局 134					本省 N				協定配置	官制定員
計	技師	參事補	副參事	參事	計	技師	事務官	書記官		
四〇二	二六八	六〇	五六	一八	一八九	一四四	三一	一四	現在	
四三八	二九八	五七	七二	一八	二一〇	一五五	三一	一六	改定	
三六三	二五九	四九	四九	三三	一九九	一五一	三一	一七	現在	
四三八	二九一	五七	七七	三三	二一〇	一五五	三一	一七	改定	
四八	二六	八	八		七	四	三	△一	増	

高等官増員總括表

△印ハ減ヲ示ス

合 計	五九一六四八	五七五八九六四八	五九
-----	--------	----------	----

書記及
事務官
技師

否、一

中教習所長

本省高等官増員調

△印ハ減ヲ示ス

事務官

一

教習所ノ擴張ニ伴ヒ專任所長配置必要
ノ爲増員ヲ要ス

官房現業調査課長

官房現業調査課長

書記官

一

同課員（現業委員會及現業従事員ノ勸
務状態調査）

同課員（現業委員會及現業従事員ノ勸
務状態調査）

事務官

一

官房現業調査課新設ノ爲増員ヲ要ス
水力電氣ノ調査計劃水力電氣ノ利用

官房臨時水力電氣課新設ノ爲増員ヲ要
ス

調査ニ關スル事項

技師

二

否、一

ス

東武西武
実況調査

東武西武
実況調査

監督局業務課 (運賃及料金ノ認可其 他營業運轉並會計ニ關スル事項ノ監 督及實地監査、輕便鐵道補助金計算)	監督局車輛課 (車輛ニ關スル事項)	地方鐵道及軌道ノ増加ニ伴ヒ業務激 増ノ爲増員ヲ要ス	運輸局配車課長	工務局建築課長 保老中ノ一技師といふニハコト ヲ得サカレ	同課員 (建物ノ基本設計)	同 (鐵道局建物工事伺審査)	同 (建物大改良工事計劃設計)	工作局工場課長
書記官 一	技師 一	現在一人取置アリ		技師 一	技師 一	技師 一	技師 一	技師 一
現在一人取置アリ 一人ノテ十分ハハカ							一本有建築技師ニテ 現在一人アリ	

東武西武
実況調査

配車、建築、工場ノ三課新股ノ爲 増員ヲ要ス	工作局米國駐在 電氣課	製作監督事務増加ノ爲増員ヲ要ス 電氣課	建設事務所長 (岐阜)	同所員 (岐阜三、高知一)	岐阜ハ新設、高知ハ工事區域増加ノ 爲増員ヲ要ス	改良事務所事務一般 (東、神各一)	越中島線金町小岩間連絡線 (東京)	河川改修附帶工事 (東京)	東京市街線 上野一五五回 二人ノ必要ナリト考ヘラレ
技師 一	技師 一	技師 一	技師 一	技師 三		事務官 二	技師 一	技師 一	技師 一
					新橋一山田間工事ニ要ス		現在一人アリ 世々ニテ十分ハハカ	現在一人アリ 世々ニテ十分ハハカ	

書記官	事務官	技師	計
二	五	一四	二一
二	四	一	

鐵道局高等官増員關
△印ハ減ヲ示ス

深處下

庶務課文書掛長

文人版

1.

排長 王 雲 山 領 外

人事掛長

人、保

古、故、更、混、

同
保健掛長

—

ト
ル
ル
ル

同
賠償掛長

水仙卜池弓卜、其弓、
也、

業務増加ノ爲メ仙臺及札幌へ増員ヲ

要シ尙掛長ハ職務ノ性質上關涉事配

置ノ要アル爲參事補ト振替ノ必要ヲ

リ

卷之二

現業委員會及現業從事員ノ勤務狀態

五

其ノ他ニ關スル調査（東、神、門）

新設ノ爲メ増員ヲ要ス

南華真經

天

否

一 醫事及衛生ニ關スル事務（各局一）技師 六

醫療機關ノ監督及衛生事務ニ從事セ
ルモノモ、ニシテ職務ノ性質上技師
ノ配置ヲ要ス

一 鐵道病院長（名古屋、仙臺）技師 二

新設ノ爲メ増員ヲ要ス

一 運輸課庶務掛長 副參事 四

一 同 旅客掛長 參事補 四

一 同 貨物掛長 參事補 四

一 同 配車掛長 參事補 四

庶務課掛長ト同一ノ理由ニ依リ振替
ヲ要ス

多事、
別事ト爲ス、
本任ニ任付
任用令改め
ス

否

一 運輸課長 技師 六

運輸課新設ノ爲増員ヲ要ス

一 岡山糸崎間複線（工務課）技師 一

一 奈良柏原間複線（同）技師 一

一 八本松海田市間複線（同）技師 一

一 岩見澤瀧川間複線（同）技師 一

本年度ヨリ新規着手ノ爲増員ヲ要ス

一 經理課會計掛長 副參事 六

一 同 倉庫掛長 參事補 六

一 同 購買掛長 參事補 六

一 同 調度掛長 參事補 六

庶務課及運輸課掛長ト同一ノ理由ニ

五五五
一五五
一四四
二二二

本任ニ任付
任用令改め
ス

針子門門建記

依り振替ヲ要ス

船舶課長

(門司)

船作部

技師

一

船舶課運航掛長

(同)

船同部

技師

一

運輸課船舶掛長

(同)

△技師

一

船舶課新股ノ爲増減ヲ要ス

一

課長

(高島、湊町、廣島、函館、
札幌)

參事補

五三

車掌監督(東京、上野、名古屋)

參事補

三

機關庫主任

(岩見澤)

技師

三

棧橋長(下關)

否

技師

一

以上何レモ主要個所ニシテ高等官長
主任配置ノ要アル爲増員ヲ要ス

計

副參事

廿五

參事補

△廿

技師

廿七

計

三六

✓ 八三四	✓ 技	✓ 書	✓ 技	✓ 參事補	✓ 副參事	鐵道局	✓ 技	✓ 屬	✓ 技	✓ 事務官	本省
手記師	手記師	手記師	手記師	手記師	手記師		手記師	手記師	手記師	手記師	

三百三十人	八百二十四人	二十六人	八十六人	增 三 非 負	九十九人	八十二人	四 人	三 人
-------	--------	------	------	------------------	------	------	--------	--------

三千五百五十六人	七千二百八十五人	五十一人	五十一人	改定 三 十 四 人	七百八十四人	八百八十八人	百五十五人	百五十五人
----------	----------	------	------	------------------------	--------	--------	-------	-------

判仕官ニ関スル説明

(本書判仕官)

本省増員の課

員数

	所要員	員定員	増	
大臣官房	2		1	
参事官附				
現業委員会	2		2	
勤務狀態其他調査	2	3	5	
内外労働力調査	2	1	1	
計	18	11	11	
官房現業調査課				
庶務及計算	3	1	3	
會計及物品	1		1	
現	2		2	
計	6		6	
官房事務物置課				
監督員	1		1	
南洋鐵道移住件所要員	1		1	
計	2		2	
運輸局配車課				
輸送計畫及運用	2	2	2	
輸送成績調査	2	1	1	
輸送点上設備	2	1	2	
現業實況視察	11		11	
計	18	3	9	
局所提出施行設計案中				
契約具他調査(1111)	1		1	
豫算指定(1000)事項並設計				
豫算調査及施行報告調査	1		1	
材料事務	11	1	1	
計	12	1	1	
工務局建築課				
庶務	1	3	3	
工場設備台帳工場作業及				
歇休監督	3	2	1	
工務局工場課				
工務統計	12	12		
計	21	17	4	

本省増貸内譯

技 手

	所要員	増貸	増	
水路實地測量	4			
水路設計並材料準備調査	2			
送電線路及変電所並調査	2			
送電所設計並材料準備調査	2			
送電所及同所設計並材料準備調査	2			
調査	2			
送電線路設計並材料準備調査	2			
計	14	2	12	
監督局技術課	1		1	
南滿鐵道管理事務移管	1			
建物、基本設計	2		2	
局所提出設計並施行豫算				
審査	3	1	2	
建物大改修工事計畫設計	5	1	4	
直轄工事	2	2		
計	12	4	8	
工場設備台帳並工作業、並製作監督、後房、車庫等物品				
工作方法	6	4	1	
機関車	7	5	2	
客貨車	18	14	4	
材料	3	1	2	
製作監督(東京、石巻、一輪田一)	4	1		
、神戸派出所	3	2	1	
計	44	22	22	

大正十一年

經理局調査課鐵道局調査事務ニ對スル増員

運輸竝附帶ノ收入及諸拂戻金ノ審査計算、驛荷扱所及船舶其他ニ
備付ノ帳表類及乗車船券類ノ検査竝運輸統計ニ關スル事務ハ各鐵
道局經理課ニ調査掛ヲ置キ之ヲ處理スルヲ普通トスルモ元東部中
部兩管理局郎チ現在ノ東京、名古屋、仙臺鐵道局ニ屬スル分ハ廳
舍其他ノ關係上官制改正當時直ニ分屬セシメ雖キ事情アリ當分鐵
道局ニ調査掛ヲ置カス經理局調査課ニ附屬セシメ其ノ事務ヲ行フ
コトトナレルモノニシテ右ニ對スル屬ハ元東京鐵道局カ東、中、
兩管ニ分レ更ニ今回三局ニ分離セル關係上其ノ都度多少ノ増員ヲ
行ヒシト雖モ尙判任官割合別表ノ如ク各鐵道局調査掛ニ比シ僅少

ニシテ監督上不便勘ナカラス十六人ノ増員ヲ要ス

經理局人真

屬	雇	計	割合	
會計課	57	88	144	37
倉庫課	21	32	53	44
購買第一課	14	23	37	38
購買第二課	13	8	21	62
波能市場木材市場	5	10	15	33
本課	37	169	208	17
鐵道局	16	351	169	12
調査課	58			12
計	207	678	888	23
袖戸	311	169	203	17
鐵道局	29	137	165	17
札幌	18	49	67	27
現在項	改定	増		
東京	14	1	1	2
名古屋	14	1	1	
仙臺	14	1	1	
神門	14	1	1	
札幌	14	1	1	

他課に権限はなし=人ノ男子一人ノ計算

現在、入組十六人、各局職員六人、他十八人、計四十人。

現在配置		屬庫計		屬庫計		差引增		現在增後	
主發檢	2	8	10	2	1	1	2		
記送簿	16	14	16	18					
後種檢收	1	12	13	1					
冊割簿	1	2	3	1					
算	1	4	5	1					
計	2	22	24	2					
旅客	2	31	33	3	1	1			
客	1	4	5	1					
發送	1	39	46	2					
到者	1	1	2	1					
不足貨	1	9	9	1					
手小前物	1	18	19	2	1	1	1		
發送	1	2	3	1					
到者	1	11	12	1					
運	1	2	3	1					
貨物	2	25	27	2	1	1	1		
貨金	2	10	10	2					
照	1	8	10	1					
總計	1	24	24	1					
貨物	1	4	5	1					
到者	1	9	9	1					
對照	1	25	26	1					
看擇及止替倉	1	2	3	1					
對照	1	49	50	2	1	1	1		
帶	1	11	13	2					
孩	1	18	19	1					
旅客	3	30	33	3	1	1	1		
貨物	3	24	24	3					
手車	3	2	2	1					
貨	3	22	25	3					
總	4	45	45	4					
臨	1	13	13	1					
計	58	518	526	74	16	10	13		

建設事務所屬

一、庶務及經理

建設事務所ノ屬ハ別表事務分掌表記載ノ如ク最少限トシテ庶務三人經理七人（普通ノ事務所ニ於ケル例ニシテ事務所ノ特ニ大ナルモノ又ハ小ナルモノハ多少ノ増減ヲ要スルコト別表配置表ノ如シヲ要スルモ現在ハ定員ノ關係上屬ヲ充ツル能ハス雇員ヲシテ取扱ハシメ居ル個所少ナカラサルコト別表配置表ノ如ク業務増加セル今日斯クテハ到底事務ノ成績ヲ舉クル能ハス庶務ニ於テ九人、經理ニ於テ十四人ノ増員ヲ要ス

二、用地

一	入札ニ關スル事務	
一	契約締結及契約書ノ保管	一
一	取附變更	
	○ 註 釋	
一	主任（總括）	一
一	預算決算金庫	一
一	徴収費未及経費等	一
一	現金ノ出納（出納官吏）	一
一	竣工明細書調製	一

一	財産目録調製、工事材料使用調査	一
一	物品ノ購買及不用品ノ賣却	一
一	物品ノ検査、工事用品及車輛、 供用品ノ保管出納並亡失毀損	
一	ニ關スル事項	一

建設事務所

所名	線名	区間	哩程	測量	現在員	増員	計	理	由
北海道	札幌線	旭川、留辺、釧路	30.2	測量	2	2	4	測量着手	同上
大分	大分線	大分、庄内、厚狭	16.0	工事監督	3	3	3	第一工区着手	
大分	豊後線	大分、杵田、同	19.5	測量	3	2	5	第四工区着手	
宮崎	大川線	川内、宮城、同	20.2	測量	3	3	3	測量着手	第一工区着手
新庄	荒砥線	長井、荒砥、同	6.8	測量	5	5	5	全線工事着手	
東京	大田線	大宮、大子、同	18.0	測量	1	2	3	測量着手	第一工区着手
東京	安房線	松戸、天津、同	10.0	工事監督	1	2	3	測量着手	第一工区着手
米子	因美線	津山、小中、同	10.0	測量	3	3	3	測量着手	第一工区着手
萩	越美線	福井、美濃、同	10.0	測量	2	2	2	測量着手	第一工区着手
多度津	高德線	高松、白鷺、同	22.0	測量	4	4	4	測量着手	
山口	津和野線	徳佐、益田、同	26.7	工事監督	17	2	19	第十一工区着手	第十三、四工区着手
山口	山田線	盛岡、折戸、同	16.9	測量	4	5	9	測量着手	
盛岡	久慈線	八戸、南戸、同	21.0	測量	1	2	3	同上	同上
盛岡	大船渡線	一戸、干麻、同	14.3	測量	2	1	3	同上	同上
秋田	生保内線	大曲、生保内、同	22.0	工事監督	3	5	8	第二工区着手	(電報工事区間) 10月
秋田	横黒西線	横手、大荒、同	22.2	測量	4	4	8	第三工区着手	同上
長岡	上越北線	管内、湯澤、同	61.7	測量	7	3	10	第四工区着手	測量着手
岐阜	越美線	木田、美濃、同	9.7	測量	4	2	6	測量着手	

支事務所

技手

理	由	因某ニ對スル減員			理	由	費用
		線名	區	間	哩程	人員	
量者手 上		名寄線	下川	上興部	139	1	44
一上量者手 四上量者手							5
量者手 二上量者手		日置線	福島町	高鍋	78	2	44
取工事者手 量者手 二上量者手 量者手		北越中線	遊佐	吹浦	44	2	3
量者手 二上量者手 量者手 量者手							5
一上量者手 二上量者手							2
量者手 二上量者手							4
量者手 上 上		正明市線	重安	外河面	31	2	5
二上量者手(直轄工事区間10哩) 二上(同)		羽後比嘉線	道川	羽後豊田	51	2	5
二上以降測量者手 二上量者手		模黒面線	横手	相野々	48	2	7
量者手							2
							61

技手三名中取工事掛員1名一必要。

技手三名中取工事掛員1名一必要。

このコマには 図面
表等がありますから下
記の原本をみてください。

請求番号

2A-11(類)1341

改良事務所屬

一、庶務及經理

改良事務所ノ屬ハ別表事務分掌表記載ノ如ク最少限トシテ庶務各所三人、經理東京九人神戸八人ヲ要スルモ東京ハ改良事務所設置當時元中部管理局工務課ヨリ削キ得シ判任官定員少ナカリシ爲判任官ヲ充ツヘキ事務ヲ現在ハ雇員ヲシテ取扱ハシメ居ル有様ニシテテ業務増加セル今日支障尠カラズ別表配置ノ如ク庶務ニ於テ二人經理ニ於テ二人ノ増員ヲ要ス

二、用地

用地ニ關スル事務ハ改良ヲ要スル線路停車場其他ノ多寡並位置狀

態ニ依リテ其ノ所要員ヲ異ニスルモ本年度ニ於テハ別表配置表ノ如ク東京ニ於テ一人神戸ニ於テ三人ノ増員ヲ要ス

三、現 場

改良事務所ニ於ケル現場従事員ハ物品ノ出納、機械ノ保管其他庶務ニ任スルモノニシテ物品事務ノ如キ品名、使用箇所、且用途別ニ日々詳細ナル報告書ヲ提出スルヲ要シ其ノ事務似難ニシテ且責任アリ判任官ヲ配置スルノ必要アルモ東京改良事務所ハ設置當時元中部管理局工務課ヨリ割キ得シ判任官定員少ナカリシ爲現在雇ヲ充當セル個所多ク五人ノ増員ヲ要ス

改良事務所事務分掌

○庶 務

一 成案審査、人事一級	
一 所内取締	
一 所長ノ官印及所印ノ管守	一
一 統計及報告、官舎	
一 他掛ニ属セサル事務	
一 保管證書ノ保管出納	
一 共済組合、職員購買	一
一 乗車證ノ保管發行	

一	入札ニ關スル事務	
一	契約締結及契約書ノ保管	一
一	設計變更	
○経理		
一	主任(總括)	一
一	豫算決算全般	二
一	徴収要求及経費拂	一
一	竣工明細書、財産目録、工事書類圖表及工事工程通帳	二
一	物品ノ準備請求	一

六六 伊賀納

一	工事用品及供用品ノ保管出納	
	死亡失毀損ニ關スル事務	二

朱書增頁

十

山手線又中央線線路上曾設

市街線及上野、田端間一線曾設

金門小岩間及越中島嶼新設以河川改修所帶工事

新橋工程合則改良橫決所能開闢各增設扶黃項實餉復外

2.

用地内課

神戶

大津市前山間部路變更組織條例

大阪北方通線 吹田 博田場新設又大阪臨港線

吹田、大阪間二線増設及城東線

大阪商會二課增設此西宮川野浜間浚工事

線街市戶神

聖取明石操車比島新設及神戸海岸線

山手線

市街線

越中島縣

河川改修附屬工事

北千住

新編課程合用大船模塊貨物搬運課

現場從事員内譯(東京)

改良事務所 技手

	現任	所費員	増員	
中央線二線増設	1	44	3	信豐町・大塚間、新宿・中野間、2
山手線二線増設	7	10	3	監修所、三田、目黒、大塚、大塚、大塚
中央線二線増設	()	1	1	
市街線新設	2	44	2	東京・大塚間、大塚・上野間、大塚
金町・小岩間及越中島線新設	1	44	3	金町・小岩間、越中島、新大塚、大塚
品川・里見・横濱及汐留改修	1	3	2	品川・里見、品川・横濱、品川・汐留改修
大船・横須賀間不復線	()	2	2	
計			16	
京				
大塚・新大塚・新大塚山間線路變更	1	22	1	大塚・新大塚、新大塚・山間
吹田・大塚間二線増設及改修線、臨港線	3	5	2	吹田・大塚間、二線増設、改修線、臨港線
大塚・新大塚二線増設及改修工事	3	44	1	大塚・新大塚、二線増設、改修工事
神戶市街線	1	44	3	則田・改修
大塚・新大塚間線路變更	5	7	2	山手・大塚・新大塚
京橋・桃山間線路變更	()	1	1	
吹田・大塚間二線増設及改修線	1	44	3	吹田・大塚間、二線増設、改修線
大塚・新大塚間線路及改修工事	5	7	2	大塚・新大塚、間線路及改修工事
計			15	
中				
大塚・新大塚間線路及改修工事	1	22	1	大塚・新大塚、間線路及改修工事
吹田・大塚間二線増設及改修線、臨港線	3	5	2	吹田・大塚間、二線増設、改修線、臨港線
大塚・新大塚二線増設及改修工事	3	44	1	大塚・新大塚、二線増設、改修工事
神戶市街線	1	44	3	則田・改修
大塚・新大塚間線路變更	5	7	2	山手・大塚・新大塚
京橋・桃山間線路變更	()	1	1	
吹田・大塚間二線増設及改修線	1	44	3	吹田・大塚間、二線増設、改修線
大塚・新大塚間線路及改修工事	5	7	2	大塚・新大塚、間線路及改修工事
計			15	
合			31	

判任官說明追加(本有)

鐵道院

工務局 係像湯 屬 (材料事務)		
分擔事務	所要員	舊定員
一 橋桁、轉車臺、跨線橋ノ準備配給		
東鐵、東改、仙鐵、札鐵、	一	
名鐵、神鐵、神改、門鐵、	一	
一 電氣用品及機械器具類ノ準備配給	一	
軌條、轉轍器、轍叉ノ準備配給及		一
撤去セル軌條橋桁類ノ賣却調査及		
整理		
計	四	三

納板伊

鐵道院
 工作局
 分擔事務
 工場法ノ施行、關係法規ノ制定改廢
 職工ノ教育養成、工場保健衛生
 諸契約ノ締結、賃銀賃請、勞働時間
 其他調査
 應中用品ノ受拂配給並保管整理
 俸給給料、共済組合、購買部旅費並
 文書ノ編纂保存
 工場設備
 工作作業

工作局 屬		
分 擔 事 務	所 要 員 舊 定 員	增
一 工場法ノ施行、關係法規ノ制定改廢	一	二
職工ノ教育養成、工場保健衛生	一	二
諸契約ノ締結、賃銀賃請、勞働時間	一	二
其他調査	一	二
應中用品ノ受拂配給並保管整理	一	二
俸給給料、共済組合、購買部旅費並	一	二
文書ノ編纂保存	一	二
工場設備	一	二
工作作業	一	二

納板伊

鐵道院

工務局 技手

分擔事務

所要員舊定員 増

一 局所提出建物工事伺審査	東鐵、東改、及仙鐵	名鐵、神鐵、及神改	門鐵及札鐵	一 建物大改良工事計畫設計	東鐵及東改（本省ヲ含ム）	神鐵及神改	仙鐵及札鐵	名鐵及門鐵
	一	一	一		二	一	一	一
		一					一	
		二					四	

一 工場庫所設備ノ調査計畫
 一 工場庫所設備ノ設計仕様等ノ調査
 一 工場ノ新設廢止及工場受持區域調査
 一 機關車ノ空氣制動機、自動聯結機器
 一 二關スル設計調査
 一 検査監督事務補助
 一 空氣制動機ニ關スル設計調査
 一 自動聯結器ニ關スル設計調査
 一 動力設備ヲ有スル各種機械ノ設計

工 作 局 技 手

分擔事務

新定員 舊定員

工場庫所設備ノ調査計畫	三	二	一
工場庫所設備ノ設計仕様等ノ調査	一	一	一
工場ノ新設廢止及工場受持區域調査	一	一	一
機關車ノ空氣制動機、自動聯結機器	一	一	一
二關スル設計調査	一	一	一
検査監督事務補助	一	一	一
空氣制動機ニ關スル設計調査	一	一	一
自動聯結器ニ關スル設計調査	一	一	一
動力設備ヲ有スル各種機械ノ設計	一	一	一

✓ ✓ ✓

一 工作用品ノ基本
一 材料製作監督
一 神戸派出所（製作監督）
計

一 二 三 四

五二一

九 一 一 一

八、六製本納

経理局調査表

現在頁				八 年 件 数		九 年 件 数		前年比
属	底	計	件 数	入 件 数				
旅 客	貸金審査(未客貨用帳解数)	3	35	38	1944148	5109	216040	26
	着札対照(回収乗車券枚数)	2	40	42	9353567	224904	109352702	157
	不足貸審査(不足貨用帳件数)	1	11	12	128367	10697	156610	28
	計	6	86	92				
	貸金審査(切符類枚数)	2	20	22	1008442	45877	1090251	8
手荷物	到着切符対照(全上)	1	13	14	922346	6737	1030513	110
	車帯抜革(全上)	1	7	10	126771	12677	146544	17
	計	2	20	24				
	貸金審査(通知書切符枚数)	5	85	90	1300919	144454	1433691	13
	到着通知書対照(全上)	2	27	29	11224673	38714	1235175	113
貨 物	車帯抜革(全上)	1	18	19	132132	6944	161246	24
	着札整理(着札金収入切符枚数)	3	60	63	226661	4598	253601	26
	計	11	190	201				
	旅客(乗客用帳解数)	3	30	33	1623381	4921	188267	24
	貨物(搬送用帳解数)	3	67	72	1193670	16477	1302725	110
統計	手 小 荷 物		2	2				
	車西 持 時	5	22	25				
	計	1	13	17				
	計	11	138	152				
	計	2	22	24				
検 算	算	16		16				
合 計	計	5	40	45				
	計	58	518	576				

經理局調査課

件数	八 年 件 数		九 年 件 数	前年比増加	増加人負	屬要求数
	件数	一人前件数				
98	194148	5109	216040	21892	43	1
102	9353569	224704	10932702	1579133	7.1	1
102	128367	10697	150610	22233	2.1	1
102					13.5	3
102	1008440	44837	1090051	81601	1.8	1
114	922346	64937	1030513	110167	1.7	1
110	126791	12679	146544	19763	1.6	2
116					5.1	2
120	1300919	14454	1443691	132772	9.2	11
129	1122693	38714	1235175	112482	2.9	.
119	132132	6954	161046	28914	4.2	
133	226661	3598	253604	26943	7.5	1
101					23.8	5
133	162381	4921	188267	25886	5.3	1
122	1193670	16579	1302725	110055	6.6	2
2						
125						
17						
3						
122					14.9	3
114						1
116						2
115						
116						16

建設事務所

属

人負	哩	建設費額	一哩當人負	十町内當人負
八年度 九年度 差引増	1445	1,002,113 1,039,462 1702.9	34166.906 44513.248 10,346.332	102 42

増負
 里程計算出 増加里 前年度一哩當人負 増負
 $1702.9 \times 102 = 21$
 33
 費額計算出 増加豫算費額 増加費額十町内當人負 増員
 $10,346.332 \times 42 = 43$

改良事務所

1箇

人員	改良費額	十町内當人員
八年度 九年度 差引増	33 1,129,000 16,000,000 4,800,000	29

前年度費額 増加費額 増員 要員
 $4,800,000 \times 29 = 14$ 13

備考

費額中=…物價騰貴=對スル増額ヲ包含セズ

改定事務所 屬

業務	経理		用地		増
	屬	計	屬	計	
東京	1	4	2	7	1
神戶	3	2	8	11	3
計	2	4	10	18	4

本書は曾員を示す

東京

山手線中央線線路増設
市街線及上野四端間一線増設
金町三丁目及越中島線新設並に河川改修附帯工事
新橋線谷田改修並に大塚間線路増設横須賀線復線

用地内訳

大塚新田及新橋山手線線路變更並に横須賀停車場改修
大塚方面直通線並に四井停車場新設及大塚臨港線
吹田大塚間二線増設及大塚線
大阪新合則二線増設並に西宮小野浜間改修工事
神戸市街線
鷹取明石停車場新設及中戸海岸線

現場從事員内訳(東京)

山手線
市街線
越中島線
河川改修附帯工事
神戸
新橋線谷田改修並に大塚間線路復線

改定事務所

技手

	現在	所置員	増員	
東	中央線二線土曾設	(本所)	1	3
	山手線二線土曾設	(現場)	7	3
	中央線二線土曾設	(")	1	1
	市街線新丁設	(")	2	2
	金町小岩間及中島線新設	(")	1	3
	品川理之廣張及汐留改良	(")	1	2
京	大船橋横須賀間新設	(")	2	2
	計		16	
神	大津京神間及京神間山岡線路變更	(本所)	1	1
	京神大船間二線土曾設及城東線臨港線	(")	3	2
	大船神合同二線土曾設及西宮小野浜間改定工事	(")	3	1
	神 戸 市 街 線	(")	1	3
	大津京神間線路變更	(現場)	5	2
	京神大船間山岡線路變更	(")	1	1
	京神大船間二線土曾設及西宮港線	(")	1	3
	大船神合同線路土曾設及西宮小野浜間改定工事	(")	5	2
戸	計		15	
合	計		31	

鐵道局別任費目實計表

書

現 費 目	所 要 準	負 數	前 回 承 詔 準	負 數	増	
驛 長	金	4,791	金	7,702	768	98.
市内營業所主任	金	5	金	5		
助 役	金	1,336	金	1,302	34	
預備主任	金	323	金	323		
補内主任	金	213	金	112	28	
出札掛主任	金	20	金	19	1	
改札掛	金	16	金	12	4	
貨物掛	金	52	金	49	3	
小荷物掛	金	21	金	20	1	
電信掛	金	39	金	37	2	
車号掛	金	17	金	9	8	
品札掛	金	64	金	55	9	
改札掛	金	427	金	336	92	
貨物掛	金	118	金	93	25	
小荷物掛	金	18	金	12	6	
電車号掛	金	8	金	6	2	
驛長書記	金	21	金	16	5	
鐵道警備者	金	27	金	27		
車掌監督	金	36	金	36		
車掌監督助手	金	103	金	103		
檢車所	金	146	金	141	5	
電車庫	金	28	金	25	3	
電力區	金	44	金	44		
發電所	金	1	金	1		
引電燈所	金	2	金	2		
給水事務所	金	11	金	11		
車庫事務所	金	10	金	10		

係部員
通信所
教習所
夜間所
不出
運輸
電力
工務
信託

合

11

項目	所要負		前	後
	標準	負數		
保線區事務所	一區二一人	1.23	一區二一人	1.23
通信區	一區一人	3.2	一區一人	3.2
教習所生徒監	一所一人	6	一所一人	6
教習所事務員	一所二人	1.2	一所二人	1.2
病院事務員	一人	5	一人	3
本出張所	1.5増	950		820
運轉事務所	10	28		25
保線事務所	1.5	621		540
電力事務所	10	180		164
工場	10	7		6
車庫	10	147		134
信	0.1	19		11
掛手	0.2	28		18
合計		7,300		6,461

増賃調

書記

項目	所要賃		前出承		増
	票	賃	票	賃	
係録事務通	1	1區1人	1	1區1人	
通信通	1	1區1人	1	1區1人	
教習所生徒監	1	1所1人	1	1所1人	
教習所事務員	1	1所2人	1	1所2人	
病院事務員	1	1人	1	1人	
本出張所	3,319	1.5増	821		106
運輸事務所	59	1.0	25		3
保線事務所	1,362	1.5	540		81
電力事務所	384	1.0	164		16
工務課	31	1.0	6		1
信託課	544	1.0	134		13
手掛	1,872	1.01	11		19
合	14,423	1.02	623		28
計	39,905		7,300		1824

3.

2.

	現任員	所要		前員	増
		標準	實數	標準	
船長	45	主要船舶	42	主要船舶	22
機長	46	金	46	金	22
一等運轉士	17	金	22	金	
二等運轉士	15	金	17	金	
一等機長士	15	金	20	金	
二等機長士	15	金	16	金	
機橋	1	金	1	金	
機橋	5	金	10	金	
本運輸事務所	901	15増	146	127	17
運輸事務所	159	110	121	110	11
保線事務所	515	110	266	242	24
電力事務所	32	110	6	5	1
工場	562	110	127	115	12
合 計	10,807		3,156	2,865	30,30

法政學部

和

利任官能星明回表

(聯通局利任官)

九月十日

驛

長

	東京	名古屋	神戸	門司	仙臺	札幌	計
現在開業驛 (九月末)	317	255	357	308	281	230	1,748
開業豫定驛 (年中)	小田原 重倉原 碓氷 小南 市茂	四日市 臨港 坂田 熊野 長那 加 若狹 本 濱 若狹 本 濱	里江 津野 津子 府田 濱 伊豫 西條	新宮 平垣 福岡 見原 尾町 南農 津尾 刈口 野	相野々 市 六日 東小 常夜 有陸 奥横 大 釜 岩 下 根 目 形 山 之 連 砂 川	斜井 内 橋 上興 部 沼 上 向 小 元 紋 別 滑 留 部 押 野 別 牛 鬼 志 初 田 別 當 石 落 和 田 村	1,748 1,748 1,748
内高等官配置驛	6	9	9	15	15	17	71
合計	314	263	361	320	295	245	1,798

市内營業所主任(全部書記)

東京	名古屋	神戸	計
東京 横浜	名古屋	京都 大阪	
2	1	2	51.
計			

助 後 (一)

町数	町数	町数	町数	町数	町数	町数	町数
川尻 南中 植泉 間瀬 田結 赤井 小	野崎 中田 戸代 久中 川中 橋田 津田 船田 市田 信濃 谷野 窪田 野田 尾川 上谷 保明 新	田野 浦田 黒宿 保場 之水 橋上 谷田 谷田 市田 信濃 谷野 窪田 野田 尾川 上谷 保明 新	宇都 野利 生 河光 木野 利生 橋田 市田 信濃 谷野 窪田 野田 尾川 上谷 保明 新	橋田 市田 信濃 谷野 窪田 野田 尾川 上谷 保明 新	栗古 鴻熊 本高 横井 河干 田北 馬相 我孫 子平 貴橋 戸田 葉倉 子葉 我孫 浦津 山	賀崎 村倉 宿月 袋橋 塚田 橋田 木保 野崎 川谷 里端 子川 野崎 和宮 喜	京 新 田品 大井 川大 蒲川 鶴崎 是川 東神 海神 奈川 神奈 川横 林村 程高 東大 藤年 二國 山駿 衛三 沼鎌 區

[illegible]

目録

目録	冊数	目録	冊数
折坂岩谷峠	2	桑庭赤松	2
淡山麓岡沢字曲分集沢戸田本所豊戸寺方	2	大上天相湯杖大追鷹水仙世福立下古浦大上大森方	2
前部山園津新津松	2	大洞原田所切出岩田越泉倉法岡古吹石川實松	2
弘川相長新津松	2	大堀長松新石花四久富中久明古吹石川實松	2
石沼谷田関町登巻山山忍波湯江江手丹出織田代	2	石須米赤山新院横村土機田能	2
白岩仙仙田一翠塩石須米赤山新院横村土機田能	2	白岩仙仙田一翠塩石須米赤山新院横村土機田能	2

78

37

25

140

翠各卦之位 (一)

計	札幌	仙台	司島	門廣	神戶	磐石	東京
16.4	1.0	20.1	3.0	4.0	2.0	10.0	10.0
52.1	8.0	4.0	11.0	8.0	10.0	10.0	10.0
計	札幌	仙台	司島	門廣	神戶	磐石	東京
16.4	1.0	20.1	3.0	4.0	2.0	10.0	10.0
52.1	8.0	4.0	11.0	8.0	10.0	10.0	10.0
計	札幌	仙台	司島	門廣	神戶	磐石	東京
16.4	1.0	20.1	3.0	4.0	2.0	10.0	10.0
52.1	8.0	4.0	11.0	8.0	10.0	10.0	10.0

歌各掛主位 (二)

東 京	名 古 屋	神 戸	門 司	仙 台	札 幌	計
小荷物掛主位 東新橋川浜 新橋品川 萬古田 東品川 萬古田 東品川 萬古田 西國橋	名古屋 金沢 市大 神	都大 神	門司 博多	仙台 青森 札幌	函館 札幌	
電信掛主位 東新橋川浜 新橋品川 萬古田 東品川 萬古田 東品川 萬古田 西國橋	名古屋 金沢 市大 神	都大 神	門司 博多	仙台 青森 札幌	函館 札幌	
車馬掛主位 品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川	品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川	品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川	品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川	品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川	品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川	品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川 品川

鐵道案内考

數	質
2	東京橋浜
1	町
2	皇
1	都
2	宮
1	野
2	谷
1	林
1	島
1	岡
1	山
1	司
1	松
1	崎
1	多
1	管
1	愧
1	川
1	噴
27	計

車掌監督

東京	新宿 高田 西国都 宇水	5.
名古屋	浜甲長金 松府野澤	4.
神戸	都阪芦山町 京大神岡湊 福和米	7.
門司	島岡司橋方栖本島 衣下門行直島熊鹿	8.
仙台	仙福松青新 台島因森津	5.
札幌	函札室旭 釧路 野付牛	6.
計		35.

機庫事務員

[illegible]

利根事務長事務員

事務員	事務員	事務員
水王兒高	1	2
島澤丸	1	2
新雲嶺	1	2
多喜愛丸	1	2
博愛丸	1	2
比羅夫丸	1	2
母第一快魚丸	1	2
自能神丸	1	2
能弘丸	1	2
伏木貨丸	1	2
関金時丸	1	2
青函時丸	1	2
計	13	27
		17

機関庫主任

札堤	館安樽愧 分蘭川寄路因得半 函和安俱映札 富里室祖名浜池新比	12	86
仙名	町田溪山 一郡庭朱新横材青盛元大新 津松	151	
門司	津尻関司里橋分 松政上達中橋 柳井田下門大行大 綴糸若阜浦西遊人土 唐安広	18	
神戸	津路山町 町寺長山田 園山子取松 大姫園糸湊王奈麓山 呼福知朱鳥高生	15	
石見	津川園子 府訪出平川津 野井沢山松 米中静八甲上 藤福松糸直江長福金富浜	16	
東京	京島津北 野寛町沢 子急京浦山磯生 東高國山飲上大高 程錦鉦本安勝小黒 同本宇都官	17	

[illegible]

保線主任

札幌	館内安厩幌川野間合川客府路因花得男多牛別 和黒俱手札施翁室追梁也乃皆釧池帯新本港野中湧	22.	122.
台	岡村谷俣度山島澤并庄用平岡織免岡内林前岡津因 富由仙一川部福朱山新酒横林機黒盤危青致長新苑新若	25	
司	島津名岡倉方寺楊合多須波上目本仁松島城 玄柳二下小直俣行大垣俣早浦年大熊、玄鹿都	19.	
戸	津都隊庫岡路野山中所長山係山部岡取子市松密	21.	
神	草京大兵之姫生岡系湊奈重五補綾豊皇米令高佳		
豊	島市垣川岡松橋子府方野津川本男井澤山 名四大中靜浜豊入甲上長直糸松敦前倉富	18.	
京	橋浜津宿野宮崎川橋子津浦山宮機生戸 新横國新上大高横西鉾木勝小字黒桐木下平館	19.	

122
122.

通信助力手

東京	名古屋	神戸	門司	仙台	札幌
新橋 5 上野 4 西園寺 2 橋本 2 水 2	名古屋 3 岡崎 2 静中 2 野波 2 長谷 2	大兵衛 3 岡崎 2 山手 2 子松 2 山手 2 子松 2	友門 3 鳥栖 2 熊本 2 観出 2	仙崎 4 大崎 3 新津 3	函館 4 札幌 2 旭川 2 釧路 3 野付 3
計 15	12	17	12	14	12
					1 820

棧橋助役

		技手		
門司	下計	44		
札幌	座室手 館蘭室 計	3212		
合計		10		

(敬逆为用任皮)

✓ 船舶事務長事務負

事務長

伏木丸 / 新規備船=シテ噸數 1,330
鼓賀丸 / 1 973

配置標準約1,000噸以上ノ船舶自

事務負

噸數	第三橋丸	門司丸	新高丸	新羅岐丸	對馬丸	博愛丸	比羅夫丸	田村丸	弘濟丸	伏木丸	敦賀丸	青函豫備
3,028.51	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1
3,032.15	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1
1,600.39	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1
1,602.32	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1
2,609.97	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1
1,522.83	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1
1,529.25	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1
2,589.86	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1
1,330.28	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1
972.96	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1
計	21	9	12									

備考一船舶事務負ノ永ノ事務負タルニシテ、學從事負等ハ異リ
進路殊々常ニ以テ得ルニ困難ニ感据ルハ有様ニシテ永年盡ク續有
書記ニ以テ用、要テ定負、半數ハ書記シテ先ツハ必要アリ。
一、青函航路豫備負、從來豫備負先ツハ書記事務負總數ハ別金ト
異、ハハ書記配置、要テ異、ハハ書記事務負比較 { 別金 18
青函 19

✓ 電力事務所 寄記

所管帳中頁	増割合		増割合	増割合	九箇ノ事務
	七年	九年			
理査費	6	1	17	642	953
新橋					118
					保健事務ノ

✓ 工場書記

現在貸負	増負	増割合	所管従事員、		増加内譯	
			七年	九年		
宮井松橋関崎穂川路計	1 3 13	0.5 0.21 0.22 1.00	2690 14114 964 113 238 525 1169 196 150	2958 1772 1248 242 320 641 1278 269 301	1.10 1.25 0.29 1.13 0.32 0.22 0.09 0.37 1.01	保健1. 物品1. 保健1. 計算1. 保健1. 職場1. 保健1. 物品1. 保健1. 保健1. 保健1. 保健1. 保健1.
大濱後下土苺旭創合	19 14 2 2 8 4 5 2 2	1 2 2 2 1 1 1 1 1				

✓ 保線事務所

書記

現 置 資	増 資	増 割 合	所管従事員		増割合	増資内訳
			七 年	九 年		
野國宮	9	.11	644	901	.40	人事保健
上西宇都宮	7	.14	514	581	.13	"
	6	.16	556	639	.15	"
長野	6	.16	544	652	.20	"
岡米	3	.33	592	651	.11	"
山子	4	.25	486	622	.28	"
門司	9	.11	958	1060	.11	"
福青	8	.12	586	684	.17	"
	5	.20	576	735	.28	"
札幌	4	.25	634	805	.27	"
札幌蘭川路	4	.25	379	499	.32	"
札幌室祖	5	.20	354	468	.32	"
札幌	6	.16	593	709	.20	"
札幌	5	.40	359	695	.94	人事保健、物品、
野付牛	4	.25	381	551	.45	人事保健、
計	16					

運輸事務所

書記

所管従事員		増割合	増頁	現票費
七年	九年	増割合		
新上西水	橋野園戸	344	10	29
29	211	7	211	5092
13	23	3	14511	2212
16	12	2	21148	28611
名古金	望澤	30	3	10
20	15	3	2860	3701
大岡福米	阪山山子	211	3	12
18	05	1	2699	3043
11	28	11	1153	1625
11	27	3	1119	1547
下門鹿	関司島	27	4	15
25	12	3	5646	6837
13	15	2	1023	1251
仙福秋	台島月森	13	5	38
17	29	5	2398	3176
16	31	5	1533	2208
18	11	2	2327	3187
札函創野	幌館路牛	13	11	30
14	30	5	1548	2111
7	33	3	818	1394
8	50	11	596	910
計		81		

旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、	旅客、貨物、配車、計里、保健、</
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-------------------

✓ 出張所 書記

	現 在 員 数	増 員	増 割 合	所管事務員			増 員 内 訳
				七 年	九 年	増 割 合	
高 松	13	1	.08	672	825	.123	保健 1
徳 島	12	2	.17	445	601	.322	警察 1, 保健 1
計	25	3					

木 局 技 手

測量設計	工事監督	計	限 数
(岡山系崎間修復線 奈良相原間修復線 八木松崎間修復線 岩見澤前川間修復線 水部子友部間修復線 (新設改良工事) 工 務 部 果			
3	1	11	55.4
2	1	3	15.4
2	1	3	14.4
2	1	3	26.4
	3	3	11.7
9	1	16	
計			
運輸課 機関車掛、			
機関車、運分班		3	東、袖、11
機関車使用成績調査			
計		19	

運輸事務所 技手

現在員	増員	
2	2	車輛 / 運輸監督 /
2	2	" " 運輸監督 /
3	1	" " "
3	1	" " "
2	1	車輛 / 運輸監督 /
2	2	車輛 / 運輸監督 /
2	1	運輸監督 /
2	1	"
//	//	

西 國
空 都 官
甲 福 知 山
福 知 山
熊 札 本
創 路
野 付 牛
計

保線事務所 技手

現任員	増員	増割合	所管従事員		増割合	
			七年	九年		
橋野山子司栖島田森梶館蘭川路	2	.15	1,182	1,483	.25	工事設計1, 竣工検査1,
新上岡米門鳥崎秋青札函室旭	2	.20	644	901	.40	"
野付牛	1	.13	592	657	.11	工事設計1,
	1	.20	486	622	.28	"
	1	.06	958	1,060	.11	"
	1	.10	657	721	.09	"
	1	.13	586	684	.17	"
	1	.11	647	729	.13	積算
	2	.25	576	735	.28	計
	2	.25	634	805	.27	"
	2	.29	379	499	.32	"
	2	.33	354	468	.32	設計
	1	.09	593	709	.20	設計
	3	.60	359	695	.94	設計
	2	.33	381	551	.45	設計
計			244			

電力事務所

技手

	増割合	増員	現定員	所管従事員			充當事務
				七年	九年	増割合	
新橋	20	1	5	642	963	48	電力工事設計

工 場 技 手

現在頁	増頁	増割合	所管從事頁		増割合	増分内譯
			七年	九年		
20	1	.05	2490	2948	.10	施工計畫及検査 1.1
16	2	.13	1414	1772	.25	施工計畫及検査 1.1
11	2	.18	964	1248	.29	作 業 1.1
2	1	.50	113	212	1.13	
4	1	.25	238	320	.34	
6	1	.17	525	641	.22	
11	1	.09	1169	1278	.09	
2	1	.50	196	269	.37	
4	2	.50	150	301	1.01	施工計畫及検査 1.1
合 計						
大 大 濱 後 下 土 首 旭 創 合						
宮 井 松 藤 関 崎 穂 川 路						

本局事務所工場

增割合	九年	七年
30	7785	5985
25	151557	121477
35	1527	1127
29	102951	79646
13	22116	19597
48	953	642
11	15959	14361
46	357881957	24523448
44	7942632896	5515546330
118	161546479	74159525
23	59939525	48753441
24	629379844	5033344425
50	131809103	97222527
11	77222058	697795113
11	94929567	85204217
17	1666067893	1423142721

判任及雇員定員

	判任官	雇員	計	割合
本省 建設事務所 改良事務所 合	1002	1,493	2280	.34
	501	915	1,416	.35
	120	212	340	.35
	1,411	2,625	4,036	.35
	2,314	4,640	5,580	.17
鐵道局				
合	10,725	49,111	59,836	.18

	判任官	雇員	計	割合
本省 為替検査局 逓信局 郵便逓信電話局 合	450	557	1,007	.45
	1,043	2,719	3,762	.28
	2,103	2,211	4,314	.49
	13,472	37,445	50,917	.26
	17,068	42,932	60,000	.28

船長及機關長

抄手

7.

門司丸外四隻ハ下關門司間連絡船ニシテ運航時間午前六時ヨリ午

後十二時過迄ニ及ビ第一、第二⁶關門丸ハ下關小森江間貨車航送ニシテ

テ徹夜作業ヲナシ何レモ業務繁激ニ付乗組員ニ休養ヲ與フル必要

上前者ハ二交代制、後者ハ三交代制トシ各組ニ船長以下ノ乗組員ヲ

置キ航海中ニ於ケル責任ハ各組獨立シテ之ヲ負フコトトセリ

一船ニ二名若ハ三名ノ船長ヲ置クコトニ付テハ多少ノ疑義アリ判

任官運轉士ヲ配置シ其ノ事務ヲ掌ラシムヘシトノ議モアレト前述

ノ理由ニヨリ試験的ニ實施シタルモノナリ

判任官増員調

(東京及地方)

判任官増員總括表

合 計	鐵 道 局			本 省			現在定員
	計	技 手	書 記	計	技 手	屬	
一〇、七二五	九、三一四	二、八五三	六、四六一	一、四一一	六八五	七二六	改定定員
一三、〇九三	一〇、四五六	三、一五六	七、三〇〇	一、六三七	八〇七	八三〇	差引増
一、三六八	一、一四二	三〇三	八三九	二二六	一二二	一〇四	

本省判任官増員調

一 參事官附	(新設ノ爲)	屬	二
一 官房現業調査課	(新設ノ爲)	屬	一四
一 官房臨時水力電氣課	(新設ノ爲)	技 屬 手	十一
一 監督局 (南滿鐵道管理事務移管ノ爲)		技 屬 手	一廿
一 運輸局 (配車課新設ノ爲)		屬	七
一 工務局 (建築課新設ノ爲)		技 屬 手	五五
一 工作局 (土場課新設ノ爲)		技 屬 手	四三
一 經理局調査課 (業務増加ノ爲、配置内 譯別表)		屬	一六

✓
計

一 建設事務所（業務増加ノ爲、配置内譯

別表）

技 屬
手 井井三
五〇

一 改良事務所（業務増加ノ爲、配置内譯

別表）

技 屬
手 一三
三一

合 計

技 屬
手 一〇四
九八
九

査定

經理局調査課

屬

	屬現在頁	所要頁	増	
業務簿算客物	2	3	1	
檢計旅	16	18	2	
手小荷物	5	5		
貨	1	9	3	
計	11	6	1	
計	11	16	5	
計	11	17	3	
計	58	74	16	
雇員數	518	518		
屬前計數項別	10	13		

同定件数増加、前定件数、前定件数比較

4

1001.

心動、悸動、呼吸、

建設事務所

校 手

所	負數	充當個所
北海道	2	旭川、稚内、網走、釧路、根室、紋別、室蘭、苫小牧、札幌、旭川、稚内、網走、釧路、根室、紋別、室蘭、苫小牧、札幌
大分	5	大分、庄内、原間、大館、村田間
宮崎	3	川内、宮城間
新庄	3	長井、荒砥間
東京	4	大宮、大子間、大松田、大津間
米子	3	津山、小中原間
敦賀	2	越美線
多度津	2	高松、白鳥間
山口	5	徳佐、益田間、伊佐、正明市間
盛岡	2	盛岡、折戸間、八戸、箱戸間、一関、千厩間
秋田	5	大曲、生保内間、横手、大森、澤間
長岡	3	宮内、湯澤間
岐阜	2	太田、美濃間
合 計	61	

建設哩同賞額改推算増負

年度	年度	増	増割合
建設哩 1,022.13	1,094.02	72.9	14.3
建設費 341,667.906	58,180.000	240,309.4	70.3
現貨	増割合	推算増負	要求數
34.2	14.3	49	61
34.2	70.3	240	

改良事務所

屬

	業務		經理		用地		現場		増計
	現在負 所要負	増	現在負 所要負	増	現在負 所要負	増	現在負 所要負	増	
東京	1	3	2	7	2	4	1	1	6
神	3	3	8	8	3	6	3	6	6
計	4	6	10	15	5	10	4	7	12
									13

改良費額及推算増負

	八年度	九年度	増割合
改良費	1129 円	1607 円	42%
現在負	33	X	42 = 14
推算増負			13

改良事務所

技手

	現在負	所要負	増
東京			
中央線二線増設 (本所)	1	44	3
山手線二線増設 (現場)	7	10	3
中央線二線増設 (")		1	1
市街線新設 (")	2	44	2
金町川岩間及越中島線新設 (")	1	44	3
品川埋立横断及分岐改良 (")	1	3	2
大船橋横須賀間新設線 (")		2	2
計			16
神			
大津京前間及京都桃山間線路變更 (本所)	1	2	1
吹田大阪間二線増設及城東線臨港線 (")	3	5	2
大阪新合間二線増設及西宮小野浜間改良車 (")	3	44	1
神戸市街線 (")	1	44	3
大津京前間線路變更 (現場)	5	7	2
京都桃山間線路變更 (")		1	1
吹田大阪間二線増設及臨港線 (")	1	44	3
大津新合間線路増設及西宮小野浜間改良車 (")	5	7	2
計			15
合			31

改良費客額及推算増負

年度	八年度	九年度	増割合
改良費	1,129,000	1,609,000	442
技術増負	71	42	38
推算増負			31

鐵道局定貨增加調

書記	現在實		所要貨		前回承認
	雇	計	標	準	貨數
馬車	1684	33	1.7/17	全	1798
市內營業所主任	5		5	全	5
助役	968	1042	2.0/10	全	1108
豫備主任	155	370	5.25	全	289
橋內主任	115	98	2/13	全	192
出札掛主任	12		12	全	20
改札掛主任	6		6	全	16
貨物掛主任	46		46	全	52
小荷物掛主任	15		15	全	21
電信掛主任	35	4	39	全	39
車号掛主任	2		2	全	17
出札掛主任	22	2.12/1	2.14/3	0.3	43
改札掛主任	1	806	807	0.1	8
貨物掛主任	277	2569	2846	1.5	342
小荷物掛主任	63	1.119	1.182	1.0	83
電信掛主任	10	1762	1772	0.1	18
車号掛主任		839	839	0.1	8
馬車	(11)	1861	1872	0.1	19
信長書記	(10)	1413	1423	0.2	28
鐵道案內監督	18	163	181	0.2	21
車掌監督	17	37	54	主	27
車掌監督	38		38	全	35
車	138	118	256	全	179
機關車事務所	25	5.126	5.151	0.1	52
檢車庫	117	299	416	0.1	146
電力區	18	27	45	一所一人	28
發電所	1	7	8	一庫一人	4
發電所	12	33	43	一區一人	12
發電所	1	7	8	一所一人	1
發電所	2	13	15	一所一人	2

船日
保線
通信
教習所
教習所
病院
本出
運輸
保線
電力
工

(括弧内)

書記

要馬 全 全 所
庫區所 所
所 所 所
所 所 所

鐵道局定員増加計画

前回承認	所要員			技手	現在員	計	所	標準	員數	附記
	金	金	金				標	準		
船	金	金	金	104	28	104	金	金	26	機
機	金	金	金	28	3	28	金	金	4	一
一	金	金	金	10	12	10	金	金	12	等
二	金	金	金	12	10	12	金	金	10	等
二	金	金	金	12	10	12	金	金	13	等
一	金	金	金	1	12	1	金	金	1	等
二	金	金	金	122	31	122	金	金	31	等
機	金	金	金	378	387	387	金	金	387	橋
橋	金	金	金	46	19	65	金	金	65	水
運	金	金	金	7	17	26	金	金	26	輸
事	金	金	金	5	3	8	金	金	8	事
電	金	金	金	10	19	19	金	金	19	力
力	金	金	金	17	2	9	金	金	9	事
事	金	金	金	10	7	18	金	金	18	電
事	金	金	金	11	7	109	金	金	109	電
事	金	金	金	66	2	68	金	金	68	電
事	金	金	金	60	22	82	金	金	82	電
事	金	金	金	487	5795	6282	金	金	614	電
事	金	金	金	5	34	39	金	金	5	電
事	金	金	金	128	417	545	金	金	162	電
事	金	金	金	62	126	188	金	金	75	電
事	金	金	金	29	50	79	金	金	29	電
事	金	金	金	1	11	12	金	金	1	電
事	金	金	金	4	49	53	金	金	4	電
事	金	金	金	2	9	11	金	金	2	電
事	金	金	金	4	19	23	金	金	4	電
事	金	金	金	8	102	110	金	金	8	電
事	金	金	金	11	11	11	金	金	11	電
事	金	金	金	10	10	10	金	金	10	電

計

船 機 一 二 二 一 二 橋 水 輸 事 電 力 事

技手

船機関	長	技手	雇	計	所	要	貨	前
一等運轉士	一等運車士	二等機関士	二等機関士	二等機関士	一等機関士	二等機関士	二等機関士	二等機関士
2	24	45	主要船所白	42	主要船所白	42	主要船所白	42
18	28	46	主要船所白	46	主要船所白	46	主要船所白	46
11	6	17	全	18	全	18	全	18
4	11	15	全	11	全	11	全	11
9	6	15	全	17	全	17	全	17
4	12	16	全	10	全	10	全	10
1	5	1	全	1	全	1	全	1
1	5	6	全	7	全	7	全	7
384	517	901	445	405	445	405	445	405
119	40	159	80	127	80	127	80	127
262	253	575	55	283	55	283	55	283
7	25	32	30	10	30	10	30	10
144	418	562	30	169	30	169	30	169

九年度豫算定員増加割合

九年度預算定員	計	現定制費	差引預算	法制局	差引預算	九年度預算定員	
						計	計
主任官	1	1	1	1	1	1	0
次官	1	1	1	1	1	1	0
局長	1	1	1	1	1	1	0
技師	12	12	12	12	12	12	0
技	1	1	1	1	1	1	0
技	3	5	5	5	5	5	0
計	19	21	21	21	21	21	0
主任官	2	2	2	2	2	2	0
秘書	14	3	17	17	17	17	0
書記	1	1	1	1	1	1	0
事務	48	8	57	33	24	11	3
官	27	3	31	31	7	8	5
補	36	1	42	49	11	8	3
計	55	1	60	119	11	8	3
技	275	53	72	58	405	53	11
計	458	54	75	81	587	81	22
判任官							
屬及書記	7035	232	210	653	8130	7187	0
技	2893	428	355	286	3963	3538	0
計	9928	660	565	939	12093	10725	0
合計	10405	715	642	1020	12782	11333	22

事務官に副参事を増算定員は、増加せしむるに参事より南順タルに、テ
尚本年度の「経理局」に今付諮問上各官は、官制定員。総テ増算定員（単位）に
タリタル方針ナリ。

定員現員對照表

官制定員	現在員	残	
大 官 監	1	1	
次 技	1	1	
本省局長	6	6	
勅任参事官	1	1	
勅任技師	5	3	1
奏任参事官	2	2	1
秘書官	1	1	1
書記官	17	16	1
事務官	31	29	1
奏任技師	146	137	9
計	212	197	15
鐵道局長	6	5	1
参事	33	27	6
副参事	49	49	
参事補	49	40	9
技師	259	255	4
計	396	376	20
合 計	608	573	35
屬			
鐵道技手	726	706	20
書 記	685	665	20
局 技 手	6461	6263	198
	2853	2759	94
合 計	19725	19393	332

1. 大官監、次技、本省局長、勅任参事官、勅任技師、奏任参事官、秘書官、書記官、事務官、奏任技師、鐵道局長、参事、副参事、参事補、技師、鐵道技手、書記、局技手、合計。

2. 鐵道局長、参事、副参事、参事補、技師、鐵道技手、書記、局技手、合計。

3. 鐵道局長、参事、副参事、参事補、技師、鐵道技手、書記、局技手、合計。

4. 鐵道局長、参事、副参事、参事補、技師、鐵道技手、書記、局技手、合計。

5. 鐵道局長、参事、副参事、参事補、技師、鐵道技手、書記、局技手、合計。

6. 鐵道局長、参事、副参事、参事補、技師、鐵道技手、書記、局技手、合計。

7. 鐵道局長、参事、副参事、参事補、技師、鐵道技手、書記、局技手、合計。

8. 鐵道局長、参事、副参事、参事補、技師、鐵道技手、書記、局技手、合計。

9. 鐵道局長、参事、副参事、参事補、技師、鐵道技手、書記、局技手、合計。

10. 鐵道局長、参事、副参事、参事補、技師、鐵道技手、書記、局技手、合計。

1. 鐵道局長、参事、副参事、参事補、技師、鐵道技手、書記、局技手、合計。